5 サスペンション & アクスル

変更概要 …… 5－2
リヤホイールアライメント …… 5－2
準備品 …… 5－2
前点検項目 …… 5－2
リヤホイールアライメント …… 5－3
フロントドライブシャフト …… 5－5
準備品 …… 5－5
脱着分解構成図 …… 5－6
取りはずし …… 5－7
点検 …… 5－9
分解 …… 5－9
サイドギヤシャフト分解，組み付け …… 5－11
組み付け …… 5－12
取り付け …… 5－15
リヤドライブシャフト …… 5－17
準備品 …… 5－17
脱着分解構成図 …… 5－18
取りはずし …… 5－19
点検 …… 5－19
分解 …… 5－20
組み付け …… 5－21
取り付け …… 5－24
〝トルセン〟LSD …… 5－25
準備品 …… 5－25
断面図 …… 5－27
車上交換 …… 5－28
脱着構成図 …… 5－28
ドライブピニオンオイルシール交換 …… 5－28
サイドギヤシャフトオイルシール交換 …… 5－32
ディファレンシャルキャリヤASSY …… 5－34
脱着構成図 …… 5－34
取りはずし …… 5－35
分解構成図 …… 5－37
分解前点検 …… 5－38
分解 …… 5－39
ディファレンシャル構成部品の点検および交換 …… 5－42
組み付け …… 5－43
取り付け …… 5－53
リヤサスペンション …… 5－55
準備品 …… 5－55
アクスルシャフト & アクスルキャリヤ …… 5－57
脱着構成図 …… 5－57
アクスルシャフト前点検 …… 5－58
アクスルキャリヤASSY取りはずし …… 5－59
アクスルキャリヤASSY …… 5－61
分解構成図 …… 5－61
分解 …… 5－62
組み付け …… 5－63
アクスルキャリヤASSY取り付け …… 5－64
ストラットロッド & サスペンションアーム …… 5－69
脱着構成図 …… 5－69
取りはずし …… 5－70
取り付け …… 5－71
スタビライザー …… 5－74
脱着構成図 …… 5－74
取りはずし …… 5－74
リンク点検 …… 5－75
取り付け …… 5－75

5

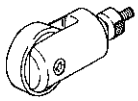
無断複製禁止

変更概要

トヨタ　セリカ修理書（品番62314，1989年9月発行）の内容に以下の項目を追加しました。
1　ホイールアライメントの調整要領
2　フロントドライブシャフトの修理要領
3　リヤドライブシャフトの修理要領
4　ディファレンシャルの修理要領
5　リヤサスペンションの修理要領

リヤホイールアライメント

準　備　品

工　具	ソケットレンチ（30mm）			アクスルハブセットナット脱着用
計　器		㈱バンザイ扱い TB-302	フロントホイールアライメントアタッチメント	ホイールアライメント測定用
		㈱バンザイ 弥栄工業㈱扱い AA-828	ローラー測定子	タイヤ振れ測定用
	ダイヤルゲージ			タイヤ振れ測定用
	キャンバー，キャスター，キングピンゲージ			ホイールアライメント測定用
	トーインゲージ			トーイン測定用
	タイヤプレッシャーゲージ			タイヤ空気圧測定用
	トルクレンチ（500～2800kg・cm）			アクスルハブセットナット締め付け用

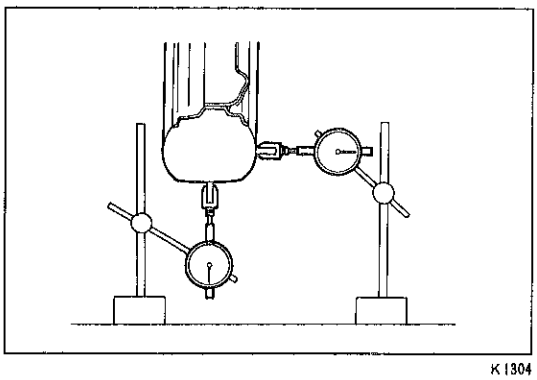
前点検項目

1　タイヤサイズおよび摩耗状況点検

2　空気圧点検

基準値

車両型式	タイヤサイズ	一般走行時（kg/cm²）	
		前　輪	後　輪
ST185系	175/70R14 84S	2.5	2.3
	205/60R14 87H	2.3	2.1



K1304

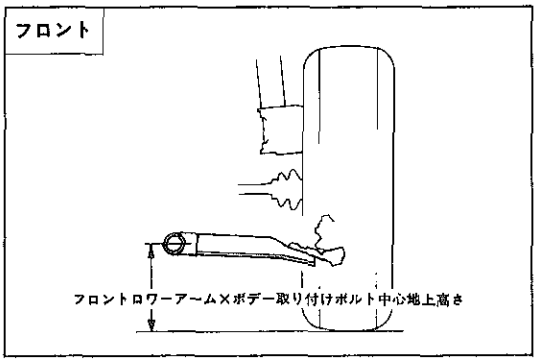
3　タイヤの振れ点検

限　度　3.0mm（縦方向，横方向）

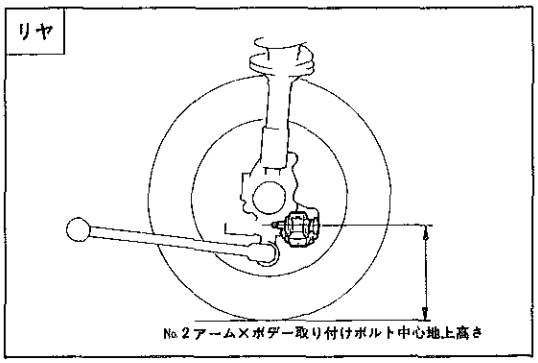
4　関係各部の締め付け状態点検

5　関係各部のガタ点検

無断複製禁止



X0049



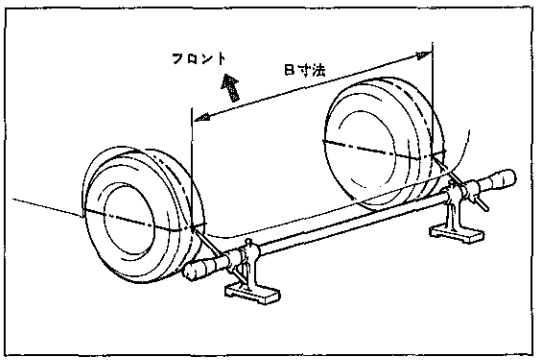
E7829

6　車高点検

基準値（空車時）

フロント	199.5mm
リ　ヤ	233.5mm

リヤホイールアライメント



D1663

1　トーイン点検

(1) 車両をゆすり，車高を安定させる。

(2) 車両を直進させ5ｍ手押しして前進させる。

注意　**後退させたときは必ず後退した分前進させる。**

(3) トーインゲージの指針高さをリヤホイール軸中心高さに合わせ，タイヤの後側に入れる。

(4) 後輪タイヤ各々の後部にトレッドセンターを印し，マーク間の距離（B寸法）を測定する。

(5) 車両をゆっくり押して前進させ，後輪を180°回転させる。

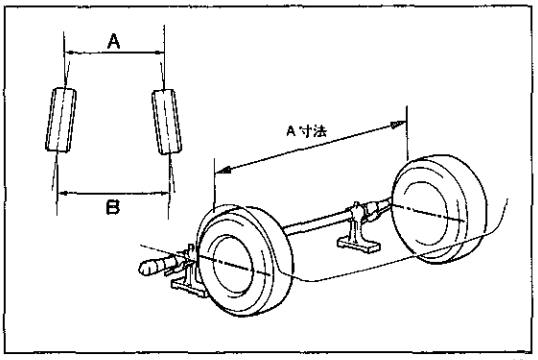
注意　**180°以上回転させないように行い，オーバー回転した場合は，(3)よりやり直す。**

(6) 車両前部でマーク間の距離（A寸法）を測定する。

(7) トーインを求める。

点検基準値　5±1mm

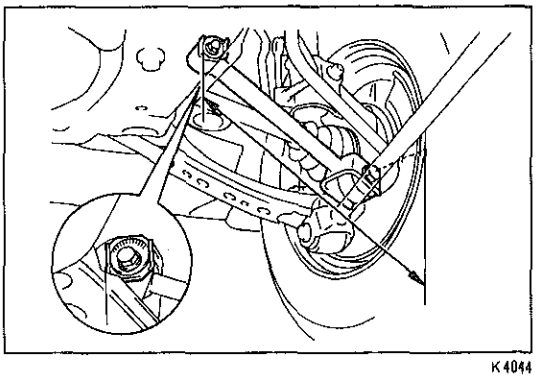
〈参考〉　トーイン＝B寸法－A寸法



K8208　D1664

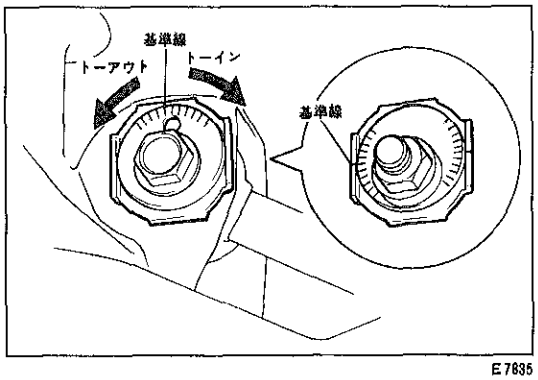
2　トーイン調整

(1) ディスクホイールとトーアジャストカムのリヤサスペンションコントロールアームリテーナーとの距離を測定する。



K4044

無断複製禁止



E7635

(2) 左右差が3㎜以上ならば3㎜以内になるまでどちらか一方のトーアジャストカムで(3)または(4)の調整を行う。

(3) 測定値がアウト側にはずれる場合は，寸法の長い方のアジャストカムで調整する。

(4) 測定値がイン側にはずれる場合は，寸法の短い方のアジャストカムで調整する。

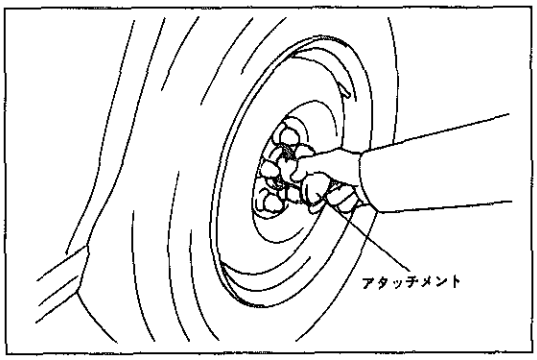
注意　・カムの位置は，中心基準線から4目盛り以上回さない。
　　・4目盛り以上になる場合は，アームを点検する。

(5) 再度トーインを点検する。

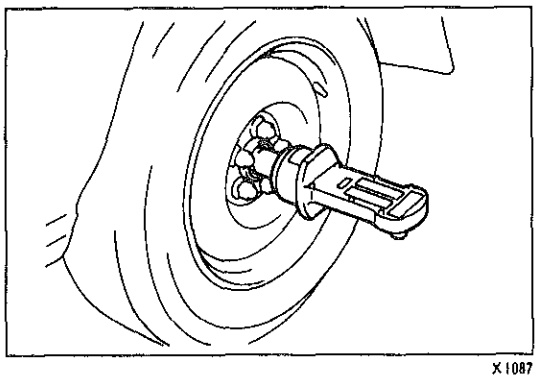
(6) トーアジャストカムを左右反対方向になるように同量ずつ回し，基準値内に入るように調整する。

T＝1150kg・cm

〈参考〉　カムを1目盛り回転させるとトーインは約4.5㎜（片側）変化する。



X1086


X1087

3　キャンバー点検

注意　点検は水平な床面で行う。

(1) パーキングブレーキレバーを引いて，ブレーキを効かせる。

(2) コッターピンおよびリヤホイールアジャスティングロックキャップをはずし，30㎜のソケットレンチを使用して，ナットおよびプレートワッシャーを取りはずす。

注意　アルミホイール付き車は，リヤホイールを脱着して行う。

(3) ホイールアライメントアタッチメントを手でいっぱいに締め込む。

(4) サスペンションを落ち着かせるため，少なくとも車両の全長以上の距離を前進させる。

(5) キャンバーキャスターキングピンゲージのセンターロッド先端をアタッチメント中心に合わせて取り付け，キャンバーを点検する。

基準値　−45′ ±30′

左右差限度　30′ 以内

(6) ゲージおよびアタッチメントを取りはずす。

(7) パーキングブレーキを引き，30㎜のソケットレンチを使用して，プレートワッシャーおよびナットを取り付ける。

T＝1900kg・cm

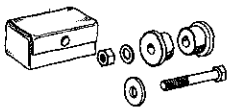
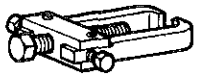
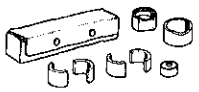
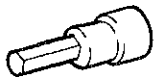
(8) リヤホイールアジャスティングキャップを取り付け，新品のコッターピンを取り付ける。

注意　アルミホイール付き車は，リヤホイールを脱着して行う。

無断複製禁止

フロントドライブシャフト

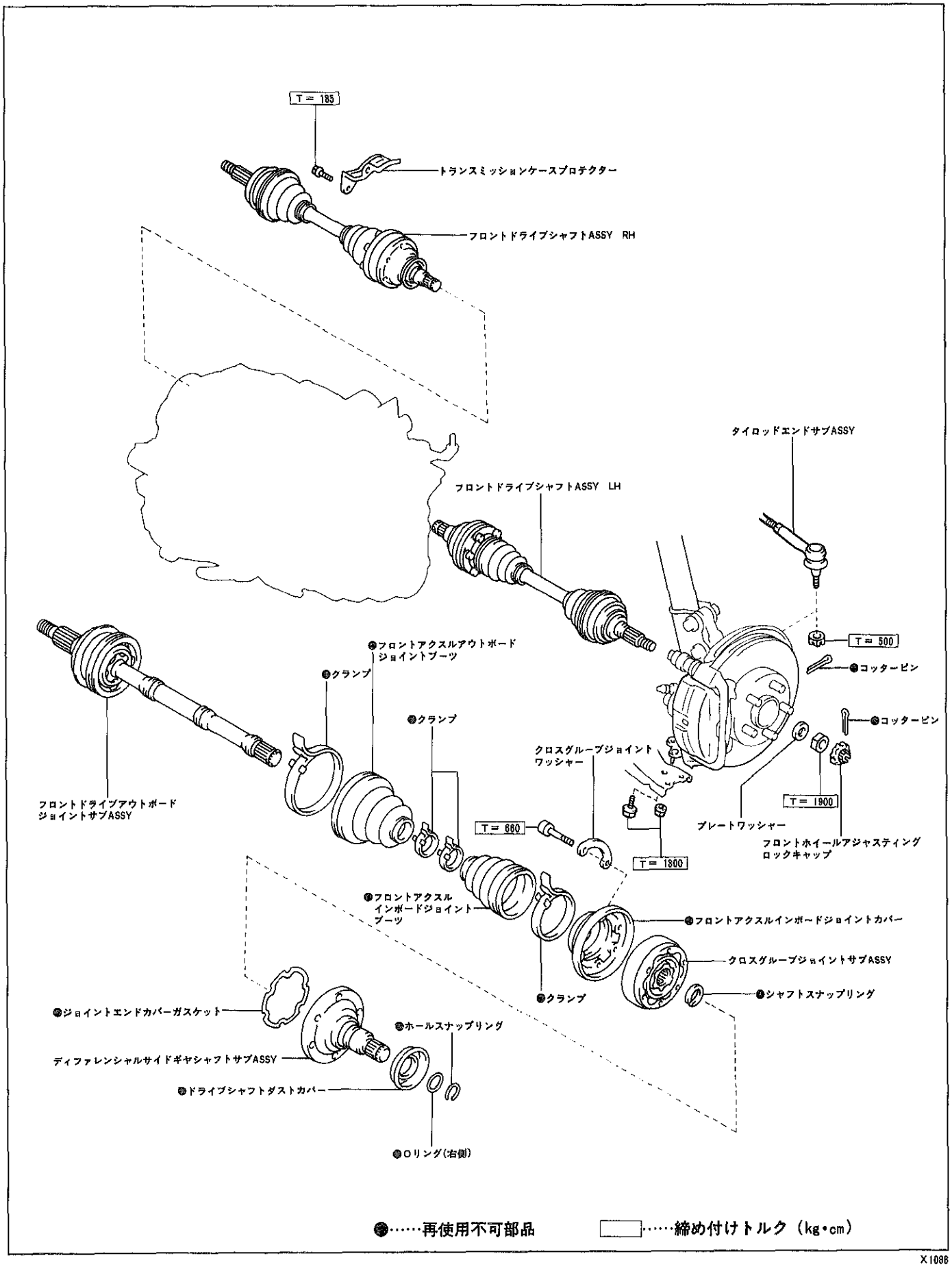
準　備　品

SST		09608-16041	フロントハブ　アンド　ベアリングアジャスティングツール	
		09608-02020	ボルト　アンド　ナット	フロントアクスルベアリング仮固定用
		09608-02040	リテーナー	
		09628-62011	ボールジョイントプラー	タイロッドエンド切り離し用
		09726-12022	ロワーサスペンションアームブシュリムーバー　アンド　リプレーサー	
		09726-01030	スペーサー	クロスグルーブジョイント取りはずし用
		09905-00012	スナップリングエクスパンダー No. 1	スナップリング脱着用
工　具		09923-00020	ヘキサゴンレンチ（8㎜）	ドライブシャフト分解，組み付け用
	ソケットレンチ（30㎜）			フロントアクスルハブロックナット脱着用
計　器	トルクレンチ（500～2800kg・cm）			フロントアクスルハブロックナット締め付け用
油　脂 その他	キヤッスル・MPグリースNo. 2			Oリング塗布用
	キヤッスル・ギヤオイルスーパー			トランスアクスル注入用
	スリーボンド・1121（スリーボンド製）			インボードジョイントカバー取り付け用

5

無断複製禁止

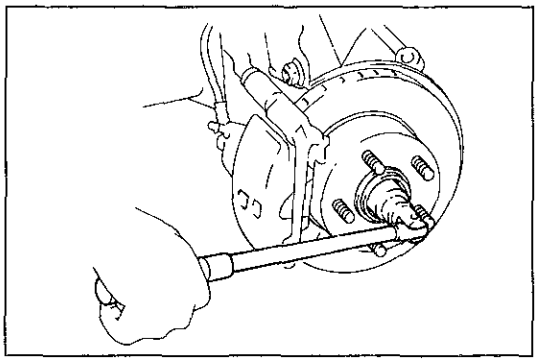
脱着分解構成図



●……再使用不可部品　□……締め付けトルク（kg•cm）

X1088

無断複製禁止


D7097

ドライブシャフト取りはずし

1　トランスアクスルオイル抜き取り

2　フロントホイール取りはずし

3　コッターピン，フロントホイールアジャスティングロックキャップ，ナットおよびプレートワッシャー取りはずし

(1) コッターピンおよびロックキャップを取りはずす。

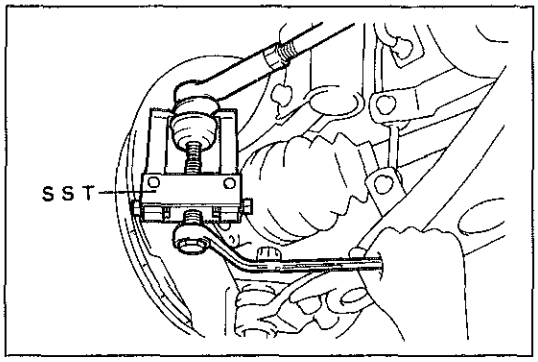
(2) ブレーキペダルを踏み，ブレーキが効いた状態で，30㎜のソケットレンチを使用して，ナットおよびプレートワッシャーを取りはずす。

4　タイロッドエンド切り離し

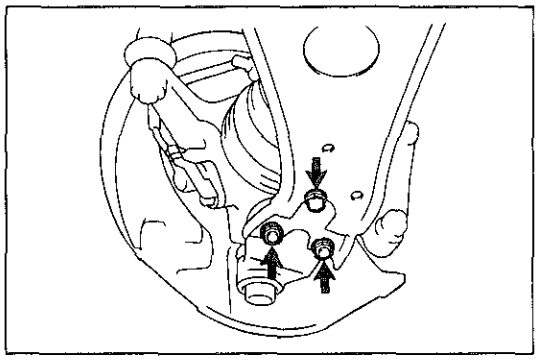
(1) コッターピンをはずし，キャッスルナットを取りはずす。

(2) SSTを使用して，ステアリングナックルからタイロッドエンドを切り離す。

ＳＳＴ　09628-62011

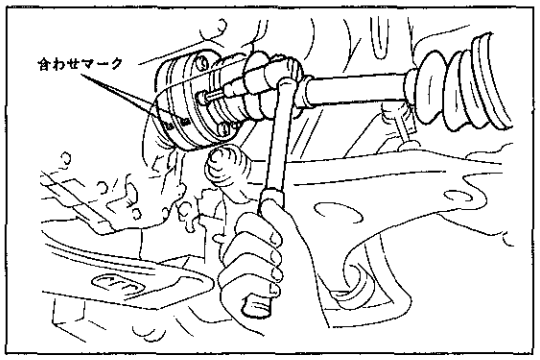


X0101


X0102

5　ロワーアーム切り離し

(1) ボルトおよびナット２個をはずし，ロワーアームを切り離す。



E7741

6　ドライブシャフト取りはずし

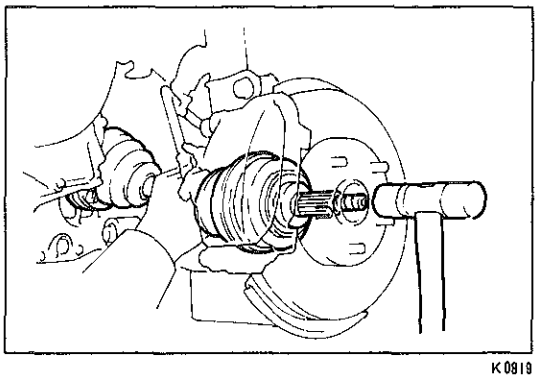
(1) ドライブシャフトとサイドギヤシャフトにペイントなどで合わせマークを付ける。

注意　**ポンチで合わせマークを付けない。**

(2) ブレーキペダルを踏み，ブレーキが効いた状態で，ヘキサゴンレンチを使用して，ボルト６本をゆるめる。

注意　**ボルトは抜き取らず50kg･cm程度で締めておく。**

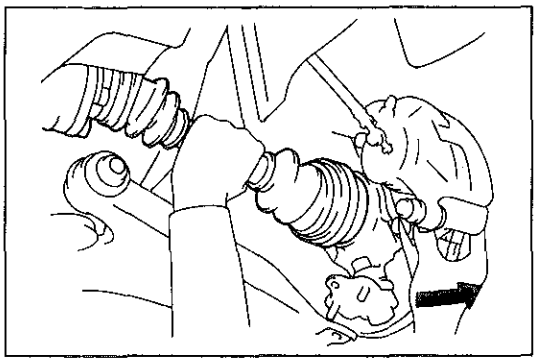
〈参考〉　(1)，(2)の作業は，ドライブシャフトを分解する場合に行う。


K0919

(3) プラスチックハンマーを使用して，ドライブシャフト先端を軽くたたき，アクスルハブのかん合をはずす。

注意　**オイルシールおよびドライブシャフトのねじ部を傷つけないようにテープなどで保護する。**

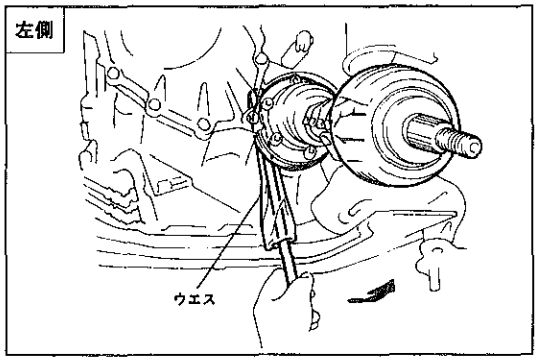
無断複製禁止



X1090

(4) ロワーアームを押し下げ，ステアリングナックルを車両外側に押してドライブシャフトとアクスルハブを切り離す。

注意
- 必要以上にステアリングナックルを車両外側へ押さない。
- 切り離したドライブシャフトはダストカバーを変形させないようウエスなどで保護する。
- スキッドコントロールローターを傷つけない。(ABS付き車)

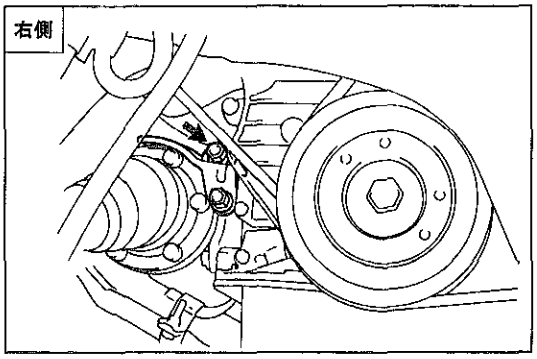


K0894

左側

(5) トランスアクスルケースとドライブシャフトの間にハブナットレンチを差し込み，ハブナットレンチを車両外側へ勢いよく引き，ドライブシャフトを取りはずす。

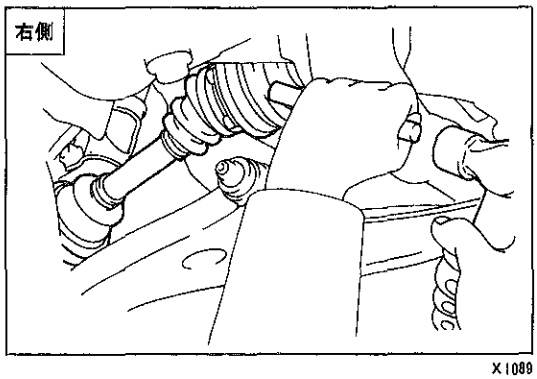
注意
- トランスアクスルケースを傷つけないようハブナットレンチはウエスなどで保護する。
- ハブナットレンチをダストカバーに当てない。
- ディファレンシャル側のオイルシールを傷つけない。



K4048

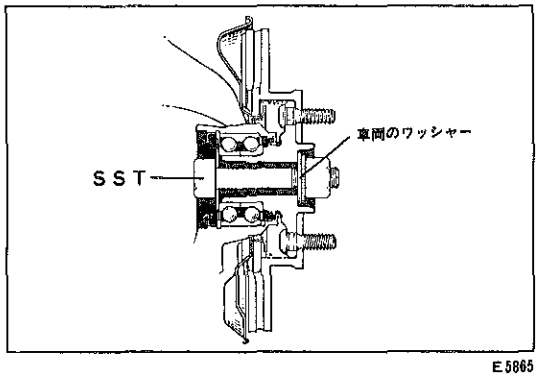
右側

(5) ボルト２本をはずし，トランスミッションケースプロテクターを取りはずす。



X1089

(6) ブラスバーを使用して，サイドギヤシャフト端面をたたき，ドライブシャフトを取りはずす。

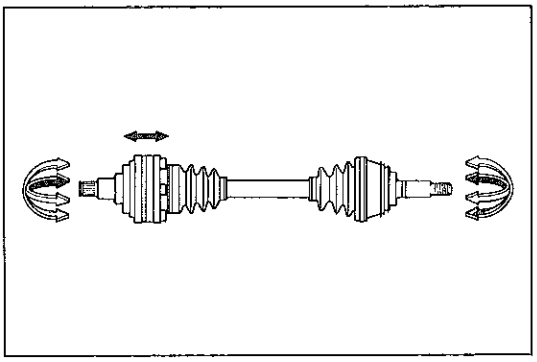


E5865

〈参考〉　ドライブシャフトを取りはずした状態でアクスルベアリングに荷重をかけないこと。車両移動などでやむを得ず荷重をかける場合は，図に示すようにSSTを使用して，アクスルベアリングを仮固定する。

SST　09608-02020　09608-02040

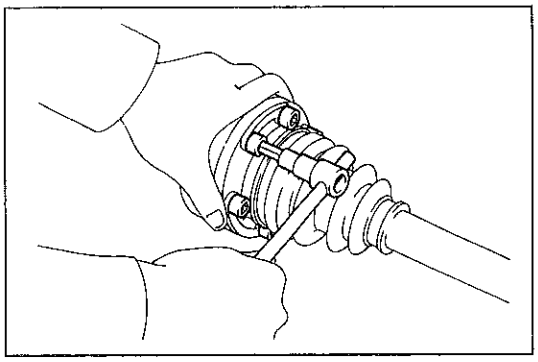
無断複製禁止


K4050

ドライブシャフト点検

1　ドライブシャフト点検

(1) ショイント部を上下，左右，軸方向に動かし，作動の不円滑や著しいガタがないことを点検する。また，ブーツの亀裂，損傷およびグリース漏れを点検する。


K4051

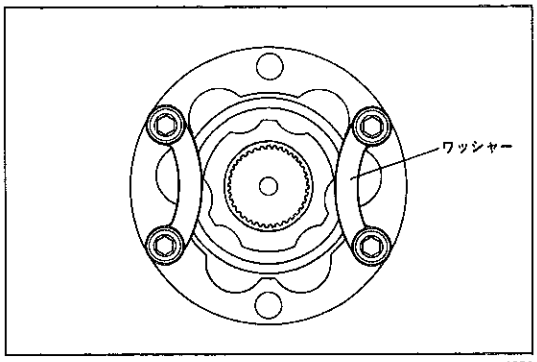
ドライブシャフト分解

1　サイドギヤシャフト取りはずし

(1) ヘキサゴンレンチを使用して，ボルト6本およびワッシャー3個を取りはずす。

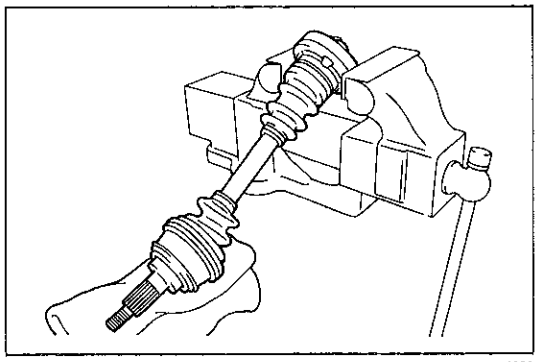
(2) サイドギヤシャフトを取りはずす。

注意　**かん合が固い場合は，プラスチックハンマーでジョイントのアウターレース部を軽くたたく。**



K4052

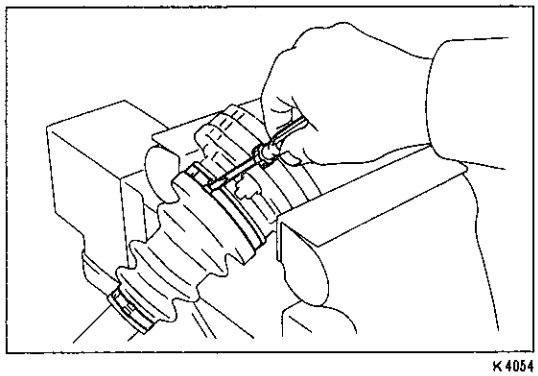
(3) ジョイント脱落防止のため，サイドギヤシャフト取り付けボルトおよびワッシャーを使用して，図に示すようにジョイントに取り付けナットで固定する。


K4053

2　ブーツクランプ取りはずし

(1) アルミ板を介して，クロスグルーブジョイントをバイスに固定する。

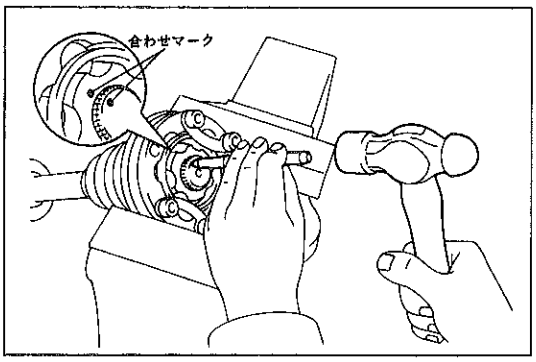
注意　**• バイスでジョイントを強く締め付けると破損するおそれがあるため，ジョイントを固定する程度に締め付ける。**
• アウトボードジョイントに無理な力を加えない。
• アウトボードジョイント側のダストカバーを変形させないようウエスなどで保護する。


K4054

(2) ㊀薄刃ドライバーを使用して，ブーツクランプ4個をインボードジョイントブーツおよびアウトボードジョイントブーツから取りはずす。

(3) インボードジョイントカバーからインボードジョイントブーツを切り離す。

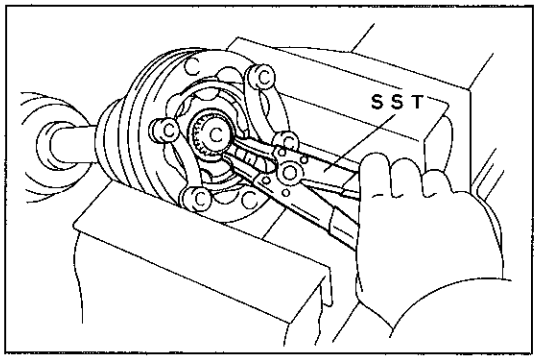
無断複製禁止



K4055

3　クロスグルーブジョイント取りはずし

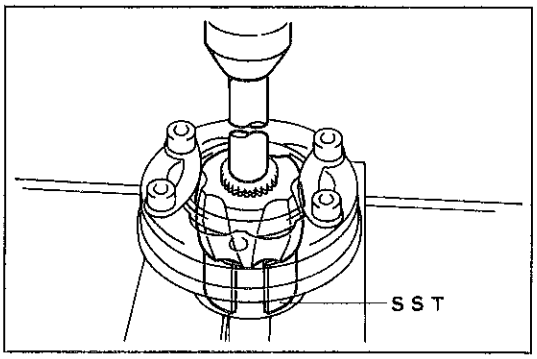
(1)　ポンチを使用して，シャフトおよびインナーレースに合わせマークを付ける。



K4056

(2)　SSTを使用して，シャフトスナップリングを取りはずす。

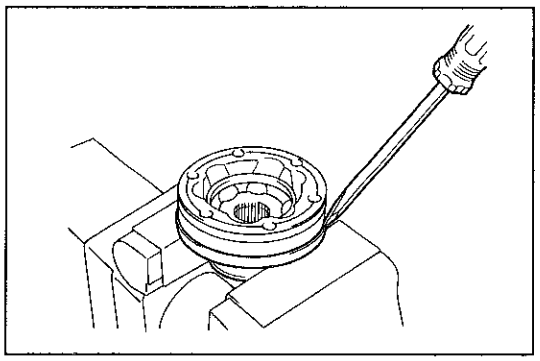
SST　09905-00012



X1314

(3)　SST，プラスバーおよびプレスを使用して，クロスグルーブジョイントサブASSYを取りはずす。

SST　09726-01030


K0810

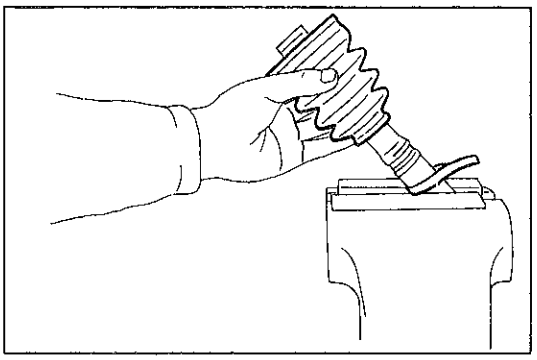
(4)　ジョイント脱落防止用のボルトおよびワッシャーを取りはずす。

(5)　インボードジョイントカバーのブーツ取り付け部をバイスに固定する。

(6)　ドライバーを使用して，インボードジョイントカバー全周のかん合をはずす。

(7)　クロスグルーブジョイントとカバーの合わせ面をドライバーなどでこじりながらジョイントを取りはずす。

注意　**ボール脱落防止のため，クロスグルーブジョイントのインナーレースとアウターレースを持って取りはずす。**

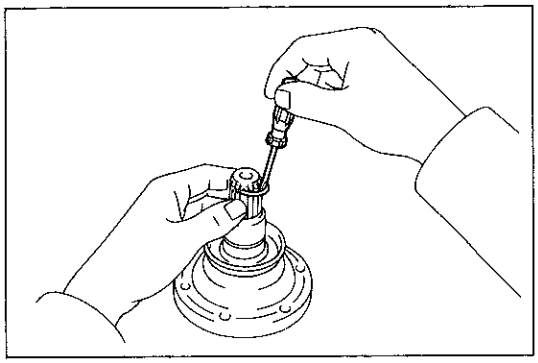

E6506

4　ブーツ取りはずし

(1)　インボードジョイントブーツ，クランプ4個およびアウトボードブーツを取りはずす。

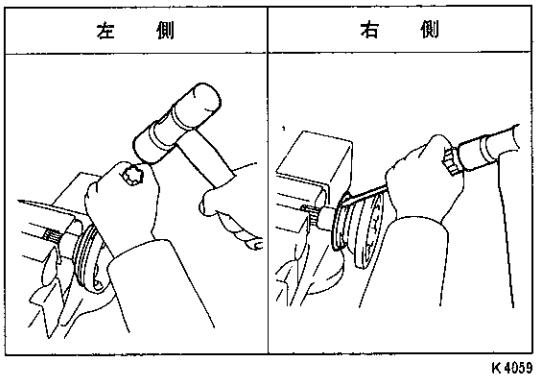
無断複製禁止

サイドギヤシャフト分解，組み付け


K4058

1　ホールスナップリング取りはずし

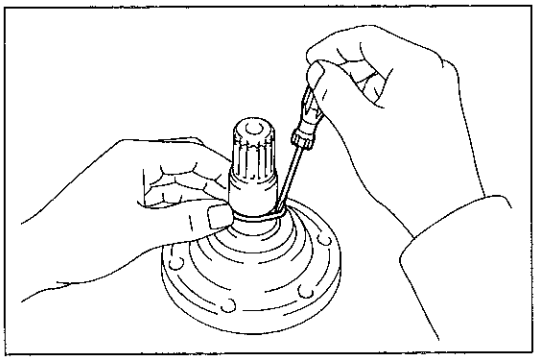
(1)　㊀薄刃ドライバーを使用して，ホールスナップリングを取りはずす。



K4059

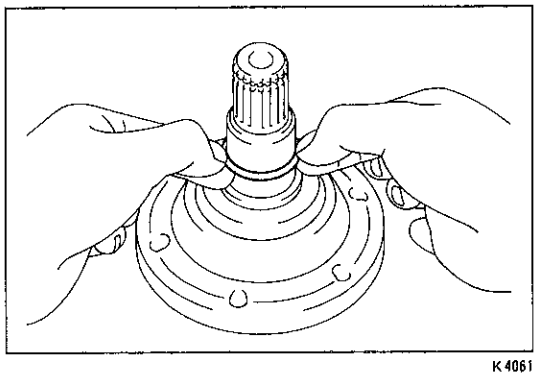
2　ダストカバー取りはずし

(1)　㊀ドライバーを使用して，ダストカバーを取りはずす。


K4060

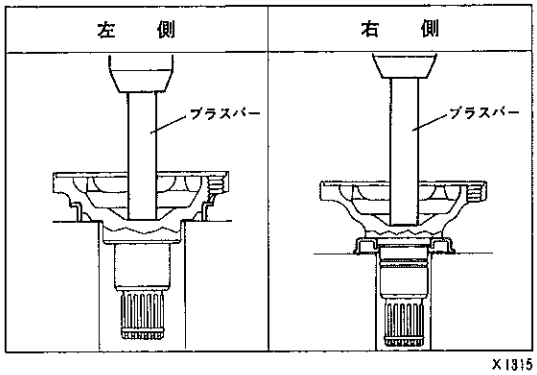
3　Oリング取りはずし（右側のみ）

(1)　㊀薄刃ドライバーを使用して，Oリングを取りはずす。


K4061

4　Oリング取り付け（右側のみ）

(1)　新品のOリングにキヤッスル・MPグリースNo.2を塗布し，サイドギヤシャフトに取り付ける。



X1315

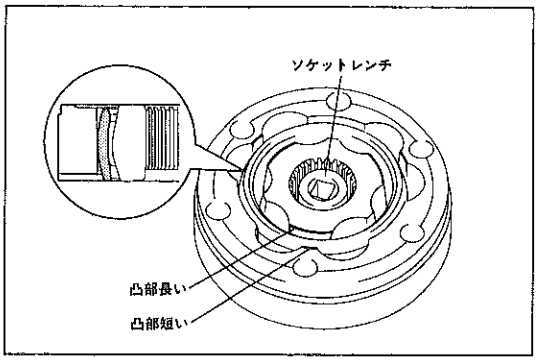
5　ダストカバー取り付け

(1)　プレスを使用して，新品のダストカバーを取り付ける。

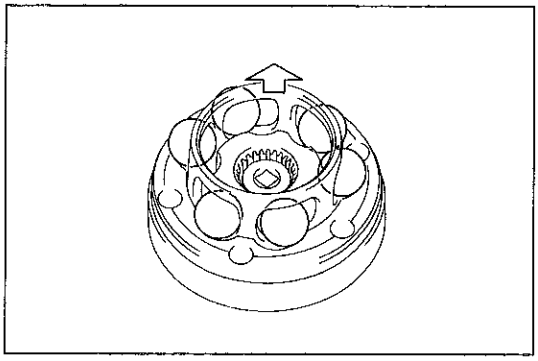
6　ホールスナップリング取り付け

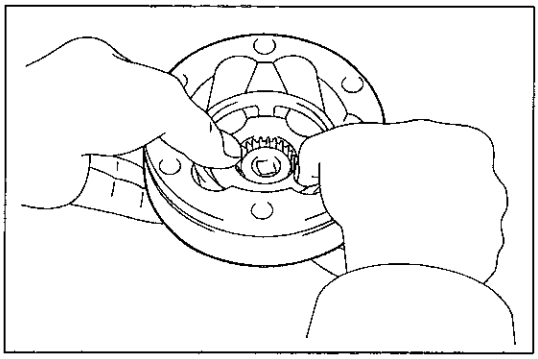
(1)　新品のホールスナップリングをサイドギヤシャフトに取り付ける。

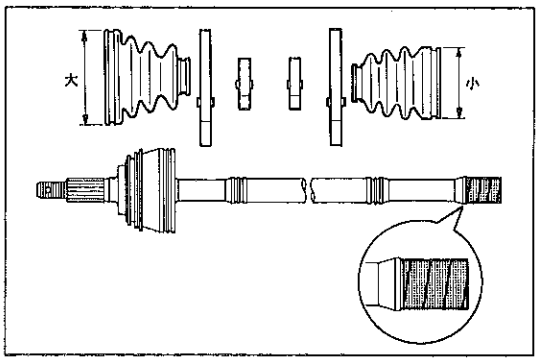
無断複製禁止



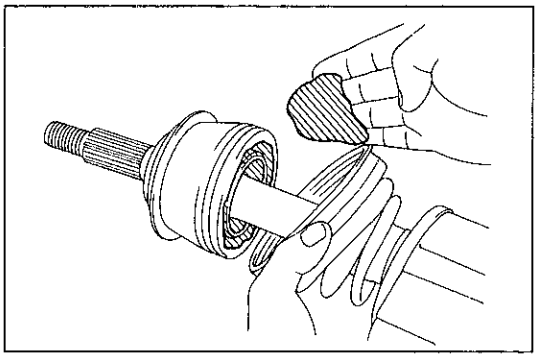
K4063


K4064


K4065



K4066


E7857

ドライブシャフト組み付け

1　クロスグルーブジョイント組み付け

(1)　ジョイント部が分解してしまった場合は，下記手順に従って組み付ける。

① アウターレース外周径の小さい方を上側に向ける。

② ケージ内側の面取りが，大きい方を上側に向ける。

③ インナーレースの端面までセレーションが切ってある方を上側に向ける。

④ インナーレースの凸部の長い部分とアウターレースの凸部の短い部分を合わせる。

⑤ ボール脱落防止のため，ソケットレンチをインナーレースの中に入れる。

⑥ ケージを持ち上げ，ボール6個をケージの中に入れる。

⑦ ケージを押さえながらアウターレースを持ち上げ，ボールとインナーレース溝を合わせてジョイントを組み付ける。

2　ブーツおよびクランプ組み付け

(1)　ドライブシャフトのスプライン部でブーツを傷つけるおそれがあるため，テープを巻く。

(2)　ドライブシャフトに次の新品部品を順に組み付ける。

① アウトボードジョイントブーツ

② クランプ4個

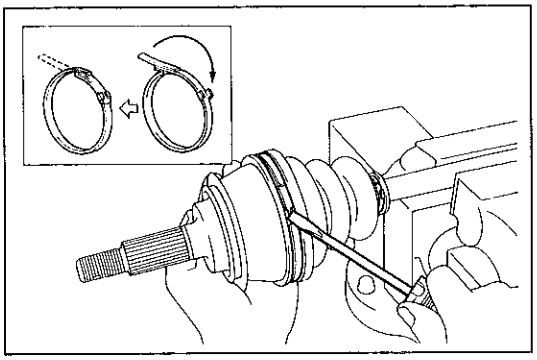
③ インボードジョイントブーツ

(3)　アウトボードジョイント部にグリースを充填し，ブーツを組み付ける。

注意　**ブーツのジョイントかん合溝部に，グリースを付着させない。**

〈参考〉　グリース量　120 g

無断複製禁止

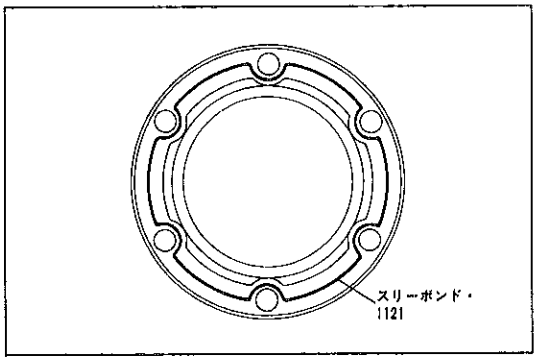

E7859

(4) クランプ2個をアウトボードジョイントブーツに組み付ける。

注意　ジョイント部固定のクランプは，クロスグルーブジョイント部のクランプより大きいものを組み付ける。

(5) 図に示すようにクランプを曲げてブーツをロックする。

注意　ブーツにねじれのないように組み付ける。

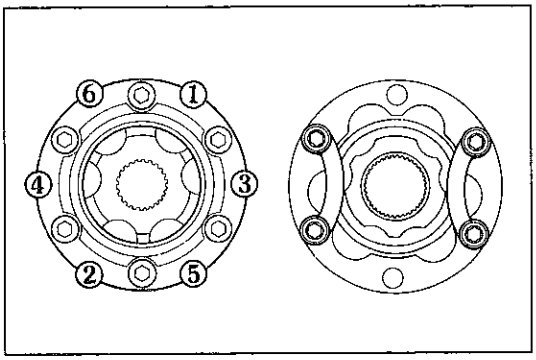


E7424

3　インボードジョイントカバー組み付け

(1) 新品のジョイントカバーの図に示す位置にφ1.0～1.8㎜の太さで塗布切れのないようにスリーボンド・1121を塗布する。

注意　スリーボンド・1121塗布後，ゴミなどを付着させない。



K0813　K4067

(2) カバーとジョイント合わせ面の油脂分を取り除く。

(3) カバーとジョイントにボルトを通し，ボルト穴を合わせる。

(4) ブラスバーを使用して，ジョイントカバーの端面を図に示す順序で数回に分けて打ち込む。

(5) インナーレースアウターレースを持って，クロスグルーブジョイントを逆さにする。

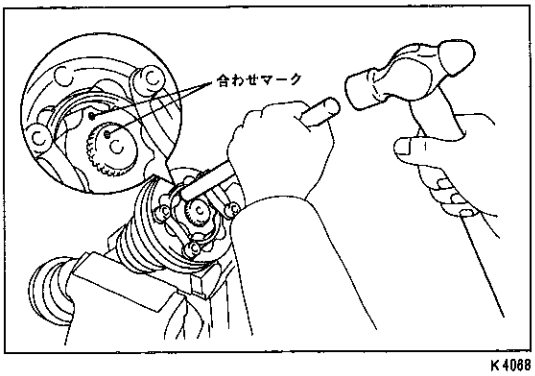
(6) ジョイント脱落防止のため，サイドギヤシャフト取り付けボルトおよびワッシャーを使用して，ナットで固定する。

4　クロスグルーブジョイント組み付け

(1) シャフトとジョイントの合わせマークを合わせる。

(2) ブラスバーを使用して，シャフトにジョイントを打ち込む。

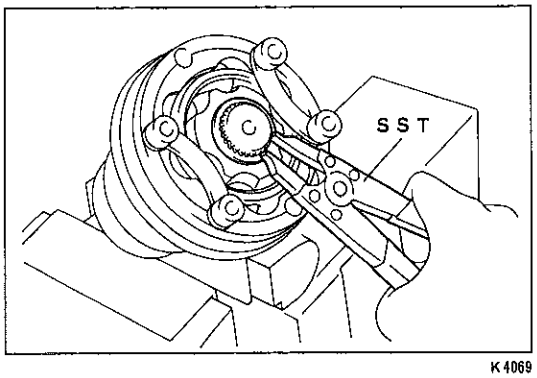
注意　ブラスバーは必ずインナーレースに当てる。



K4068

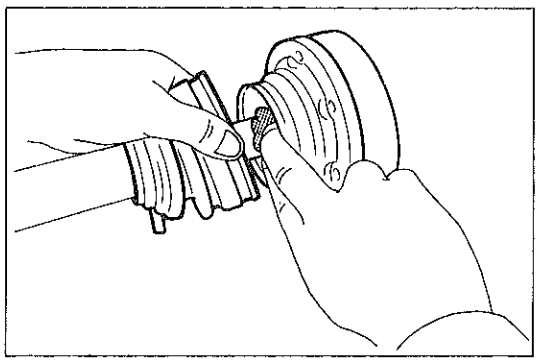
(3) SSTを使用して，新品のシャフトスナップリングを組み付ける。

ＳＳＴ　09905-00012



K4069

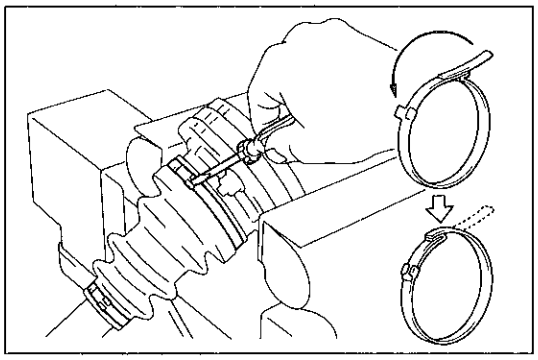
無断複製禁止


K 4070

(4) クロスグルーブジョイントにグリースを充填し，ブーツを組み付ける。

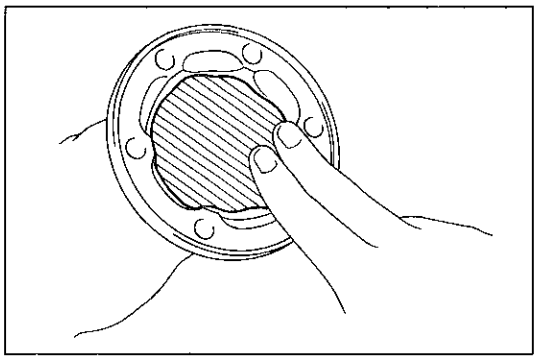
注意　• ブーツのジョイントかん合溝部に，グリースを付着させない。
• グリースはジョイント内のボール摺動面に十分に行き渡るよう充填する。

〈参考〉　グリース量　90 g


K 4071

(5) クランプ2個をインボードジョイントブーツに組み付ける。
(6) 図に示すようにクランプを曲げてブーツをロックする。

注意　ブーツにねじれのないように組み付ける。


K 0823

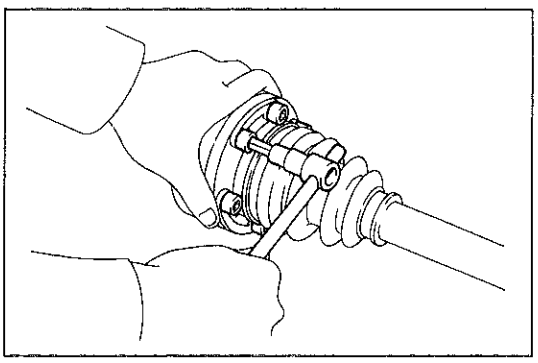
5　サイドギヤシャフト組み付け

(1) クロスグルーブジョイントおよびサイドギヤシャフトにグリースを充填する。

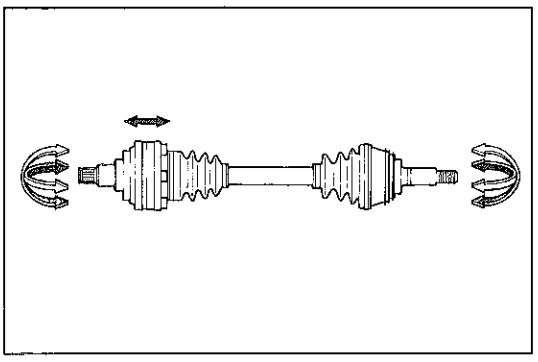
〈参考〉　グリース量　43 g

(2) 新品のガスケットを介して，合わせマークを合わせクロスグルーブジョイントにサイドギヤシャフトを組み付ける。

注意　取り付け面にグリースおよびゴミを付着させない。


K 4051

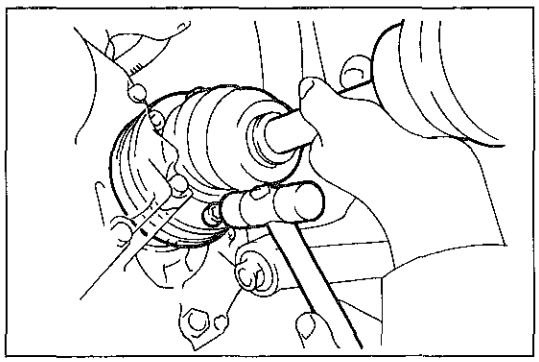
(3) ヘキサゴンレンチを使用して，ボルト6本をワッシャー3個を介して軽く締め付ける。

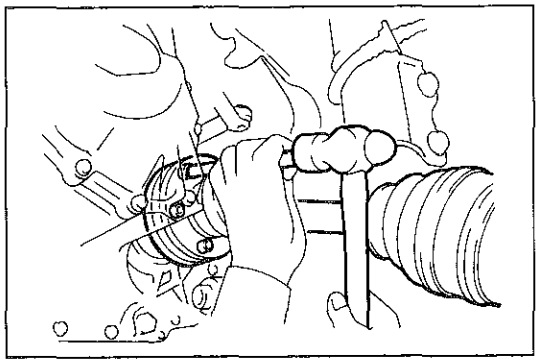

K 4050

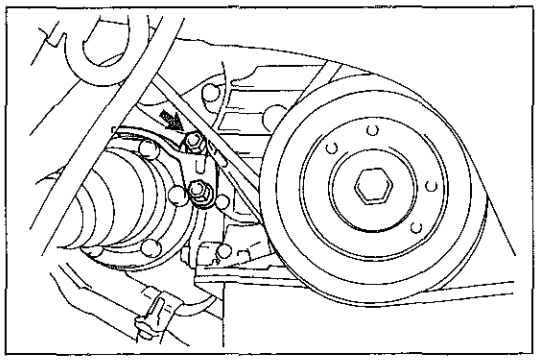
6　ドライブシャフト点検

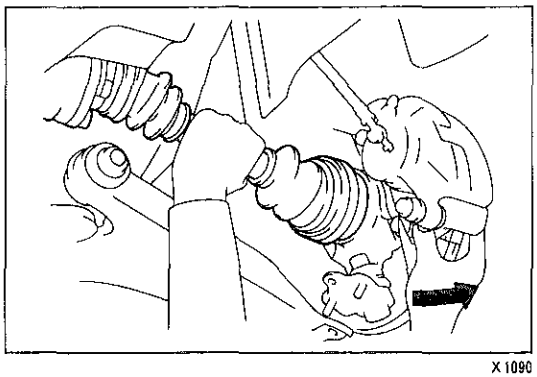
(1) ジョイント部を上下，左右，軸方向に動かし，スムースに作動することを点検する。また，ブーツに損傷およびグリース漏れがないことを点検する。

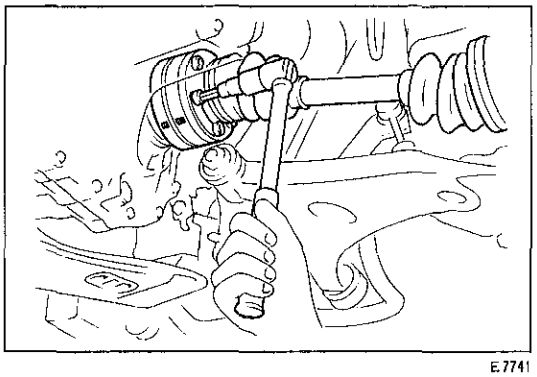
無断複製禁止


X1091


K0825


K4048


X1090


E7741

ドライブシャフト取り付け

1　ドライブシャフト取り付け

(1) ディファレンシャルケースの摺動面にキヤッスル・ギヤオイルスーパーを塗布する。

(2) スナップリングの切り口を下側に向けトランスアクスルに挿入し，プラスチックハンマーを使用して，クロスグルーブジョイントのボルトをたたいて，ドライブシャフトを仮挿入する。

注意 **• ドライブシャフト挿入時，オイルシールを傷つけない。**
• アウトボード側のダストカバーを変形させないようにウエスなどで保護する。

(3) ブラスバーを使用して，クロスグルーブジョイントのボルトをたたき，ドライブシャフトを打ち込む。

〈参考〉 打ち込み時，ブラスバーの反発力の変化または，音質の変化でドライブシャフトが取り付いていることを判断する。

(4) トランスミッションケースプロテクターをボルト2本で取り付ける。(右側)

T＝185kg•cm

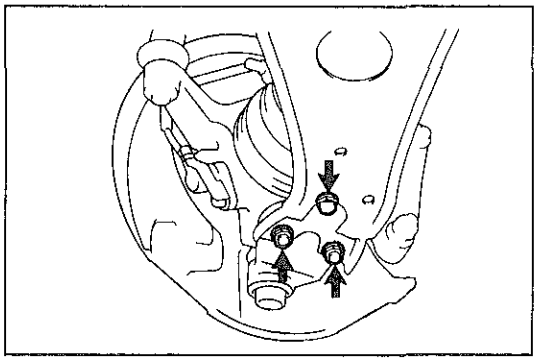
(5) ステアリングナックルを車両外側に押して，ドライブシャフトをアクスルハブに挿入する。

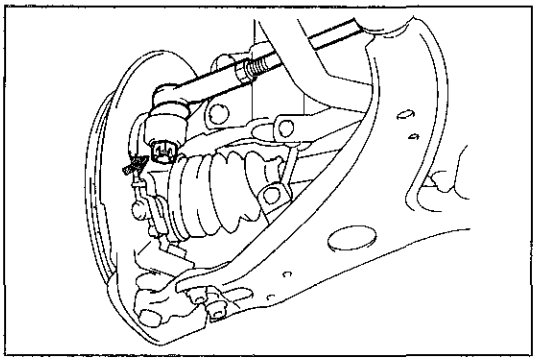
注意 **• ドライブシャフトのスプラインおよびねじ部でオイルシールを傷つけない。**
• 必要以上にステアリングナックルを車両外側へ押さない。
• スキッドコントロールローターを傷つけない。

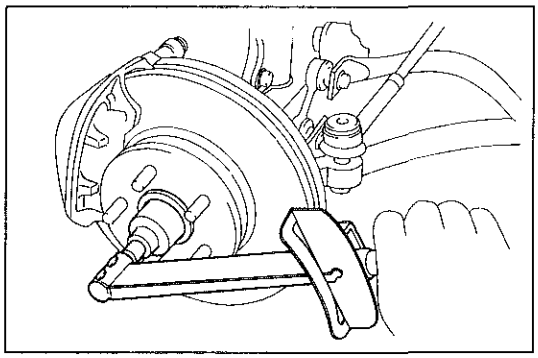
(6) ブレーキペダルを踏みブレーキが効いた状態で，ヘキサゴンレンチを使用して，ボルト6本を締め付ける。

T＝660kg•cm

無断複製禁止


X0102


X0124


D7088

2　ロワーアーム取り付け

(1)　ロワーアームとロワーボールジョイントをボルトおよびナット2個で取り付ける。

T＝1300kg・cm

3　タイロッドエンド取り付け

(1)　タイロッドエンドをステアリングナックルに取り付け，キャッスルナットを締め付ける。

T＝500kg・cm

(2)　新品のコッターピンを取り付ける。

4　プレートワッシャー，ナット，フロントホイールアジャスティングロックキャップおよびコッターピン取り付け

(1)　プレートワッシャーを取り付ける。

(2)　ブレーキペダルを踏みブレーキが効いた状態で，30mmのソケットレンチを使用して，ナットを締め付ける。

T＝1900kg・cm

(3)　フロントホイールアジャスティングロックキャップおよび新品のコッターピンを取り付ける。

5　フロントホイール取り付け

T＝1050kg・cm

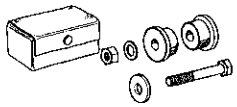
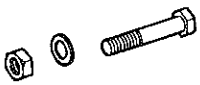
6　トランスアクスルオイル注入

〈参考〉　使用オイル キヤッスル・ギヤオイルスーパー

7　フロントホイールアライメント点検，調整

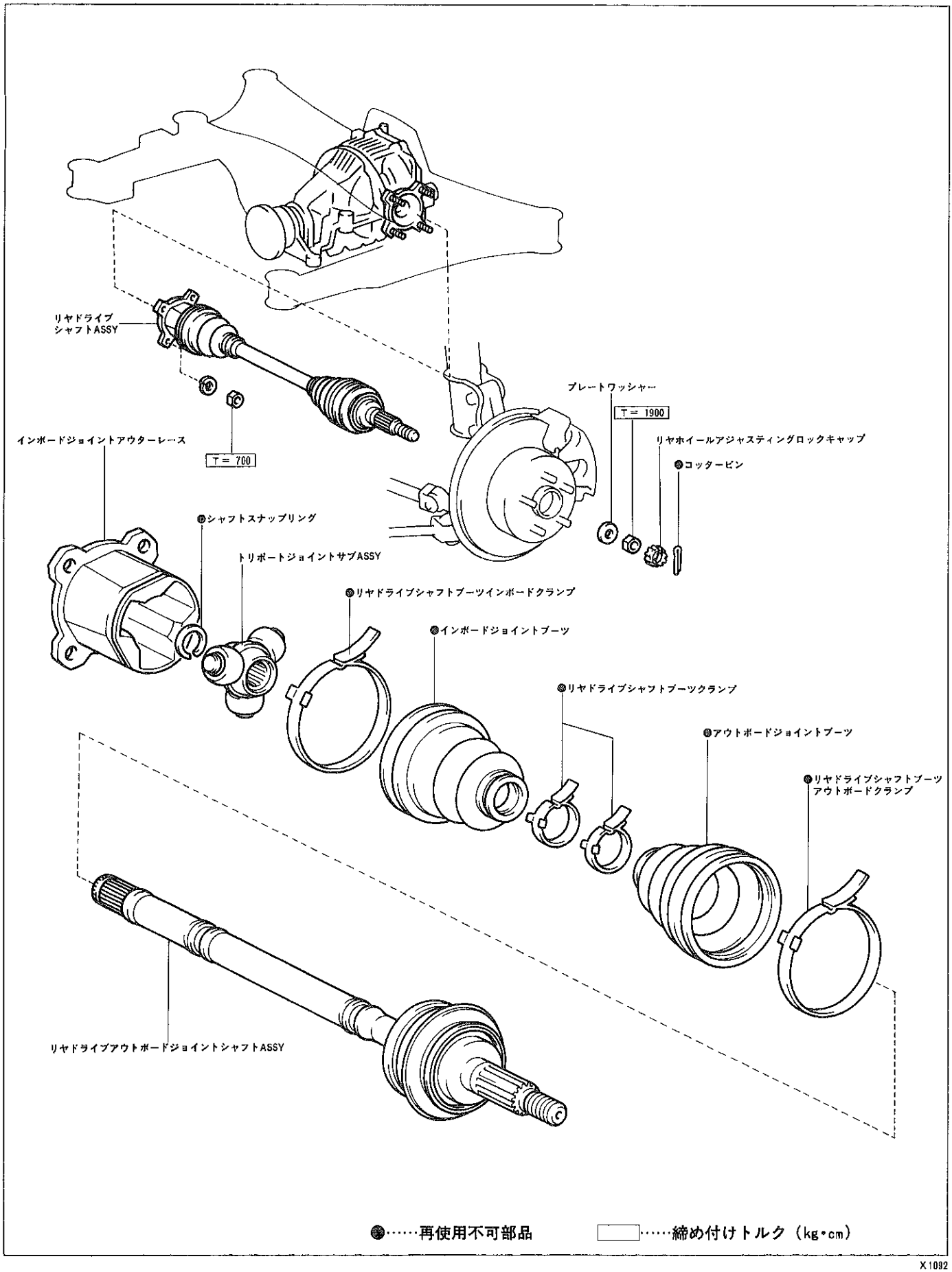
無断複製禁止

リヤドライブシャフト
準　備　品

SST		09608-16041	フロントハブベアリングアジャスティングツール	
		09608-02020	ボルト　アンド　ナット	リヤアクスルベアリング仮固定用
		09608-02040	リテーナー	
		09905-00012	スナップリングNo.1エクスパンダー	スナップリング脱着用
工　具	ソケットレンチ（30mm）			ロックナット脱着用
計　器	トルクレンチ（500～2800kg・cm）			ナット締め付け用

無断複製禁止

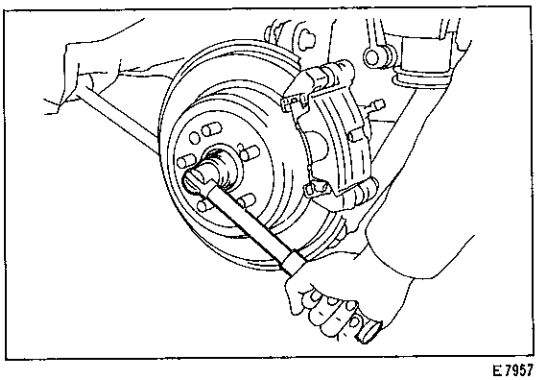
脱着分解構成図



●……再使用不可部品　　□……締め付けトルク（kg・cm）

X1092

無断複製禁止


E7957

ドライブシャフト取りはずし

1　コッターピン，リヤホイールアジャスティングロックキャップ，ナットおよびプレートワッシャー取りはずし

注意　**アルミホイール付き車は，リヤホイールを取りはずす。**

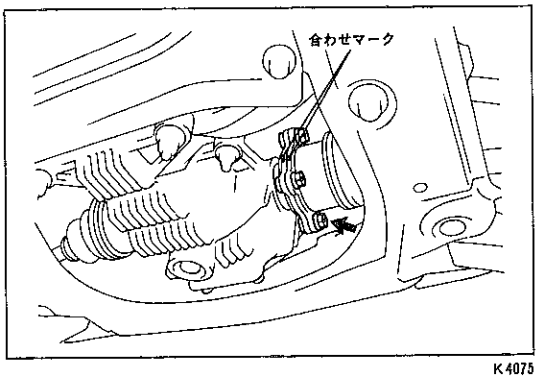
(1) パーキングブレーキレバーを引き，ブレーキを効かせる。

(2) コッターピンおよびリヤホイールアジャスティングロックキャップを取りはずし，30㎜のソケットレンチを使用して，ナットおよびプレートワッシャーを取りはずす。

2　ドライブシャフト取りはずし

(1) ドライブシャフトとディファレンシャルサイドギヤシャフトに合わせマークを付ける。

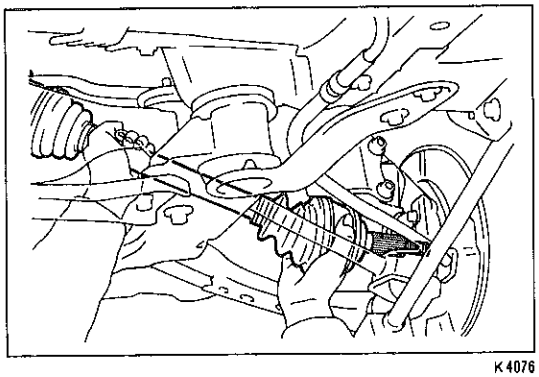
(2) パーキングブレーキレバーを引き，ドライブシャフトを固定してナット4個およびスプリングワッシャー4個を取りはずす。

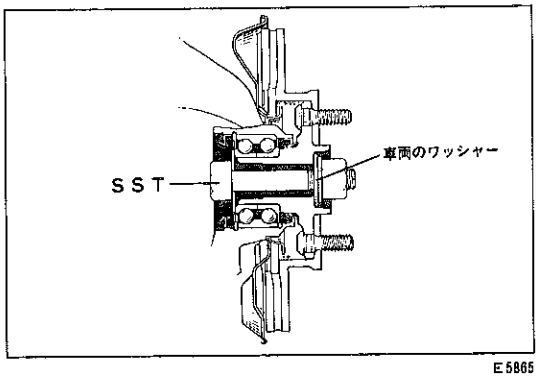


K4075

(3) ドライブシャフトをサイドギヤシャフトから切り離し，リヤアクスルシャフトから取りはずす。

注意　**• ブーツを損傷させない。**
• ABS付き車は，センサーローターを傷つけない。

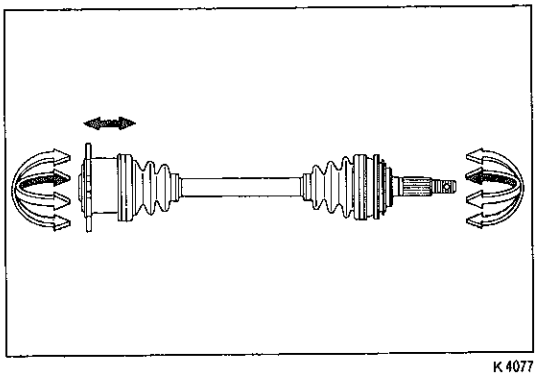

K4076



E5865

〈参考〉　ドライブシャフトを取りはずした状態でアクスルベアリングに車両荷重をかけないこと。車両移動などでやむを得ず荷重をかける場合は図のようにSSTを使用してアクスルベアリングを仮固定する。

SST　09608-02020　09608-02040

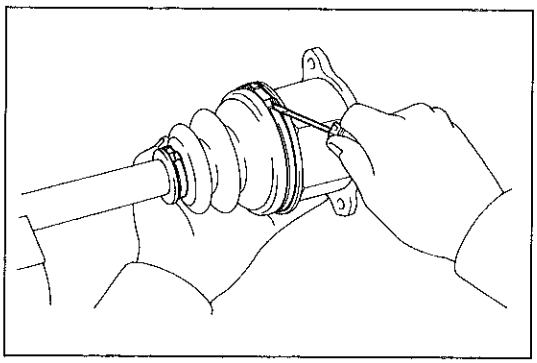

K4077

ドライブシャフト点検

1　ドライブシャフト点検

(1) ジョイント部を上下，左右，軸方向に動かし，作動の不円滑や著しいガタがないことを点検する。また，ブーツの亀裂，損傷およびグリース漏れを点検する。

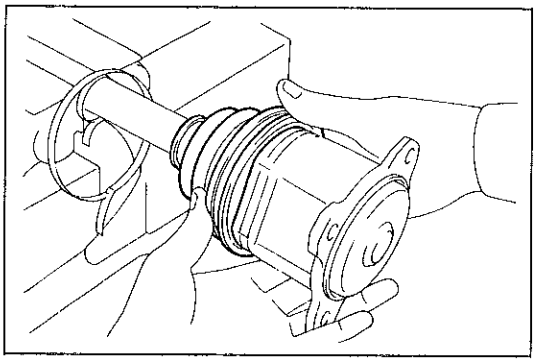
無断複製禁止


E7840

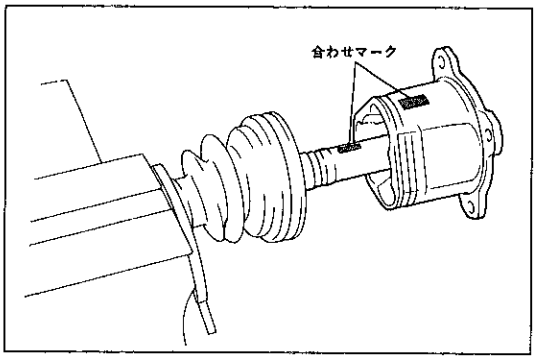
ドライブシャフト分解

1　ブーツクランプ取りはずし

(1) ⊖薄刃ドライバーを使用して，ブーツクランプ4個をインボードジョイントブーツおよびアウトボードジョイントブーツから取りはずす。


E7841

(2) アウターレースからインボードジョイントブーツを切り離す。



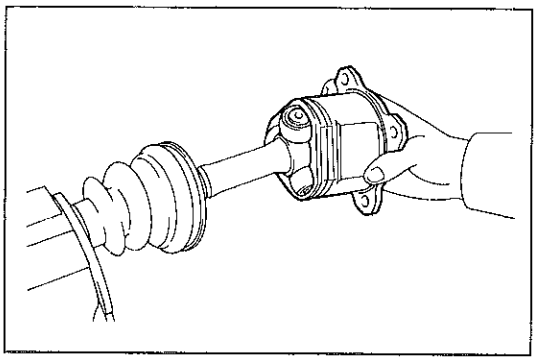
E7842

2　インボードジョイントアウターレース取りはずし

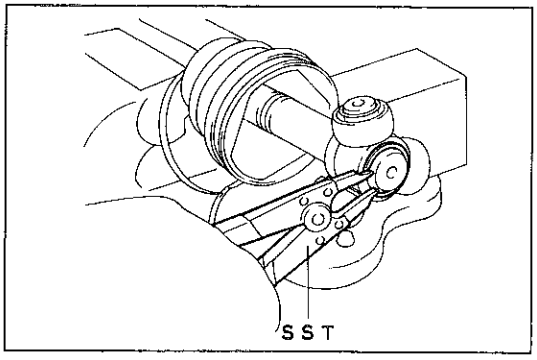
(1) インボードジョイント部からグリースを取り除く。

(2) インボードジョイントアウターレースとドライブシャフトに合わせマークを付ける。

注意　**ポンチを使用して，合わせマークを付けない。**


E7843

(3) インボードジョイントアウターレースをドライブシャフトから取りはずす。



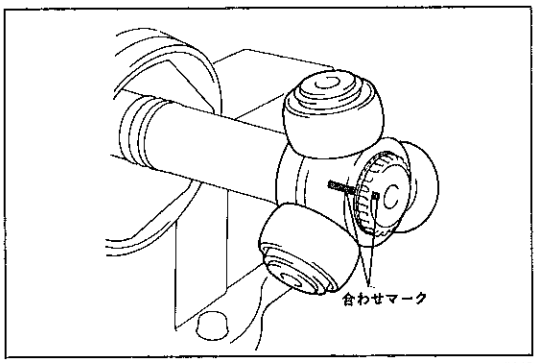
E7844

3　トリポートジョイント取りはずし

(1) SSTを使用して，シャフトスナップリングを取りはずす。

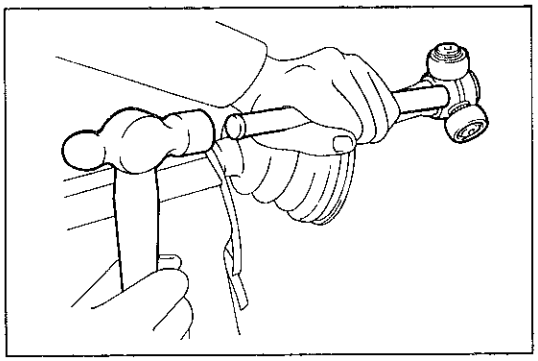
SST　09905-00012

無断複製禁止



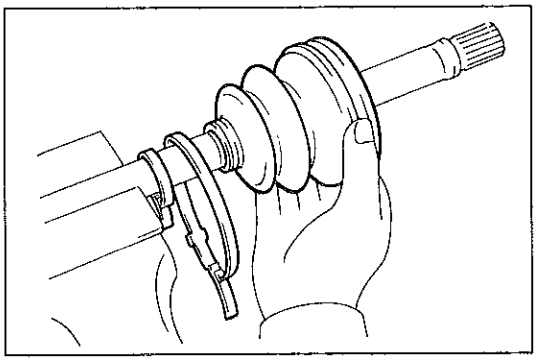
E7845

(2) トリポートジョイントとドライブシャフトに合わせマークを付ける。


E7846

(3) プラスバーを使用して，トリポートジョイントを取りはずす。

注意　取りはずしの際，ローラー部をたたかない。


E7847

4　ブーツ取りはずし

(1) インボードジョイントブーツ，クランプ4個およびアウトボードブーツを取りはずす。

ドライブシャフト組み付け

1　ブーツおよびクランプ組み付け

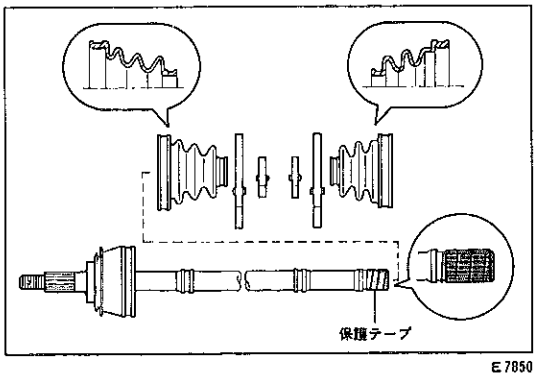
(1) ドライブシャフトのセレーション部でブーツを傷つけるおそれがあるため，保護用のテープを巻く。

(2) ドライブシャフトに次の新品部品を順に組み付ける。

① アウトボードジョイントブーツ

② クランプ4個

③ インボードジョイントブーツ

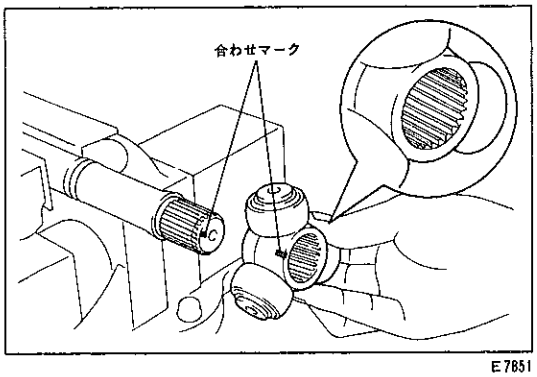


E7850

2　トリポートジョイント組み付け

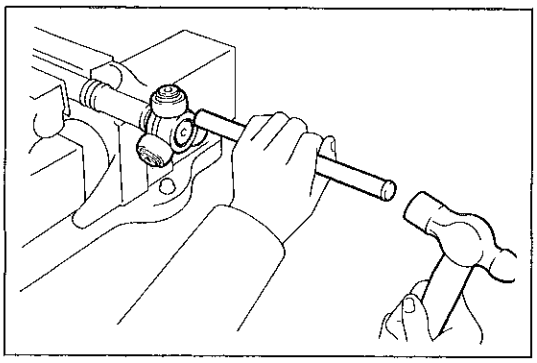
(1) トリポートジョイントをドライブシャフトの合わせマークに合わせて組み付ける。

注意　ジョイント端面までセレーションの切ってある側を図に示す方向に組み付ける。



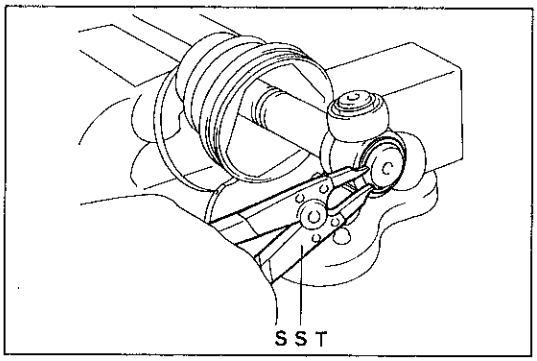
E7851

無断複製禁止


E7852

(2) ブラスバーを使用して，トリポートジョイントを打ち込む。

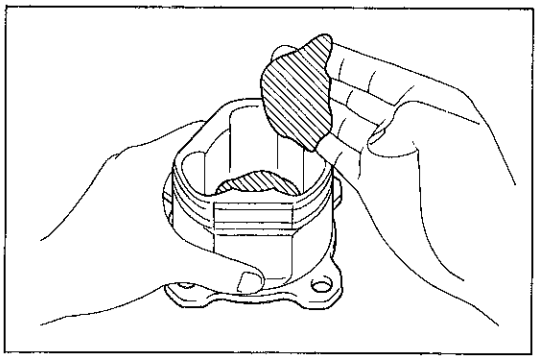
注意　打ち込む際，ローラー部をたたかない。



E7844

(3) SSTを使用して，新品のシャフトスナップリングを組み付ける。

SST　09905-00012

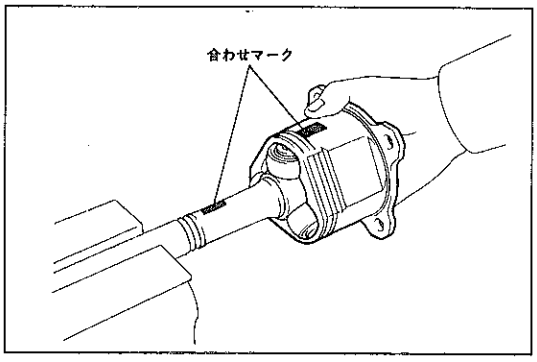

E7853

3　インボードジョイントアウターレース組み付け

(1) インボードジョイントアウターレースにグリースを充填する。

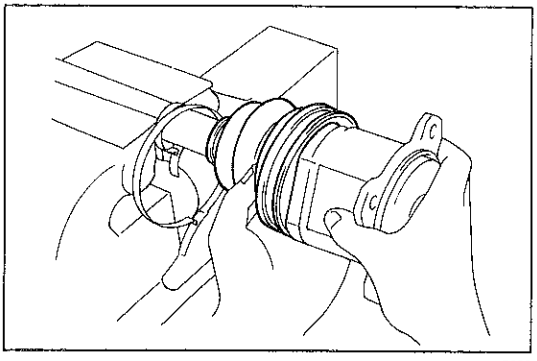
注意　インボードジョイントとアウトボードジョイントのグリースの種類が異なるため，間違えない。

〈参考〉　グリース量　180 g



E7854

(2) アウターレースとドライブシャフトの合わせマークを合わせて組み付ける。

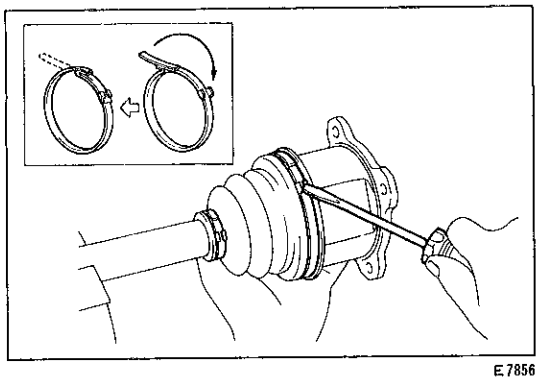

E7855

4　インボードジョイントブーツ組み付け

(1) インボードジョイントブーツをアウターレースおよびドライブシャフトの溝に組み付ける。

注意　ブーツのアウターレースかん合溝部に，グリースを付着させない。

無断複製禁止

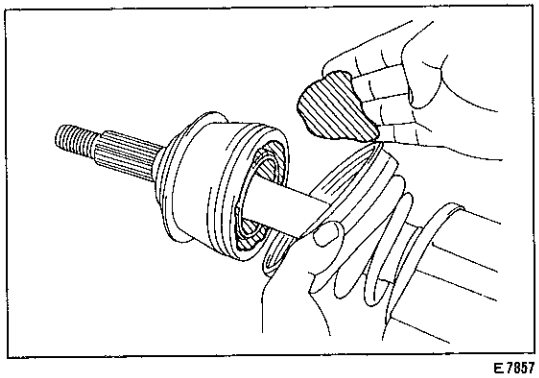

E7856

(2) クランプ2個をインボードジョイントブーツに組み付ける。

注意　アウターレース部固定のクランプは，アウトボードジョイント部のクランプより小さいものを組み付ける。

(3) 図に示すようにクランプを曲げてブーツをロックする。

注意　ブーツにねじれのないように組み付ける。

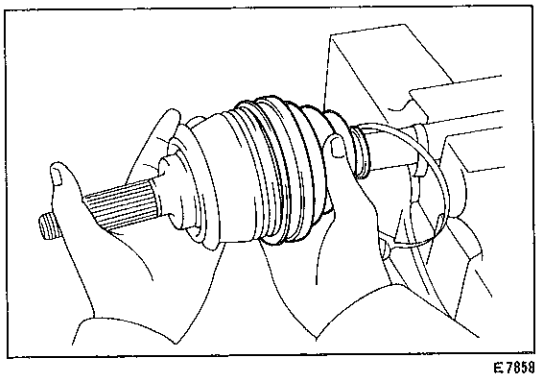

E7857

5　アウトボードジョイントブーツ組み付け

(1) ジョイント部にグリースを充填する。

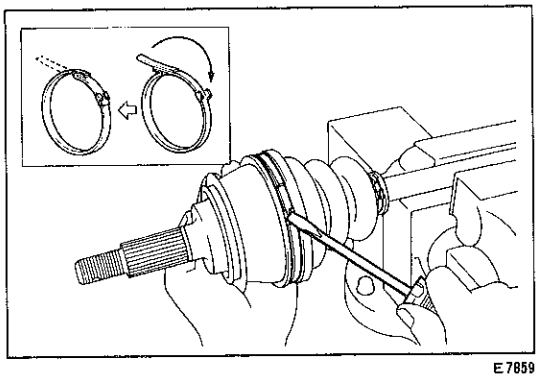
注意　アウトボードジョイントとインボードジョイントのグリースの種類が異なるため，間違えない。

〈参考〉　グリース量　120 g


E7858

(2) アウトボードジョイントブーツをジョイント部の溝に組み付ける。

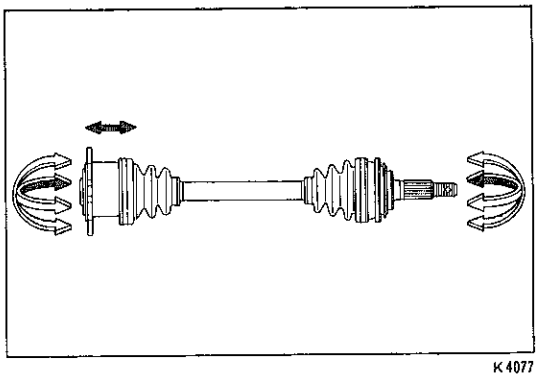
注意　ブーツのジョイントかん合溝部に，グリースを付着させない。


E7859

(3) クランプ2個をアウトボードジョイントブーツに組み付ける。

(4) 図に示すようにクランプを曲げてブーツをロックする。

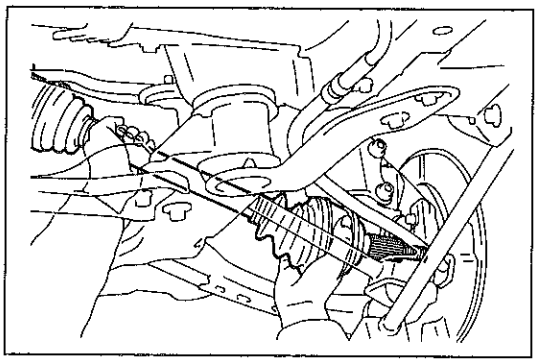
注意　ブーツにねじれのないように組み付ける。


K4077

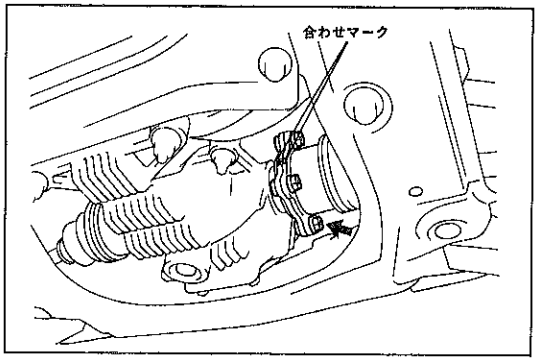
6　ドライブシャフト点検

(1) ジョイント部を上下，左右，軸方向に動かし，スムースに作動することを点検する。また，ブーツに損傷およびグリース漏れがないことを点検する。

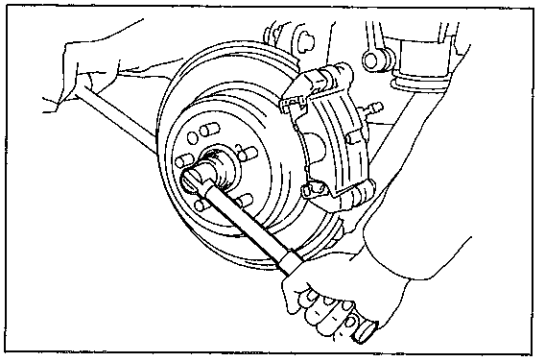
無断複製禁止



K4076



K4075



E7957

ドライブシャフト取り付け

1　ドライブシャフト取り付け

(1) ドライブシャフトのスプラインをリヤアクスルシャフトに挿入する。

注意　• ブーツを損傷させない。
• ABS付き車は，センサーローターを傷つけない。

(2) 合わせマークを合わせ，ディファレンシャルサイドギヤシャフトにインボードジョイントを組み付ける。

(3) パーキングブレーキレバーを引き，ドライブシャフトを固定して，スプリングワッシャー4個を介し，ナット4個を取り付ける。

T＝700kg・cm

2　ナット取り付け

(1) プレートワッシャーを取り付け，30㎜のソケットレンチを使用して，ナットを締め付ける。

T＝1900kg・cm

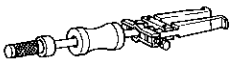
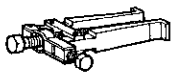
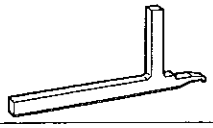
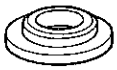
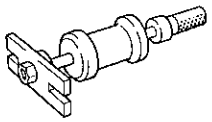
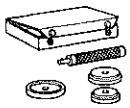
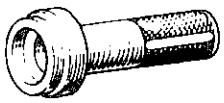
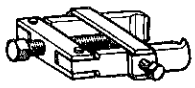
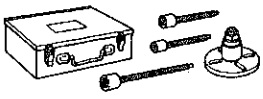
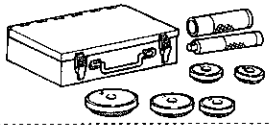
(2) リヤホイールアジャスティングロックキャップを取り付け，新品のコッターピンを取り付ける。

3　リヤホイール取り付け（アルミホイール付き車）

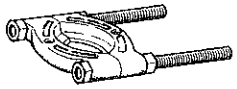
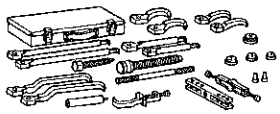
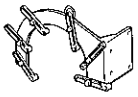
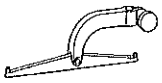
T＝1050kg・cm

無断複製禁止

〝トルセン〟LSD
準　備　品

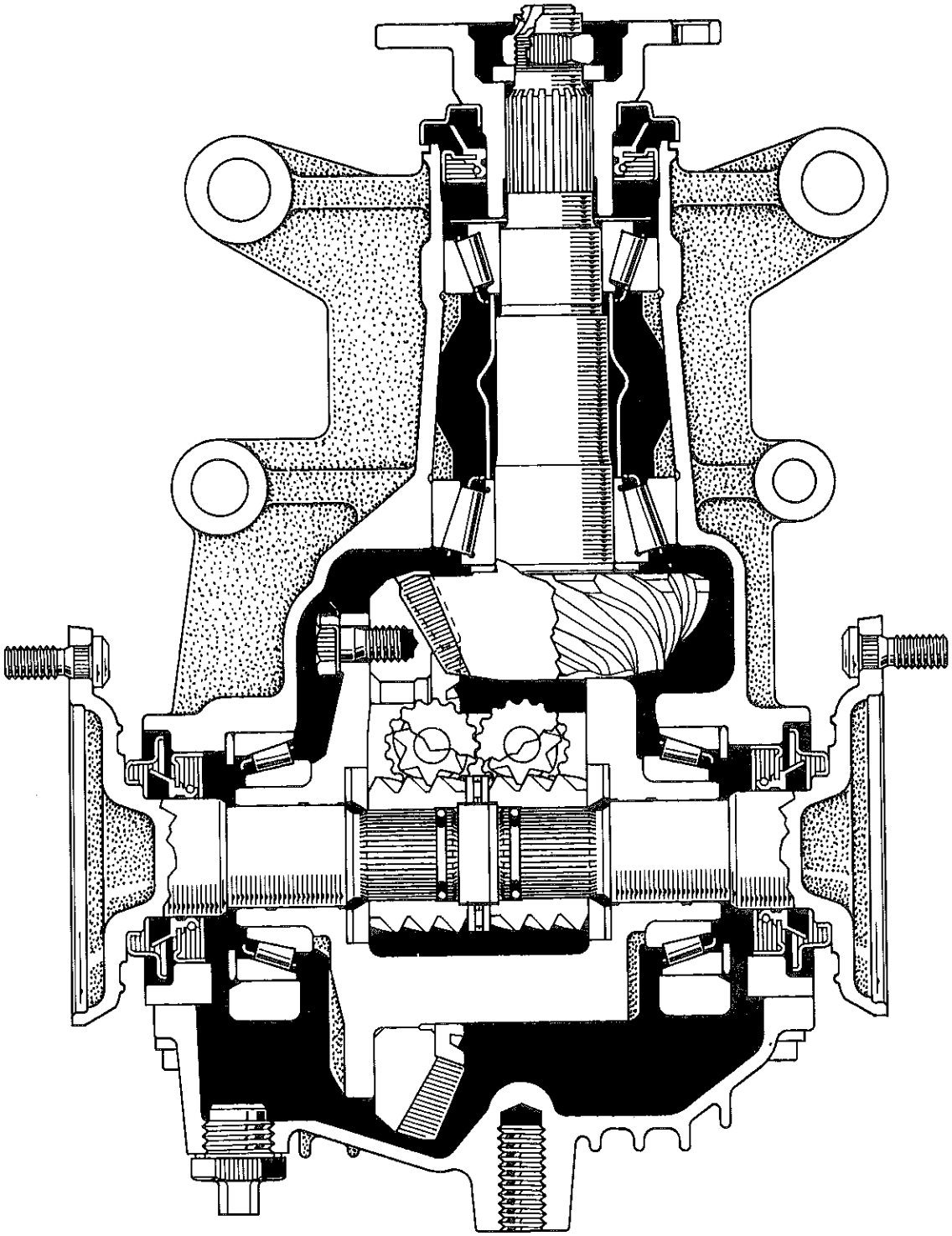
SST		09308-00010	オイルシールプラー	サイドギヤシャフトオイルシール取りはずし用
		09308-10010	オイルシールプラー	ドライブピニオンオイルシール取りはずし用
		09330-00021	コンパニオンフランジホールディングツール	コンパニオンフランジ保持用
		09504-22011	ディファレンシャルサイドワッシャーリムーバー　アンド　リプレーサー	プレートワッシャー脱着用
		09506-30012	ディファレンシャルドライブピニオンリヤベアリングコーンリプレーサー	ドライブピニオンフロントベアリング取り付け用
		09520-24010	ディファレンシャルサイドギヤシャフトプラー	サイドギヤシャフト取りはずし用
		09550-22011	リヤアクスルベアリング　アンド　ディファレンシャルツールセット	
		09550-00020	ハンドル	サイドギヤシャフトオイルシール取り付け用
		09550-00031	リプレーサー	サイドギヤシャフトオイルシール取り付け用
		09554-22010	ディファレンシャルオイルシールリプレーサー	ドライブピニオンオイルシール取り付け用
		09556-22010	ドライブピニオンフロントベアリングリムーバー	テーパードローラーベアリング（フロントベアリング）取りはずし用
		09557-22022	コンパニオンフランジリムーバー　アンド　リプレーサー	コンパニオンフランジ脱着用
		09608-30012	フロントハブ　アンド　ドライブピニオンベアリングツールセット	
		09608-00060	ドライブピニオンフロントベアリングカップリプレーサー	フロントベアリングアウターレース取り付け用

無断複製禁止

SST		09608-04020	ハンドル	フロントおよびリヤベアリングアウターレース取り付け用
		09608-04100	ドライブピニオンフロントベアリングカップリプレーサー	リヤベアリングアウターレース取り付け用
		09710-22020	フロントサスペンションブシュツールセット	
		09710-01030	アッパーアームブシュリプレーサー	サイドベアリング取り付け用
		09950-00020	ベアリングリムーバー	ドライブピニオンリヤベアリング取りはずし用 サイドベアリング取りはずし用
		09950-20017	ユニバーサルプラー	
		09958-30020	アタッチングディスクD	サイドベアリング取りはずし用(当て金として使用)
工　具		㈱バンザイ扱い ES-5TB 弥栄工業㈱扱い TL-FR	FR用オートマチックトランスミッションオーバーホールアタッチメント	ディファレンシャルキャリヤ分解，組み付け用
	ソケットレンチ　30mm			ドライブピニオンナット脱着用
計　器		㈱バンザイ扱い XY-1	ダイヤルゲージレバー式測定子	コンパニオンフランジ振れ点検
	ダイヤルゲージ			各部測定用
	マイクロメーター（0～25mm）			各部測定用
	トルクレンチ（0～30kg・cm）			プレロード測定用
	トルクレンチ（500～2800kg・cm）			ドライブピニオンナット締め付け用
油　脂 その他	キヤッスル・ハイポイドギヤオイルSX			ディファレンシャルケース内への注入用
	光明丹			リングギヤとドライブピニオンの歯当たり点検用
	ヒーター			リングギヤ加熱用
	シールパッキン1281			ディファレンシャルキャリヤカバーへの塗布用

無断複製禁止

断　面　図

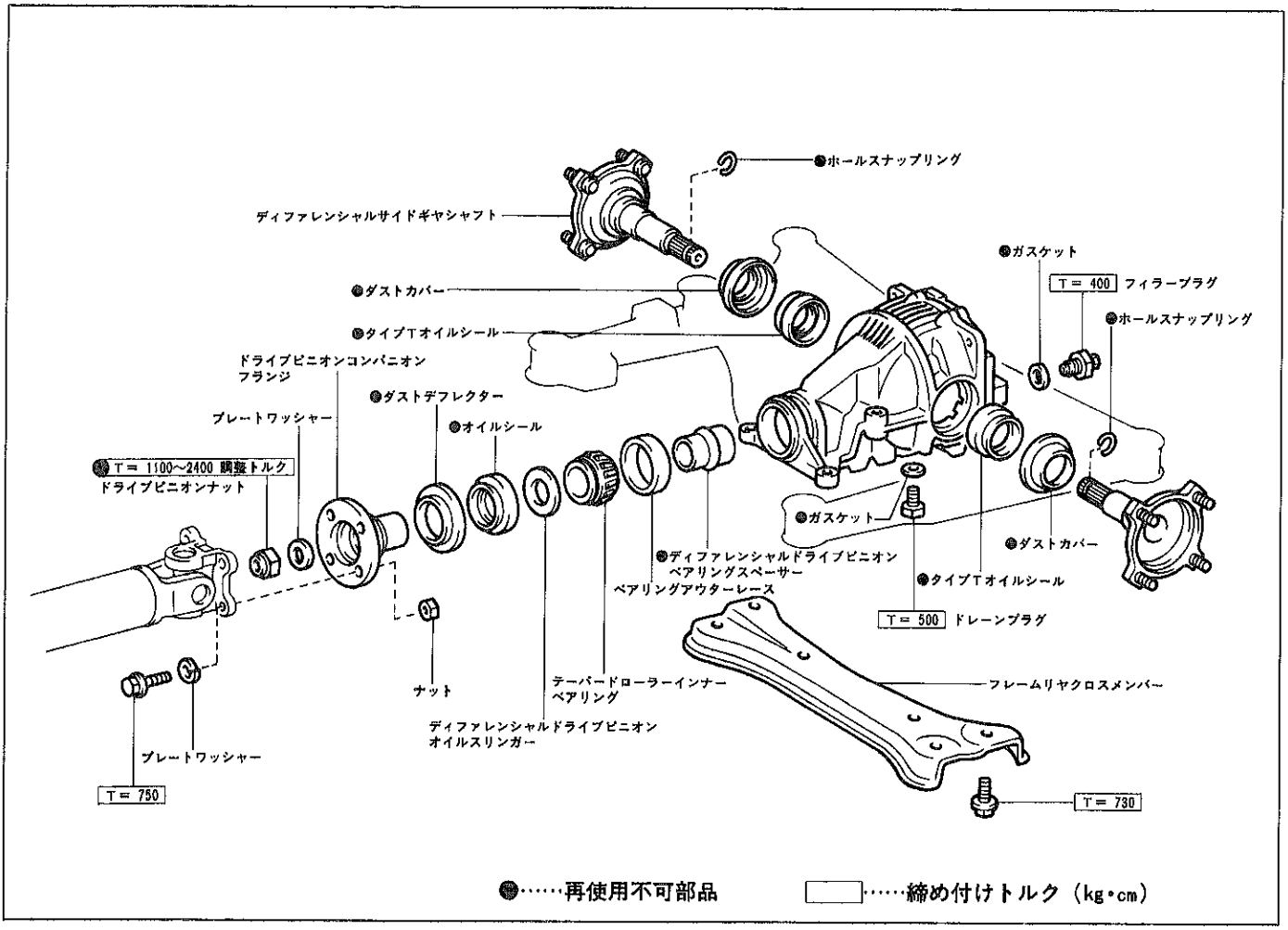


CD0416

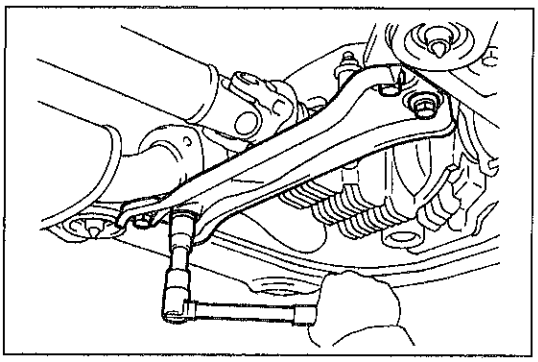
無断複製禁止

車上交換

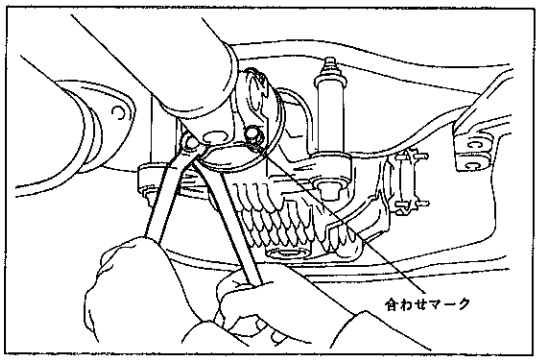
脱着構成図



X1068



E7861



E7862

ドライブピニオンオイルシール交換

1　フレームリヤクロスメンバー取りはずし

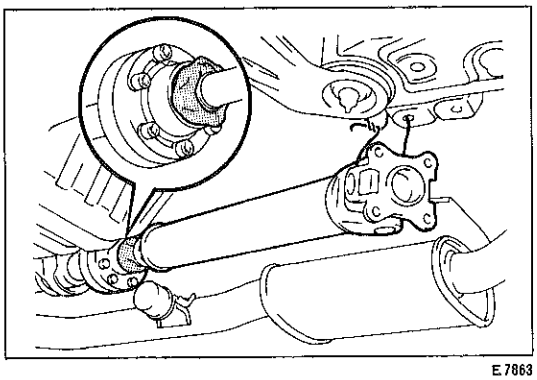
(1)　ボルト4本を取りはずし，フレームリヤクロスメンバーを取りはずす。

2　プロペラシャフト切り離し

(1)　プロペラシャフトのフランジヨークとコンパニオンフランジに合わせマークを付ける。

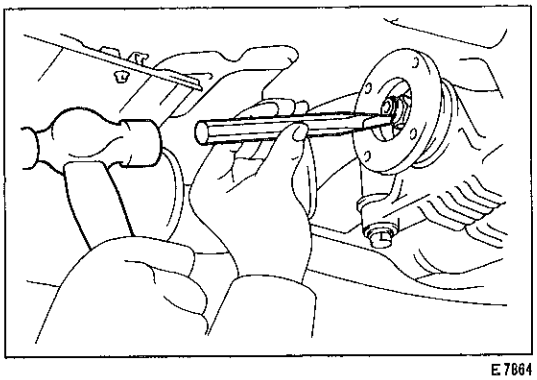
(2)　ボルトおよびナット各4個を取りはずし，プロペラシャフトを切り離す。

無断複製禁止


E7863

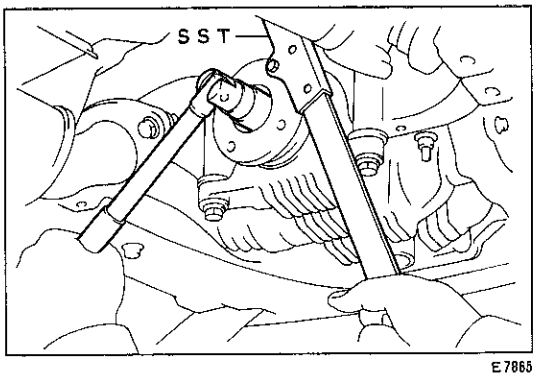
(3) プロペラシャフトのジョイント部に無理な力が加わらないようにプロペラシャフトを吊り下げる。

注意　ジョイントのブーツ部にウエスなどを詰め込み，ブーツを傷つけない。


E7864

3　コンパニオンフランジ取りはずし

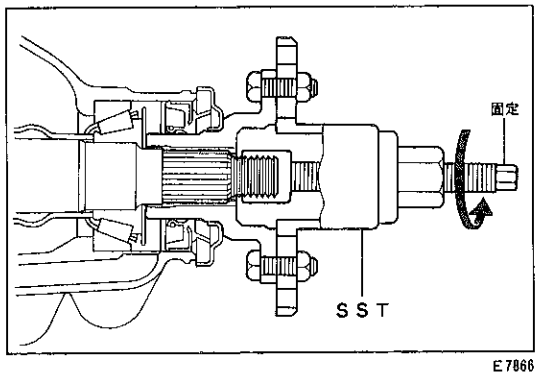
(1) タガネを使用して，ナットのかしめを解く。



E7865

(2) SSTを使用してフランジを固定し，ナットおよびプレートワッシャーを取りはずす。

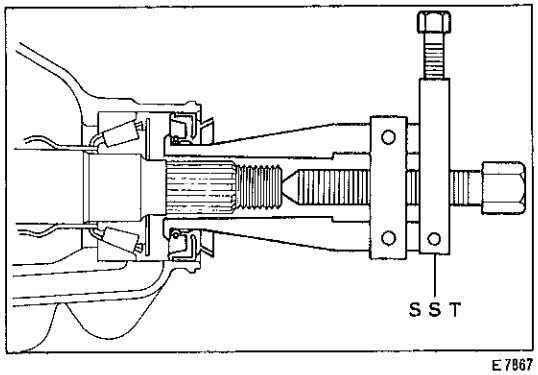
SST　09330-00021



E7866

(3) SSTを使用して，コンパニオンフランジを取りはずす。

SST　09557-22022



E7867

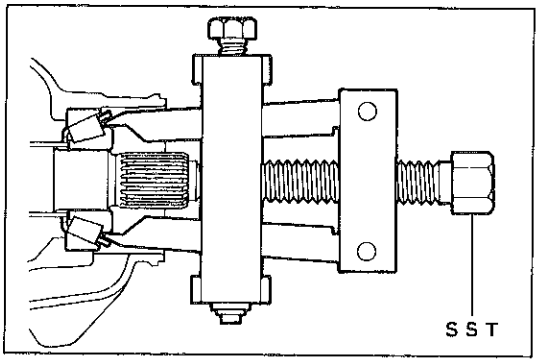
4　オイルシール取りはずし

(1) SSTを使用して，オイルシールを取りはずす。

SST　09308-10010

5　ドライブピニオンオイルスリンガー取りはずし

無断複製禁止



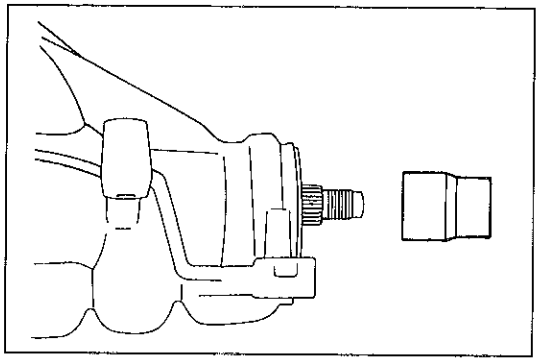
E6067

6　テーパードローラーベアリングインナー（フロント用）取りはずし

(1)　SSTを使用して，テーパードローラーベアリングインナーを取りはずす。

SST　09556-22010

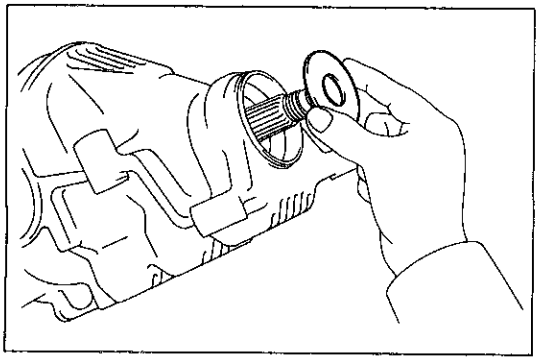
7　ドライブピニオンベアリングスペーサー取りはずし


E7947

8　ドライブピニオンベアリングスペーサー取り付け

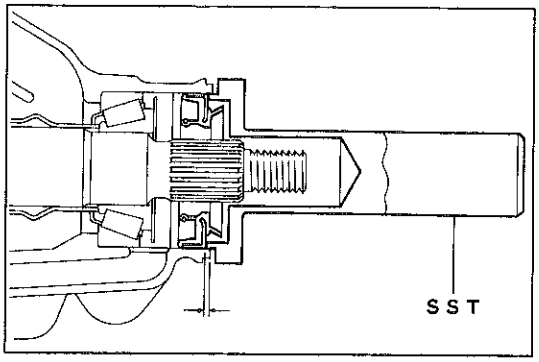
(1)　ドライブピニオンに新品のスペーサーを取り付ける。

注意　内径の大きい方をリヤ側へ向ける。


E7868

9　テーパードローラーベアリングインナー（フロント用）取り付け

10　ドライブピニオンオイルスリンガー取り付け



E7869

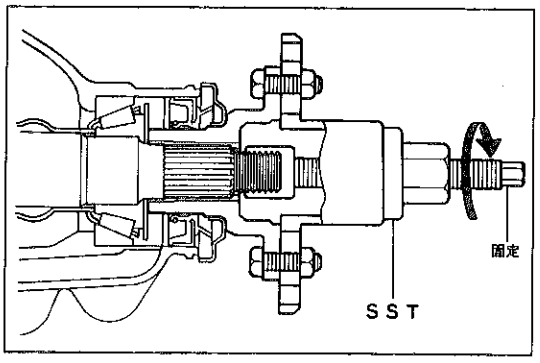
11　オイルシール取り付け

(1)　新品のオイルシールのリップ部にキヤッスル・MPグリースNo.2を塗布する。

(2)　SSTを使用して，オイルシールを打ち込む。

SST　09554-22010

基準値　オイルシール打ち込み量（キャリヤ端面より）　2.0mm



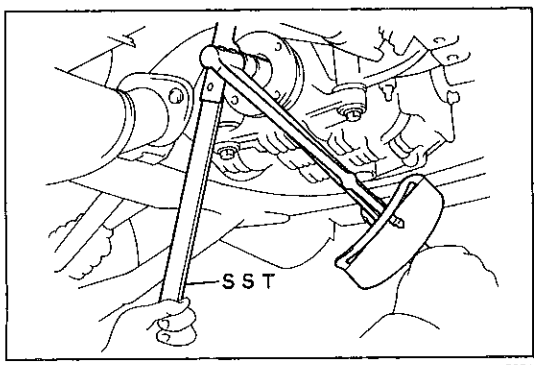
E7870

12　コンパニオンフランジ取り付け

(1)　SSTを使用して，コンパニオンフランジを取り付ける。

SST　09557-22022

無断複製禁止



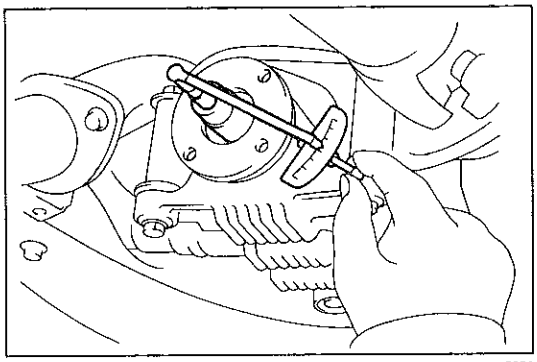
E7871

(2) プレートワッシャーを取り付ける。

(3) 新品のナットのねじ部にギヤオイルを塗布し，SSTを使用してフランジを固定し，ナットを締め付ける。

SST　09330-00021

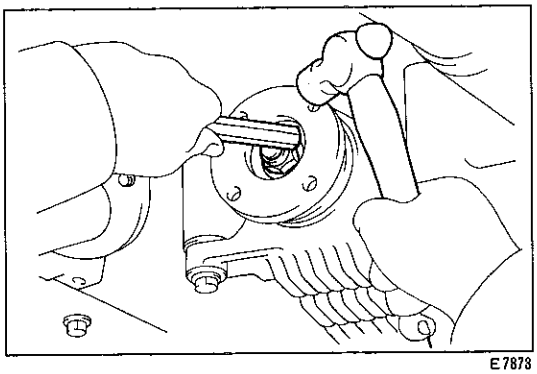
T＝1100～2400kg・cm


E7872

13 ドライブピニオンプレロード点検

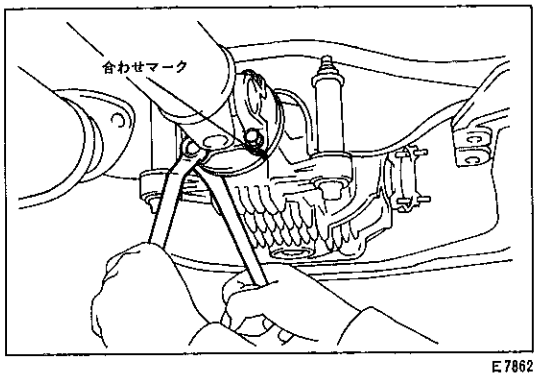
(1) ドライブピニオンとリングギヤのバックラッシュの範囲内で起動トルクを測定する。

基準値　5～8 kg・cm


E7873

14 ナットかしめ

(1) タガネを使用して，ナットをかしめる。



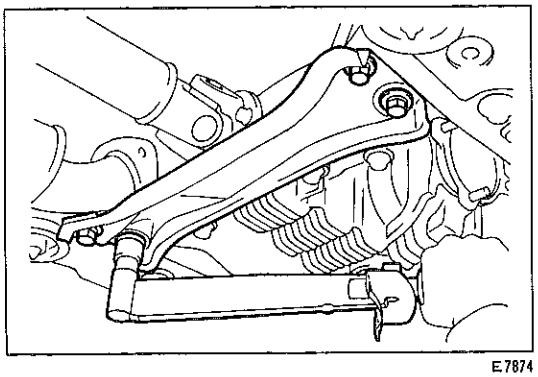
E7862

15 プロペラシャフト取り付け

(1) ディファレンシャルのコンパニオンフランジの合わせマークに合わせてプロペラシャフトを取り付ける。

(2) ボルトにワッシャーをいれて，ナット各4個を締め付ける。

T＝750kg・cm

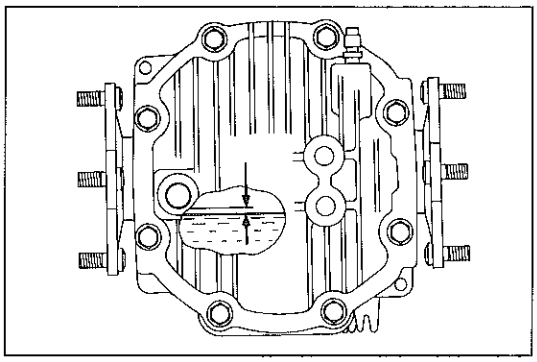

E7874

16 フレームリヤクロスメンバー取り付け

(1) ボルト4本で，フレームリヤクロスメンバーを取り付ける。

T＝730kg・cm

無断複製禁止


E7875

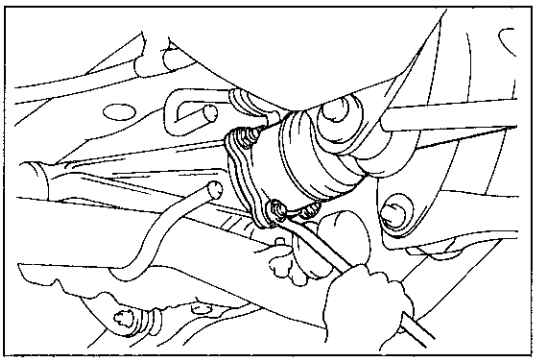
17　ディファレンシャルオイル量点検

基準値　　フィラー下面　＋0 mm
　　－5 mm

フィラープラグ締め付けトルク　T＝400kg・cm

〈参考〉　使用オイルと油量
　　キヤッスル・ハイポイドギヤオイルSX
　　全油量　1.1ℓ

サイドギヤシャフトオイルシール交換

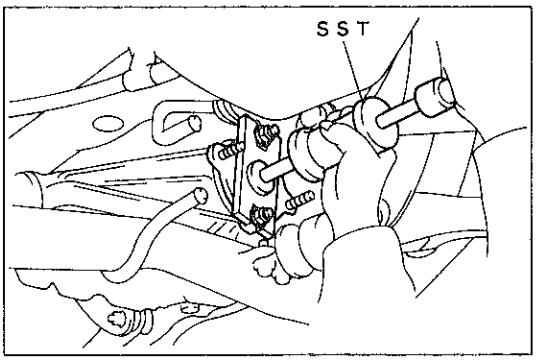

K6910

1　ドライブシャフト切り離し

(1)　ナットを取りはずす。

(2)　ドライブシャフトが水平になるようにロワーアームをジャッキアップする。

(3)　ドライブシャフトをサイドギヤシャフトから切り離し，針金などで吊っておく。



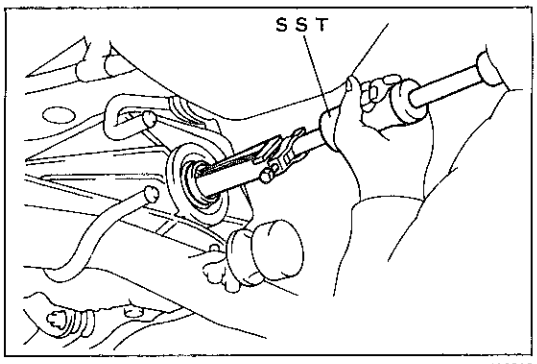
K6911

2　サイドギヤシャフト取りはずし

(1)　SSTを使用して，ディファレンシャルキャリヤからサイドギヤシャフトを取りはずす。

SST　　09520-24010

(1)　⊖ドライバーなどを使用して，スナップリングをシャフトから取りはずす。

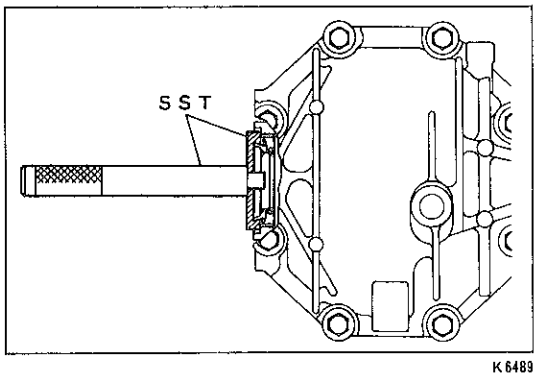


K6912

3　サイドギヤシャフトオイルシール取りはずし

(1)　SSTを使用して，オイルシールを取りはずす。

SST　　09308-00010



K6489

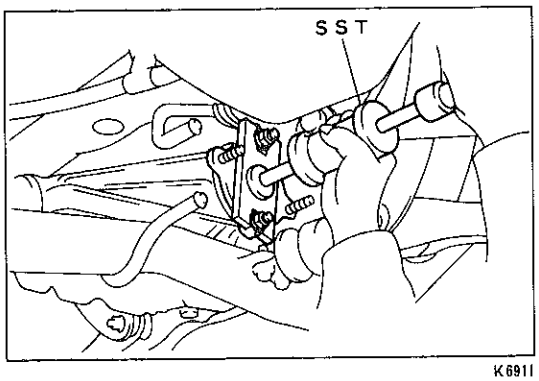
4　サイドギヤシャフトオイルシール取り付け

(1)　SSTを使用して，新品のオイルシールをディファレンシャルキャリヤ端面と面一になるまで打ち込む。

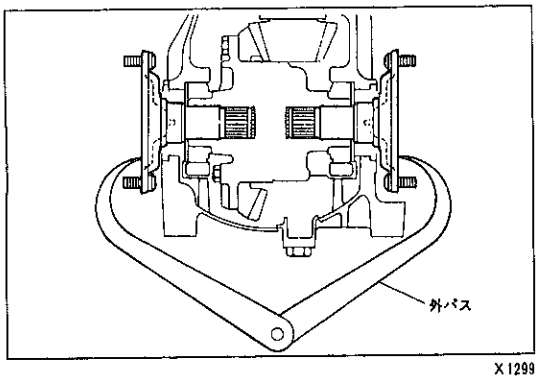
SST　　09550-00020　　09550-00031

(2)　オイルシールリップ部にキヤッスル・MPグリースNo.2を塗布する。

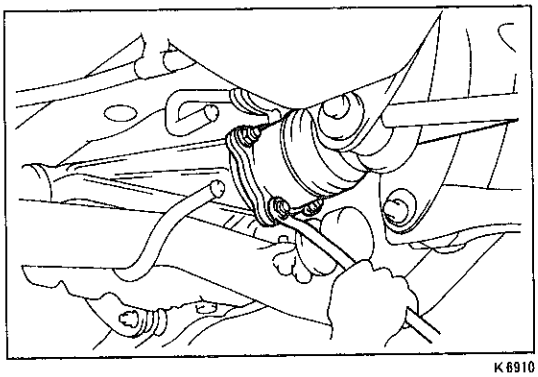
無断複製禁止

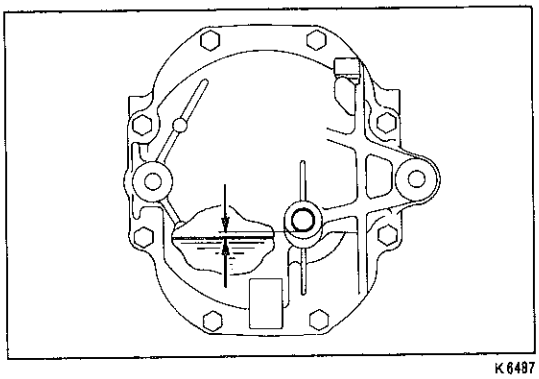


K6911



X1299


K6910


K6497

5　サイドギヤシャフト取り付け

(1) 新品のスナップリングをサイドギヤシャフトに組み付ける。

(2) スナップリングにキヤッスル・MPグリースNo.2を塗布する。

(3) SSTを使用して，サイドギヤシャフトをディファレンシャルに打ち込む。

SST　09520-24010

注意
- **スナップリングの切り口を下向きにして組み付ける。**
- **挿入時，斜めに打ち込まない。斜めに打ち込んだ場合は，スナップリングを新品に取り替え，再度打ち込む。**
- **挿入時，オイルシールを傷つけない。**

〈参考〉
- 打ち込み時，SSTのスライディングハンマーの反発力の変化あるいは音質の変化でピニオンシャフトに当たっていることを判断できる。
- サイドギヤシャフトをディファレンシャルピニオンシャフトに当てた状態にし，サイドギヤシャフトフランジ面を外パスなどで測定する。

参考値　**242.67mm以下**

6　ドライブシャフト接続

(1) ドライブシャフトが水平になるようにロワーアームをジャッキアップし，ドライブシャフトをサイドギヤシャフトに取り付ける。

(2) ナットを取り付ける。

T＝700kg・cm

7　ディファレンシャルオイル量点検

基準値　**フィラー下面　＋0mm**
－5mm

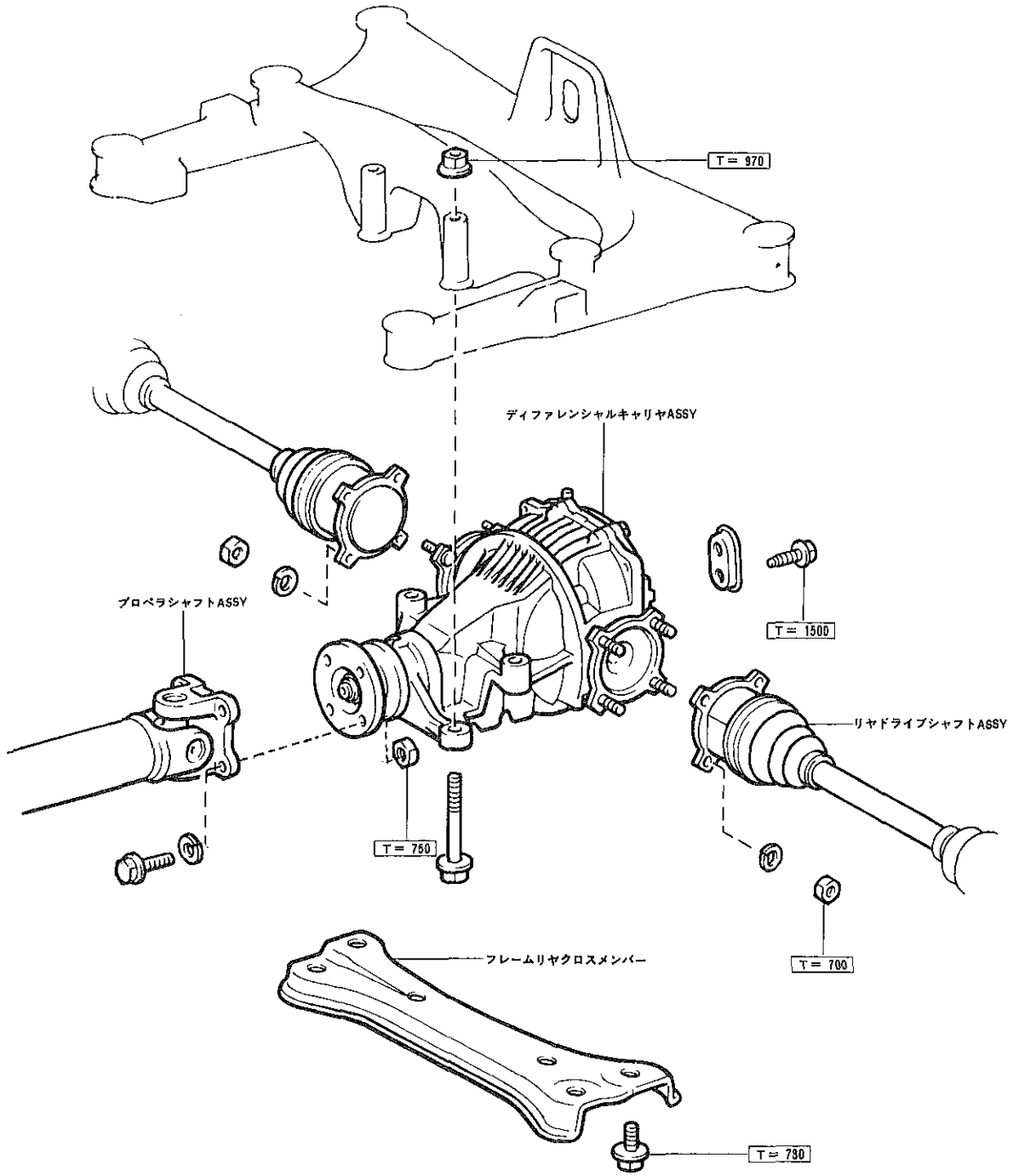
フィラープラグ締め付けトルク　T＝400kg・cm

〈参考〉　使用オイルと油量
キヤッスル・ハイポイドギヤオイルSX
全油量　1.1ℓ

無断複製禁止

ディファレンシャルキャリヤASSY

脱着構成図



□……締め付けトルク（kg・cm）

X1069

無断複製禁止

ディファレンシャルキャリヤASSY取りはずし

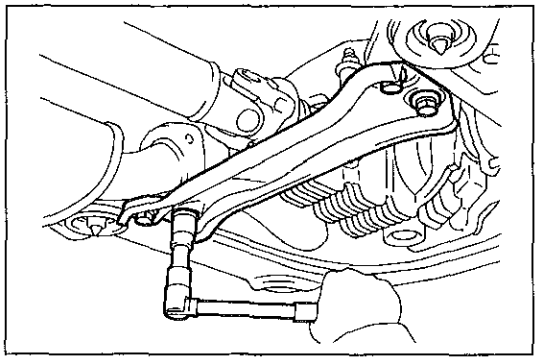
1　オイル抜き取り

(1) フィラープラグおよびガスケットを取りはずす。

(2) ドレーンプラグおよびガスケットを取りはずし，オイルを抜き取る。

2　ドライブシャフトASSY（RH，LH）取りはずし

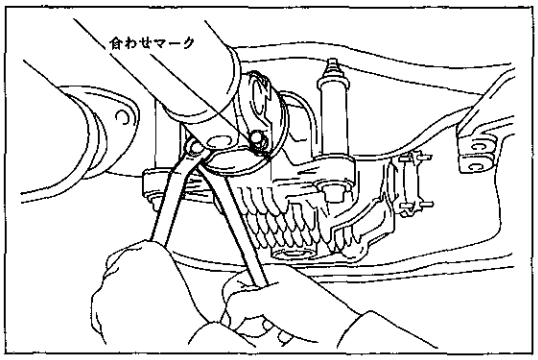
（P5-19参照）



E7861

3　フレームリヤクロスメンバー取りはずし

(1) ボルト4本を取りはずし，フレームリヤクロスメンバーを取りはずす。

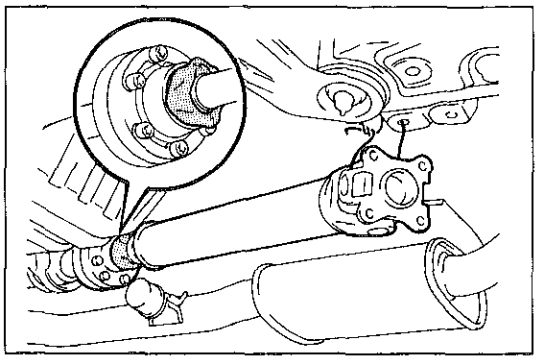


E7862

4　プロペラシャフト切り離し

(1) プロペラシャフトのフランジヨークとコンパニオンフランジに合わせマークを付ける。

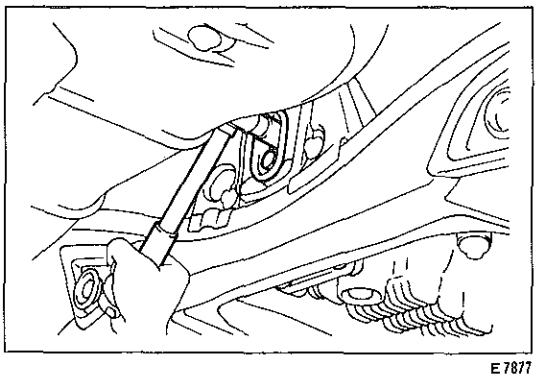
(2) ボルトおよびナット各4個を取りはずし，プロペラシャフトを切り離す。



E7863

(3) プロペラシャフトのジョイント部に無理な力が加わらないようにプロペラシャフトを吊り下げる。

注意　**ジョイントのブーツ部にウエスなどを詰め込み，ブーツを傷つけない。**



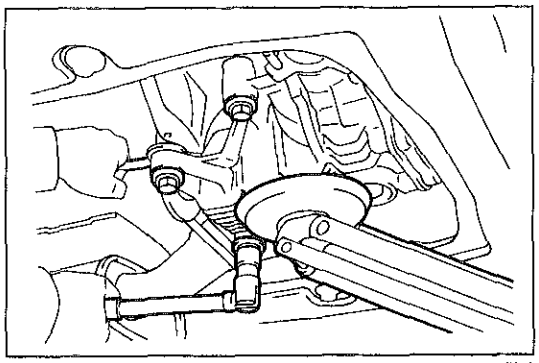
E7877

5　ディファレンシャルキャリヤASSY取りはずし

(1) ディファレンシャルキャリヤASSYをジャッキで支える。

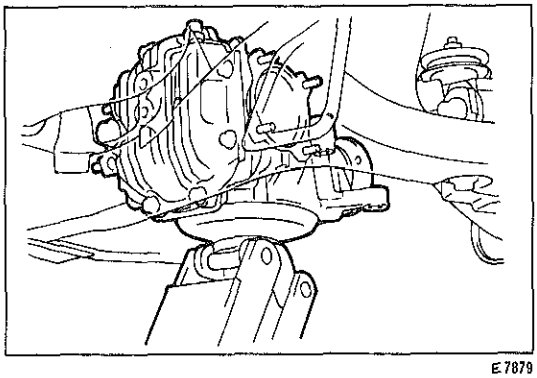
(2) ボルト2本を取りはずす。

無断複製禁止



E7878

(3) ボルトおよびナット各4個を取りはずす。



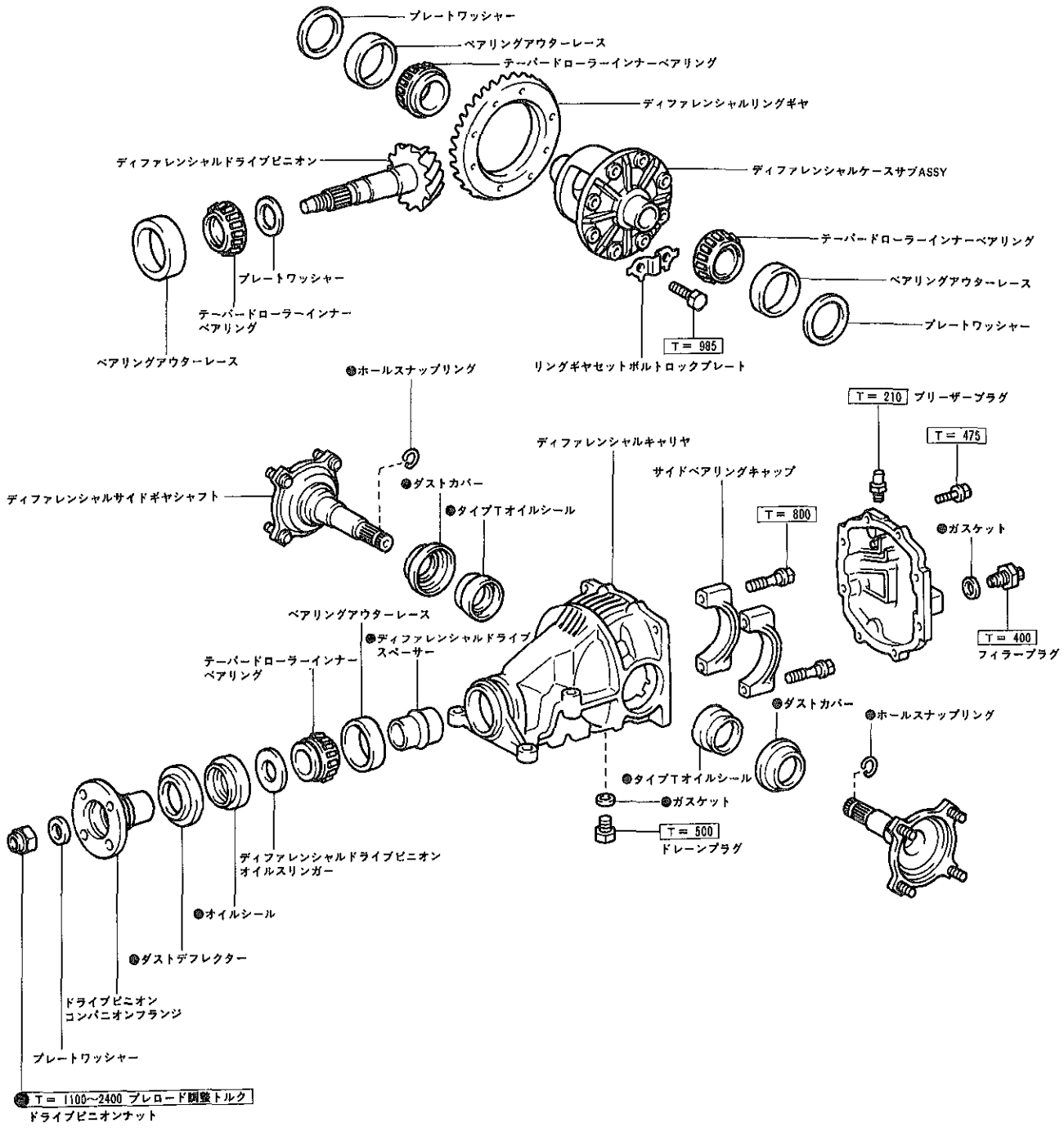
E7879

(4) ジャッキを操作して，ディファレンシャルキャリヤASSYをゆっくりと下ろす。

注意 ディファレンシャルキャリヤASSYを落とさない。

無断複製禁止

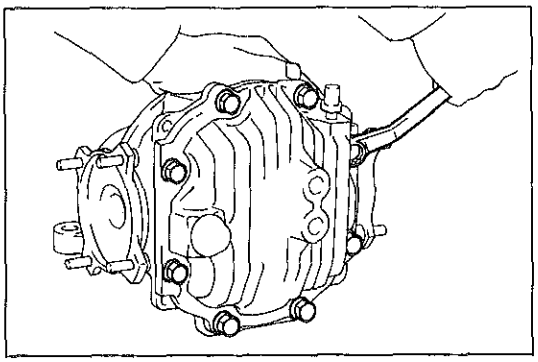
分解構成図



●……再使用不可部品　　□……締め付けトルク（kg・cm）

X1070

無断複製禁止

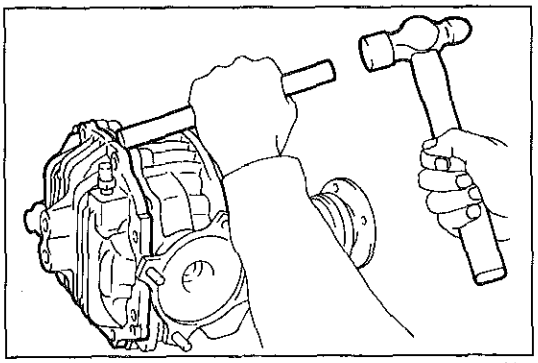

E7881

ディファレンシャルキャリヤASSY分解前点検

〈参考〉　3～10の分解前点検は不具合のあるものを分解する場合必ず点検すること。

1　ディファレンシャルキャリヤカバー取りはずし

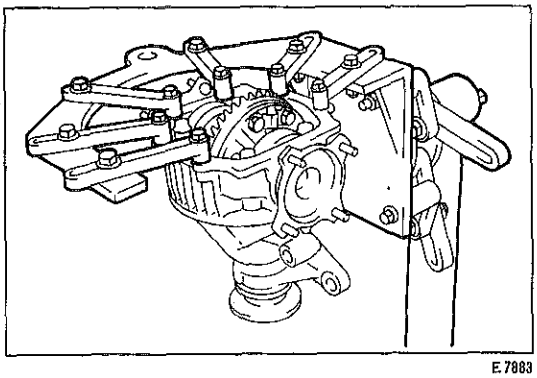
(1)　ボルト8本を取りはずす。


E7882

(2)　ブラスバーを使用して，軽くたたいてキャリヤカバーを取りはずす。

2　ディファレンシャルキャリヤASSY固定

(1)　ディファレンシャルキャリヤASSYをオーバーホールアタッチメントに固定する。


E7883

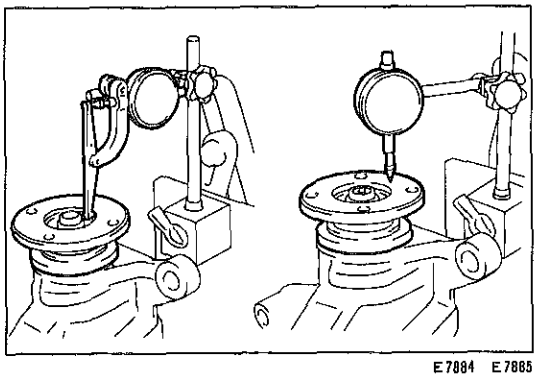
3　コンパニオンフランジの振れ点検

(1)　ダイヤルゲージをコンパニオンフランジの内周面に直角に当て，コンパニオンフランジの縦振れを測定する。

限　度　0.10mm

(2)　ダイヤルゲージをコンパニオンフランジ面に直角に，またボルト取り付け穴の外側に当て，コンパニオンフランジの横振れを測定する。

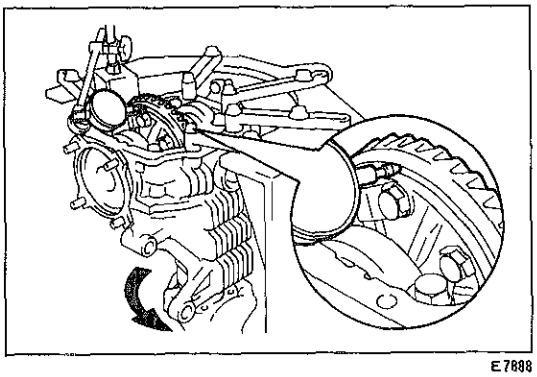
限　度　0.10mm


E7884　E7885

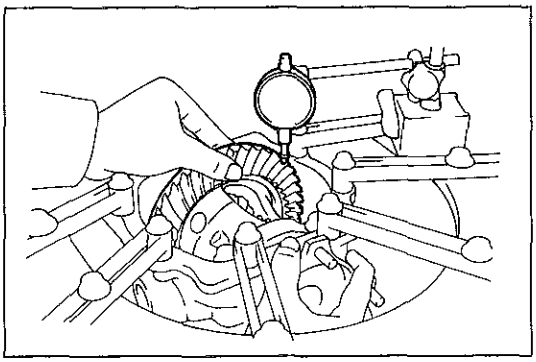
4　リングギヤ振れ点検

(1)　リングギヤの背面の振れをダイヤルゲージで点検する。

限　度　0.07mm


E7888

無断複製禁止


E7889

5　リングギヤのバックラッシュ点検

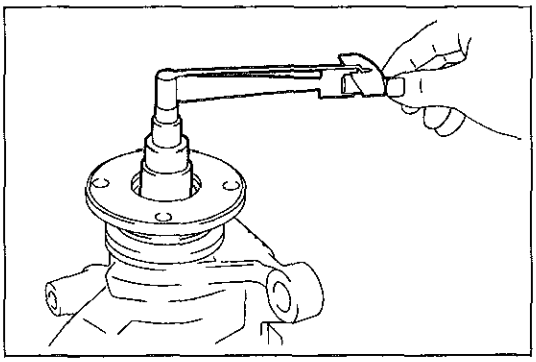
(1)　ダイヤルゲージをリングギヤの歯車先端に直角に当てコンパニオンフランジを固定し，リングギヤを動かして測定する。

基準値　0.13～0.18mm

注意　リングギヤ円周上の3箇所以上で測定する。

6　リングギヤとドライブピニオンの歯当たり点検

（P5-49参照）


E7891

7　ドライブピニオンプレロード測定

(1)　トルクレンチを使用して，ドライブピニオンとリングギヤのバックラッシュの範囲内で起動トルクを測定する。

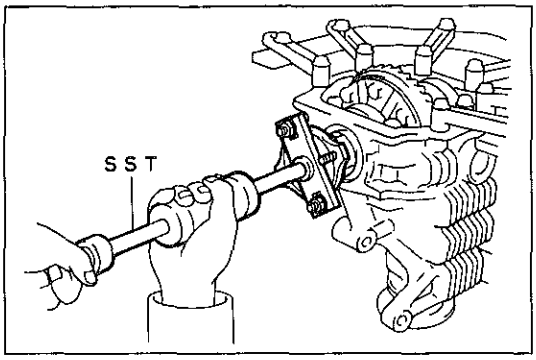
基準値　5～8 kg•cm

8　総合プレロード点検

(1)　トルクレンチを使用して，ドライブピニオンとリングギヤ歯面を当てた状態で起動トルクを測定する。

基準値　総合プレロード＝ドライブピニオンプレロード＋3～5 kg•cm

ディファレンシャルキャリヤASSY分解



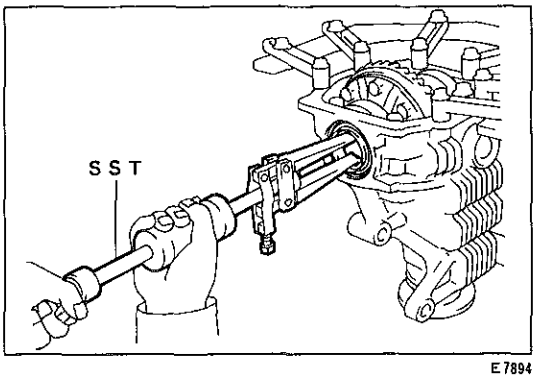
X1071

1　サイドギヤシャフト取りはずし

(1)　SSTを使用して，サイドギヤシャフト2本を取りはずす。

SST　09520-24010

(2)　⊖ドライバーでホールスナップリングを取りはずす。

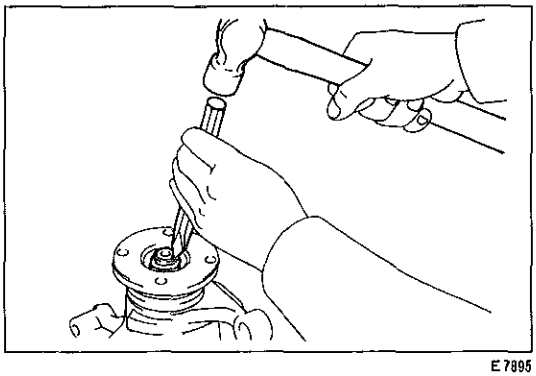


E7894

2　サイドギヤシャフトオイルシール取りはずし

(1)　SSTを使用して，オイルシール2個を取りはずす。

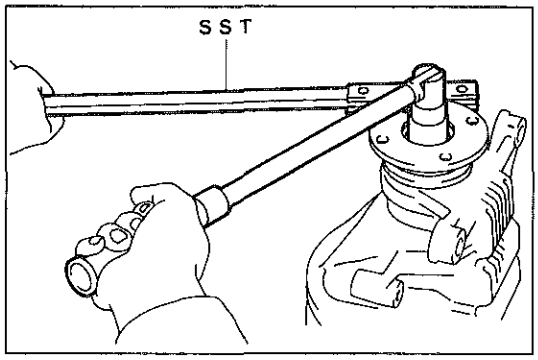
SST　09308-00010


E7895

3　コンパニオンフランジ取りはずし

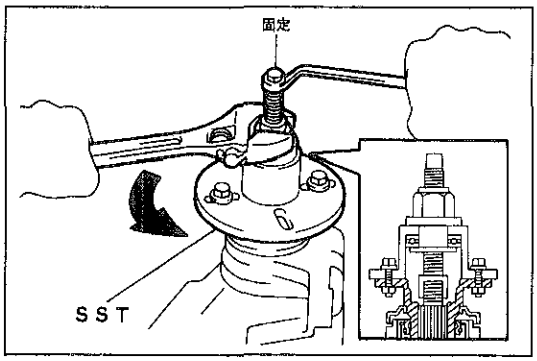
(1)　タガネを使用して，ナットのかしめを解く。

無断複製禁止



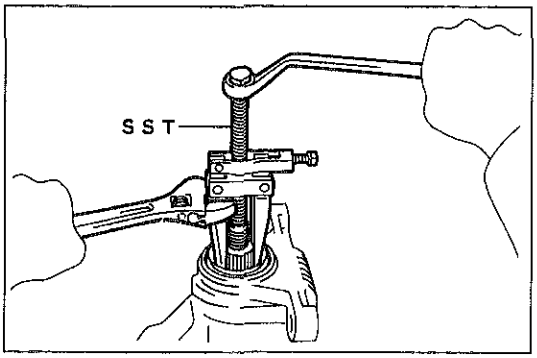
E7896

(2) SSTを使用してフランジを固定し，ナットおよびプレートワッシャーを取りはずす。
SST　09330-00021



E7897

(3) SSTを使用して，コンパニオンフランジを取りはずす。
SST　09557-22022

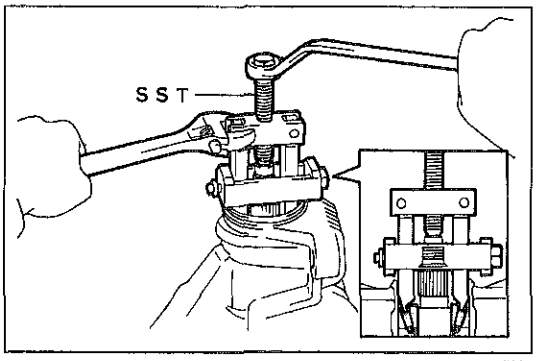


E7898

4　オイルシール取りはずし

(1) SSTを使用して，オイルシールをディファレンシャルキャリヤから取りはずす。
SST　09308-10010

5　ドライブピニオンオイルスリンガー取りはずし

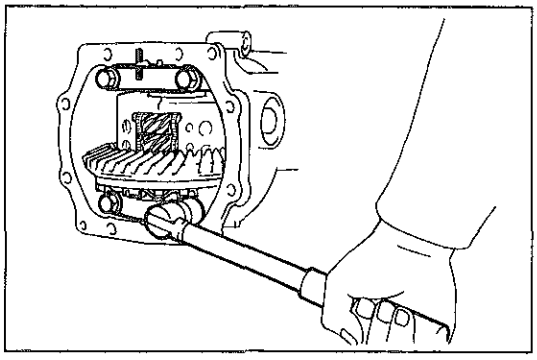


E7899

6　フロントベアリングおよびベアリングスペーサー取りはずし

(1) SSTを使用して，フロントベアリングをディファレンシャルキャリヤから取りはずす。
SST　09556-22010

(2) ベアリングスペーサーを取りはずす。


X1072

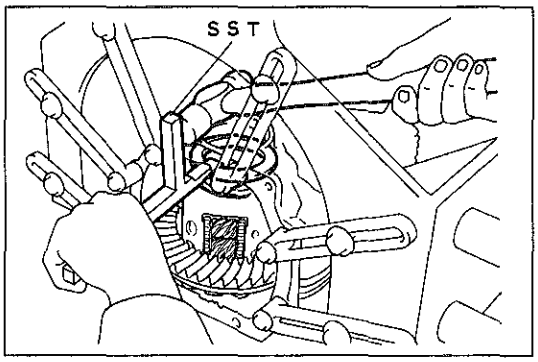
7　ディファレンシャルケースASSY取りはずし

(1) ベアリングキャップとディファレンシャルキャリヤに合わせマークを付ける。

(2) ボルト4本を取りはずし，ベアリングキャップ2個を取りはずす。

注意　ベアリングキャップとキャリヤは一体で加工されているため組み合わせを変えない。

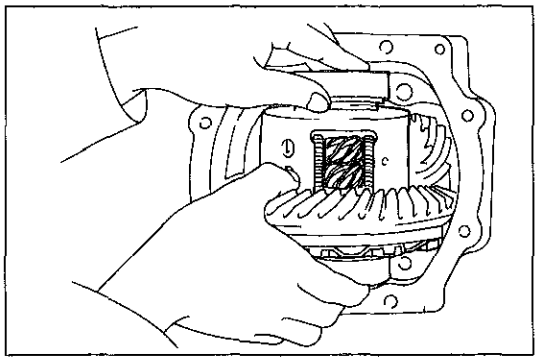
無断複製禁止



X1078

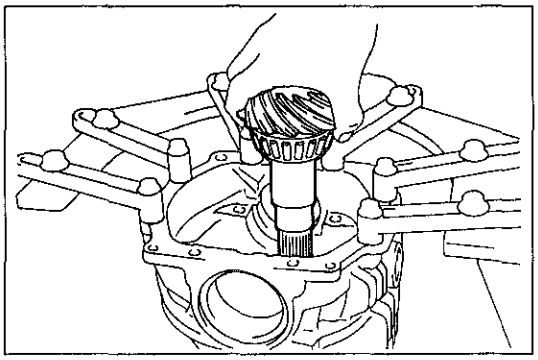
(3) SSTを使用して，プレートワッシャー（バックラッシュ調整用）を取りはずす。

SST　09504-22011


X1074

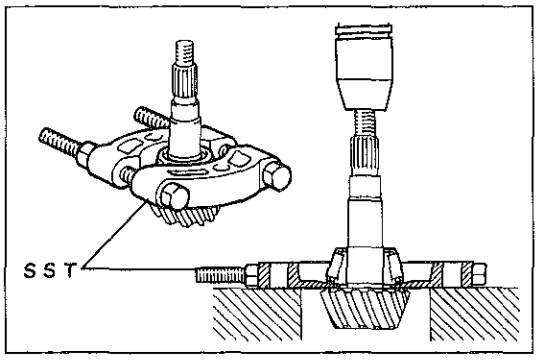
(4) ディファレンシャルケースをベアリングアウターレースとともに取りはずす。

注意　ベアリングアウターレースに左右（背面側，歯面側）の識別マークを付けるかまたは別々に整理する。


E7903

8　ドライブピニオン取りはずし

(1) ディファレンシャルキャリヤからドライブピニオンを取りはずす。



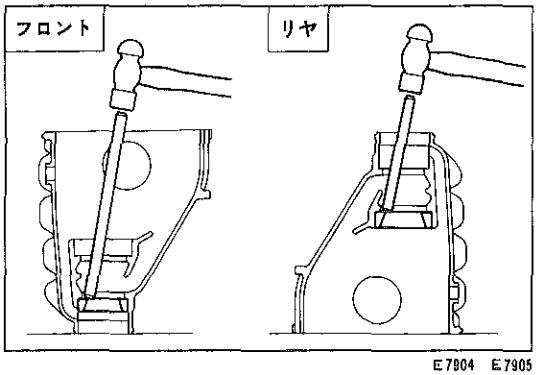
D9336

9　テーパードローラーベアリングインナー（リヤ用）

(1) SSTとプレスを使用して，ドライブピニオンからリヤベアリングを取りはずす。

SST　09950-00020

(2) プレートワッシャーを取りはずす。

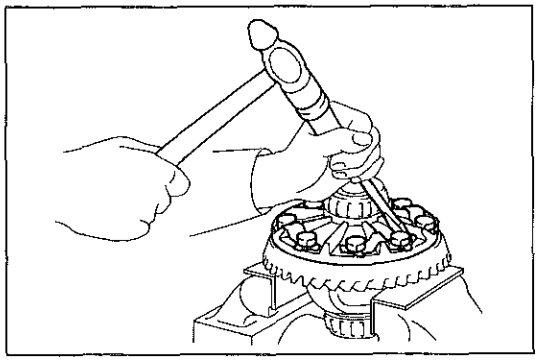


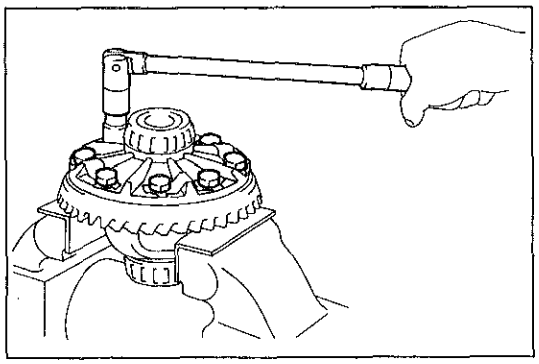
E7904　E7905

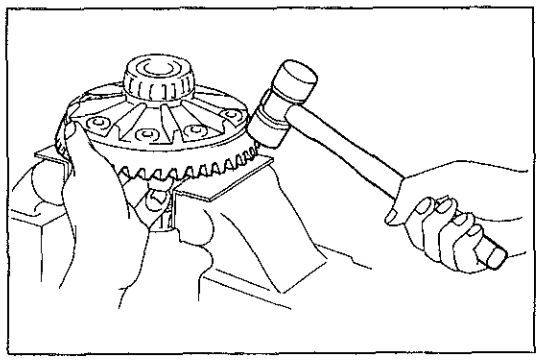
10　フロントおよびリヤベアリングアウターレース取りはずし

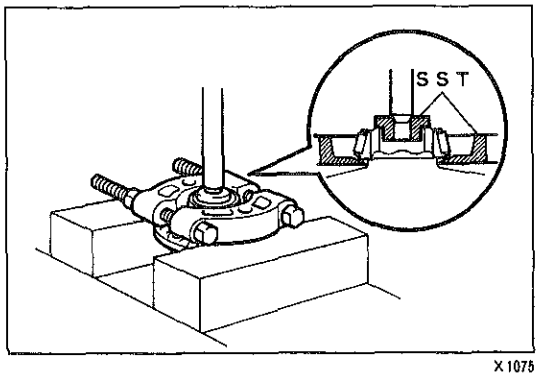
(1) ブラスバーを使用して，ベアリングアウターレースを軽く均等にたたきながら打ち抜く。

無断複製禁止


D9013


D9014


D9015



X1075

11　リングギヤ取りはずし

(1)　ディファレンシャルケースとリングギヤに合わせマークを付ける。

(2)　⊖ドライバーを使用して，ロックプレートのかしめを解く。

(3)　ボルト８本およびロックプレート４個を取りはずす。

(4)　プラスチックハンマーを使用して，リングギヤ外周を軽くたたいて取りはずす。

(5)　ディファレンシャルケースASSYの振れを点検する。(P5-43参照)

12　テーパードローラーベアリングインナー（サイドベアリング）取りはずし

(1)　ディファレンシャルケースの切り欠き部よりベアリングのインナーレースにSSTのツメをかける。

(2)　SSTを使用して，ディファレンシャルケースからテーパードローラーベアリング２個を取りはずす。

ＳＳＴ　　09950-20017　　09958-30020

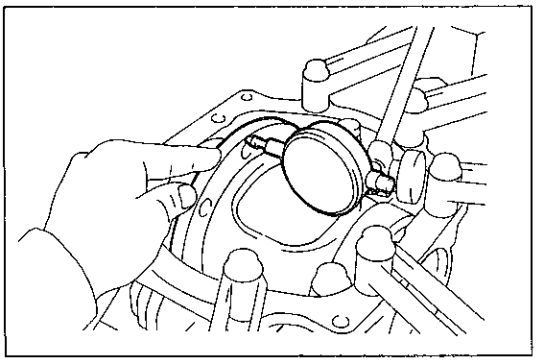
〈参考〉　・ベアリング脱着は，リングギヤを取り付けた状態でできる。
・サイドベアリング交換時以外は取りはずさない。

ディファレンシャル構成部品の点検および交換

1　サイドギヤおよびピニオンギヤの摩耗点検

2　ディファレンシャルケースの亀裂，損傷の有無点検

無断複製禁止

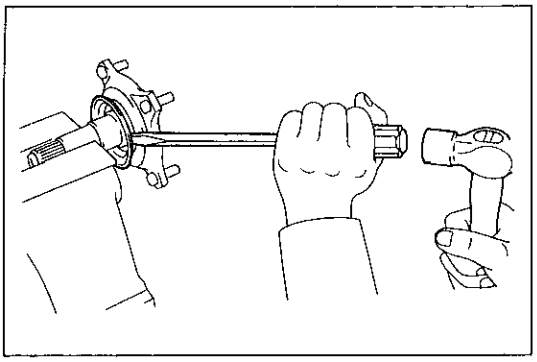

E7908

3　ディファレンシャルケースの振れ点検

(1)　ディファレンシャルケースをディファレンシャルキャリヤに組み付け，ベアリングキャップを組み付ける。(P5-48参照)

(2)　ディファレンシャルケースの振れを点検する。

限　度　0.07mm

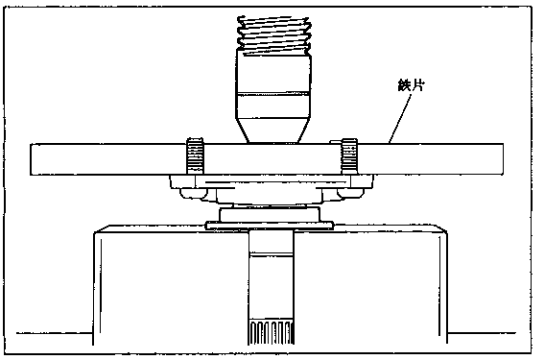

E7909

(3)　ディファレンシャルケースを取りはずす。(P5-40参照)

(4)　サイドベアリングを取りはずす。(P5-42参照)

4　サイドギヤシャフトダストカバー交換

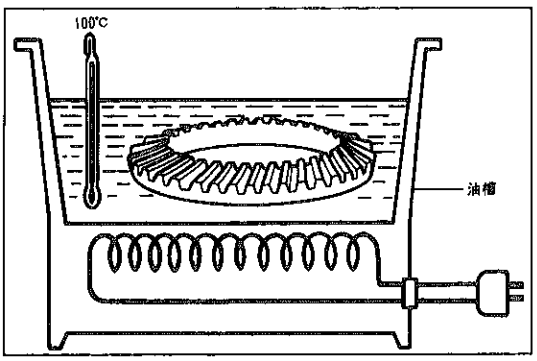
(1)　⊖ドライバーを使用して，ダストカバーを取りはずす。



E7948

(2)　プレスを使用して，新品のダストカバーをサイドギヤシャフトに当たるまで圧入する。

注意　**圧入時は，ダストカバーを確認しながら，少しずつゆっくりと行い，圧入しすぎない。**



K8214

ディファレンシャルキャリヤASSY組み付け

〈参考〉　ディファレンシャルケース内は非分解のため，リングギヤ組み付けからはじまる。

1　リングギヤ組み付け

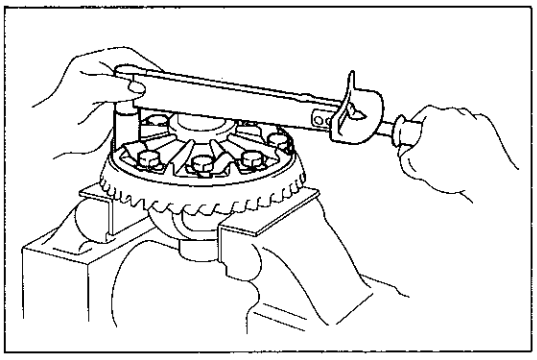
(1)　リングギヤをオイルなどで90～110℃に加熱する。

注意　**リングギヤは110℃以上に加熱させない。**

(2)　リングギヤとディファレンシャルケースの合わせ面の油脂を十分清掃する。

(3)　ディファレンシャルケースとリングギヤの合わせマークを合わせて，リングギヤを素早く組み付ける。

注意　**ディファレンシャルケースのボルト穴とリングギヤのねじ穴を合わせる。**

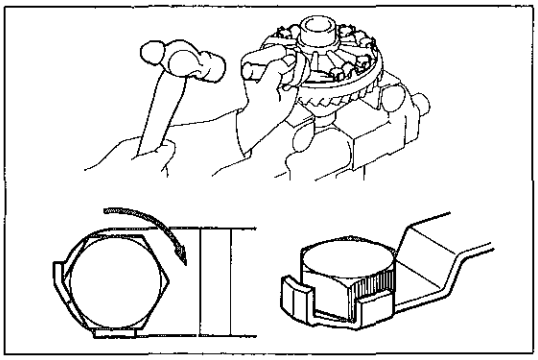

D9022

(4)　新品のロックプレート4個を介して，セットボルト8本を規定トルクで締め付ける。

T＝985kg・cm

注意　**ボルトは，対角線に相対する順に行い，数回に分けて締め付ける。**

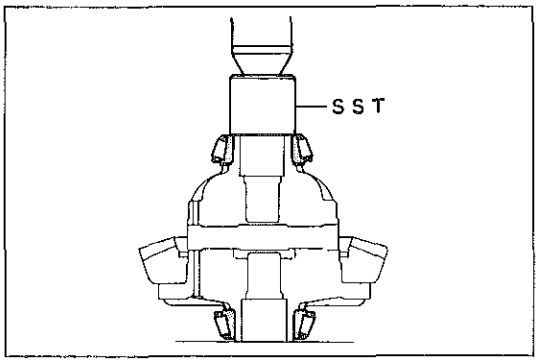
無断複製禁止



D9023　K8215

(5) タガネを使用して，ロックプレートのツメを起こし回り止めをする。

注意　ボルトの2面幅に接触するツメは，2面幅部と密着するまで折り曲げること。またボルトの山部と接触してツメ幅が2分割になる場合は，ボルトの締め側を密着させる。

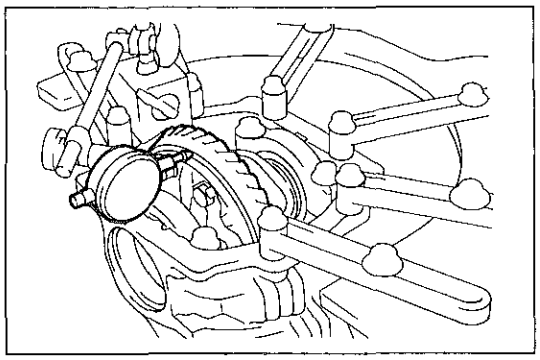


X1076

2　テーパードローラーベアリングインナー（サイドベアリング）組み付け

(1) SSTとプレスを使用して，ディファレンシャルケースにテーパードローラーベアリング2個を圧入する。

SST　09710-01030



E7913

3　リングギヤ振れ点検

(1) ディファレンシャルケースをキャリヤに取り付け，ベアリングにガタがない程度にプレートワッシャーを取り付ける。（P5-46参照）

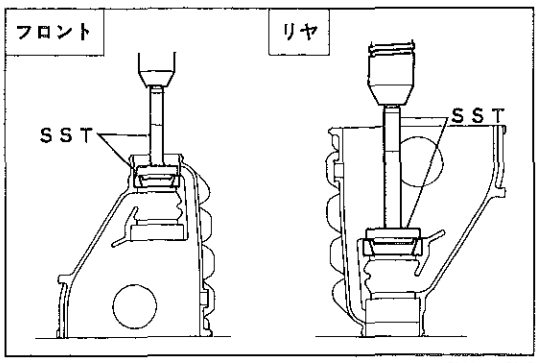
注意　左右のベアリングアウターレースを間違えないように組み付ける。

(2) ベアリングキャップを組み付ける。（P5-48参照）

(3) リングギヤの背面と振れを点検する。

限　度　0.07mm

(4) ディファレンシャルケースを取りはずす。（P5-40参照）

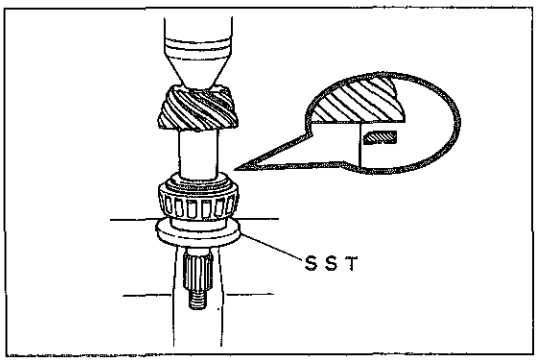


E7914　E7915

4　フロントおよびリヤベアリングアウターレース組み付け

(1) SSTとプレスを使用して，ベアリングアウターレースを圧入する。

SST	フロント	09608-04020	09608-00060
	リヤ	09608-04020	09608-04100



K8213

5　テーパードローラーベアリングインナー（リヤ用）組み付け

(1) ドライブピニオンにプレートワッシャーを組み付ける。

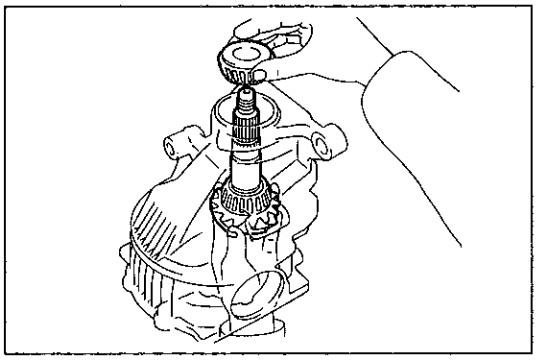
注意　ワッシャーは内径に面取りしてある方をギヤ側に向ける。

〈参考〉　ワッシャーは取りはずし前と同じ厚さのものを組み付けておく。

(2) SSTとプレスを使用して，ドライブピニオンにテーパードローラーベアリングインナーを圧入する。

SST　09506-30012

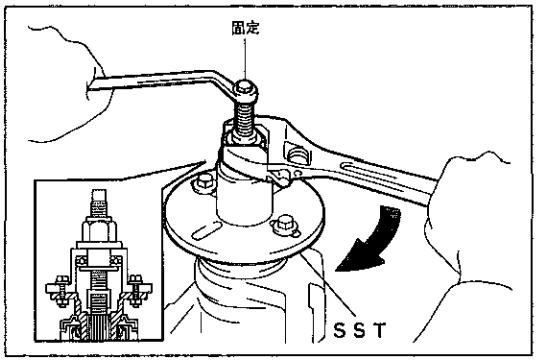
無断複製禁止


E7916

6　ドライブピニオンプレロード仮調整

(1) ディファレンシャルキャリヤにドライブピニオン，テーパードローラーベアリングインナー（フロント用）およびドライブピニオンオイルスリンガーを組み付ける。

注意　リングギヤの歯当たり点検のため，スペーサーおよびオイルシールは組み付けず，歯当たり点検，調整後に組み付ける。

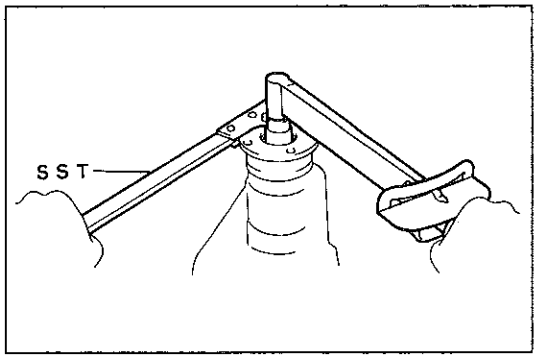


E7917

(2) SSTを使用して，コンパニオンフランジを取り付ける。

SST　09557-22022

注意　スペーサーを組み付けていないので，コンパニオンフランジはドライブピニオンのガタが少し残る程度まで締め付ける。

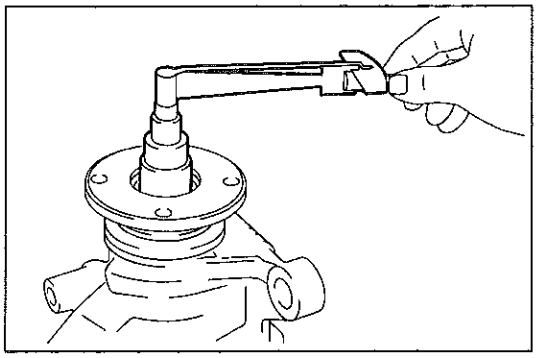


D9852

(3) SSTを使用して，プレートワッシャーを介して新品のナットを規定のプレロードになるように少しずつ締め付ける。

SST　09330-00021

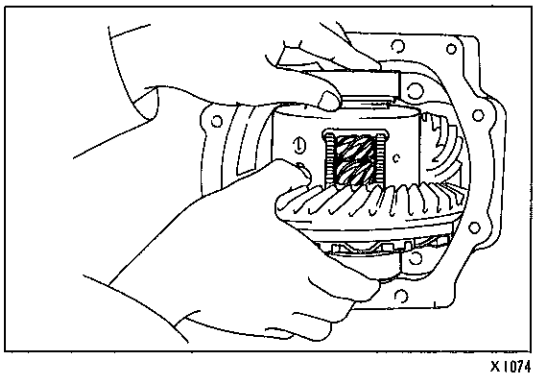
注意　・ナットとドライブピニオンのねじ部にギヤオイルを塗布する。
・スペーサーが入っていないので，ナットは少しずつ締め付け，絶対に締めすぎない。


E7891

(4) ドライブピニオンの起動トルクを測定する。

基準値　ベアリング新品　10～16kg・cm
ベアリング再使用品　5～8kg・cm

注意　・ベアリングをなじませるため，正転，逆転を数回行った後に測定する。
・総合プレロード測定のため，プレロードを記録しておく。

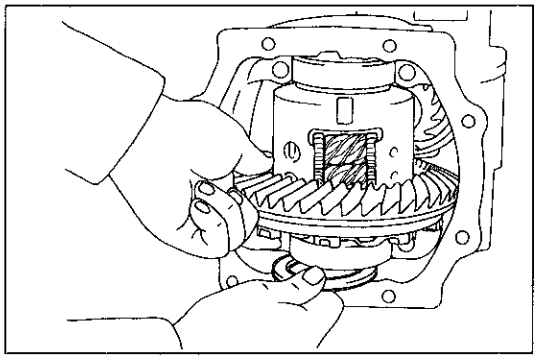

X1074

7　ディファレンシャルケース組み付け

(1) テーパードローラーベアリングインナーに左右のベアリングアウターレースを間違わないように組み付ける。

(2) ディファレンシャルケースをキャリヤに組み付ける。

無断複製禁止


X1077

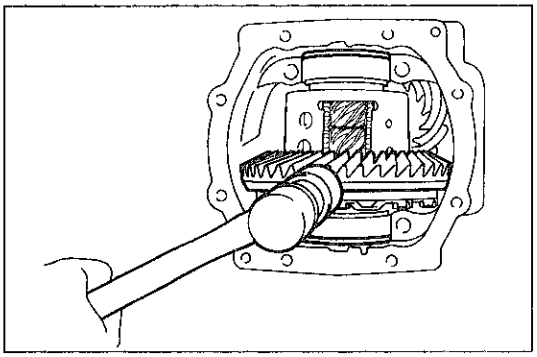
8　リングギヤバックラッシュ調整

(1)　リングギヤ背面側にリングギヤのバックラッシュがほぼ基準値内に入るようなプレートワッシャーを選択して取り付ける。

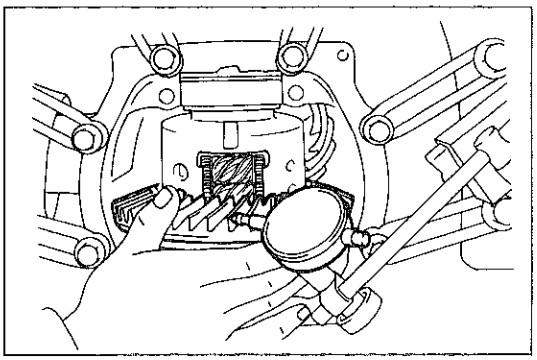
〈参考〉　•サイドベアリングが新品の場合は，プレートワッシャーを厚さの薄いものから選択して取り付ける。サイドベアリングが再使用の場合は，プレートワッシャーを分解前と同じ厚さのものから取り付ける。

•プレートワッシャーの種類

品　番	厚　さ (mm)	品　番	厚　さ (mm)	品　番	厚　さ (mm)	品　番	厚　さ (mm)
90201-54001	2.21～2.23	90201-54009	2.45～2.47	90201-54017	2.69～2.71	90201-54026	2.96～2.98
90201-54002	2.24～2.26	90201-54010	2.48～2.50	90201-54018	2.72～2.74	90201-54027	2.99～3.01
90201-54003	2.27～2.29	90201-54011	2.51～2.53	90201-54019	2.75～2.77	90201-54028	3.02～3.04
90201-54004	2.30～2.32	90201-54012	2.54～2.56	90201-54020	2.78～2.80	90201-54029	3.05～3.07
90201-54005	2.33～2.35	90201-54013	2.57～2.59	90201-54021	2.81～2.83	90201-54030	3.08～3.10
90201-54006	2.36～2.38	90201-54014	2.60～2.62	90201-54022	2.84～2.86	90201-54031	3.11～3.13
90201-54007	2.39～2.41	90201-54015	2.63～2.65	90201-54023	2.87～2.89	90201-54032	3.14～3.16
90201-54008	2.42～2.44	90201-54016	2.66～2.68	90201-54024	2.90～2.92	90201-54033	3.17～3.19
				90201-54025	2.93～2.95	90201-54034	3.20～3.22


X1078

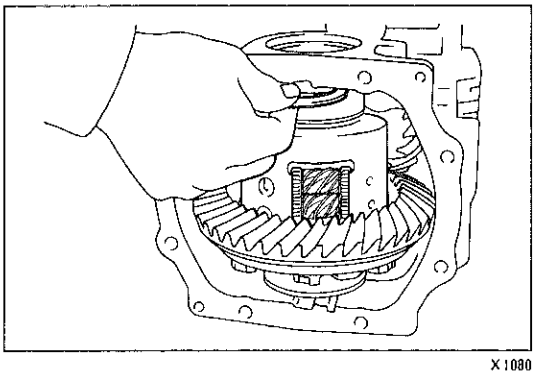
(2)　プラスチックハンマーを使用して，リングギヤを軽くたたき，ベアリングとワッシャーを十分落ち着かせる。


X1079

(3)　ダイヤルゲージをリングギヤの歯面先端に直角に当て，コンパニオンフランジを固定し，リングギヤを動かしバックラッシュを点検する。

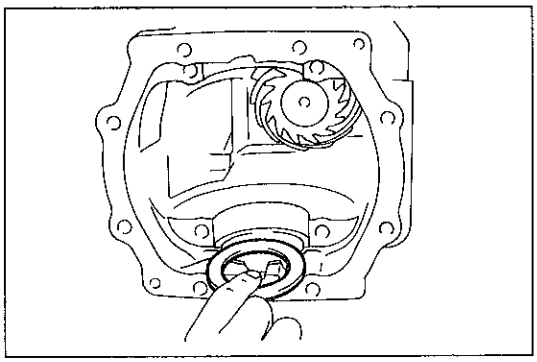
参考値　0.13mm

(4)　リングギヤのバックラッシュが参考値付近になるようなプレートワッシャーを表より選択して，リングギヤ背面側に取り付ける。

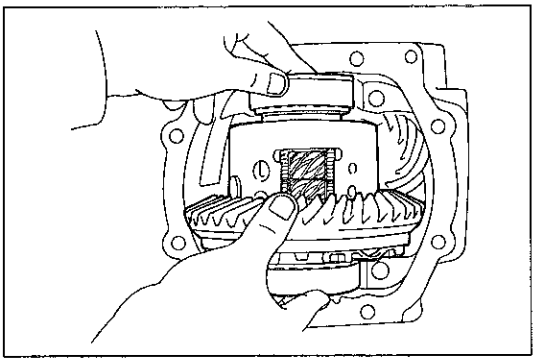

X1080

(5)　リングギヤ歯面側のサイドベアリングアウターレース端面とキャリヤのすき間が0か，または0に近いプレートワッシャーを指で十分奥まで挿入し，そのうち一番厚いものを選択する。

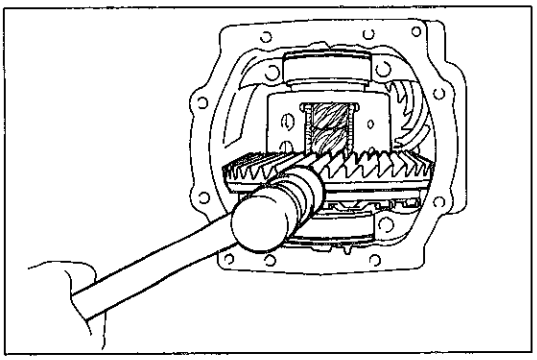
無断複製禁止


E7923

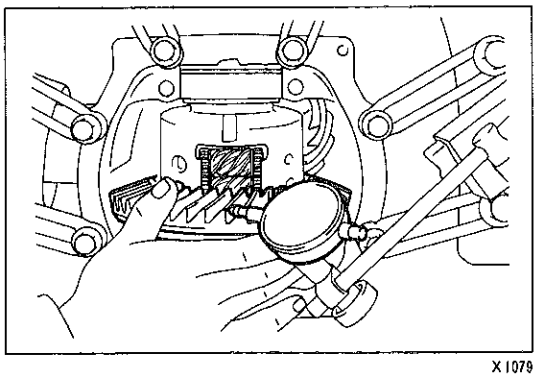
(6) ディファレンシャルケースとプレートワッシャーを取りはずす。
(7) リングギヤ背面側のプレートワッシャーをキャリヤに据え付ける。


X1081

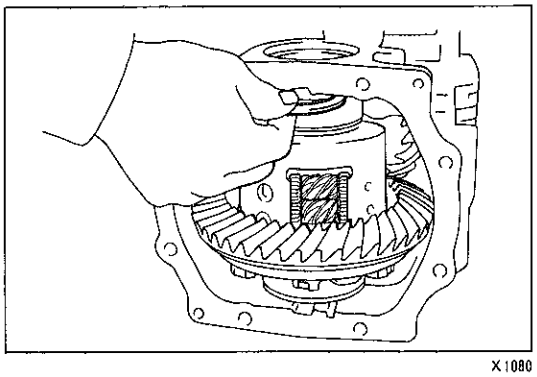
(8) リングギヤ歯面側のプレートワッシャーをディファレンシャルケースのサイドベアリングアウターレースに据え付けて，ディファレンシャルケースをキャリヤに取り付ける。


X1078

(9) プラスチックハンマーを使用して，リングギヤを軽くたたき，ベアリングを十分落ち着かせる。


X1079

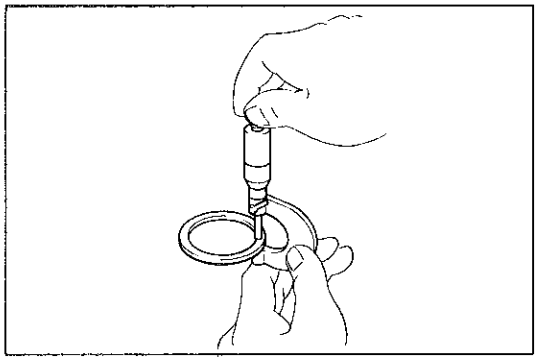
(10) ダイヤルゲージをリングギヤの歯面先端に直角に当て，コンパニオンフランジを固定し，リングギヤを動かしバックラッシュを点検する。
基準値　0.13〜0.18mm
(11) 基準値外の場合は，左右プレートワッシャーの厚さを同量ずつ増減させて基準値内にする。


X1080

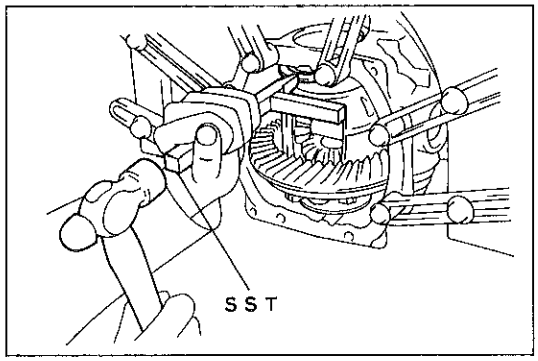
9　サイドベアリングプレロード調整

(1) リングギヤのバックラッシュ調整後，リングギヤ歯面側のプレートワッシャーを取りはずす。

無断複製禁止


D9360

(2) マイクロメーターを使用して，プレートワッシャーの厚さを測定する。



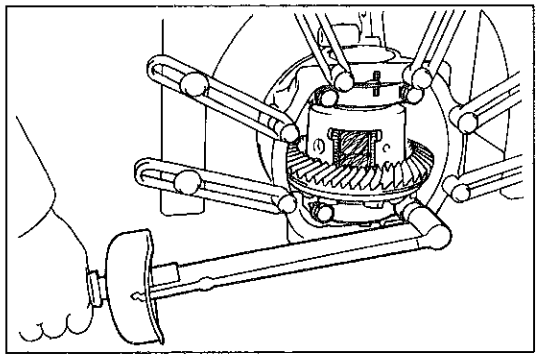
E7927

(3) 取りはずしたプレートワッシャーより0.06～0.09㎜厚いワッシャーを取り付ける。(P5-46参照)

注意　**指で2/3程度まで挿入できるワッシャーを取り付ける。**

(4) SSTを使用して，プレートワッシャーを打ち込む。

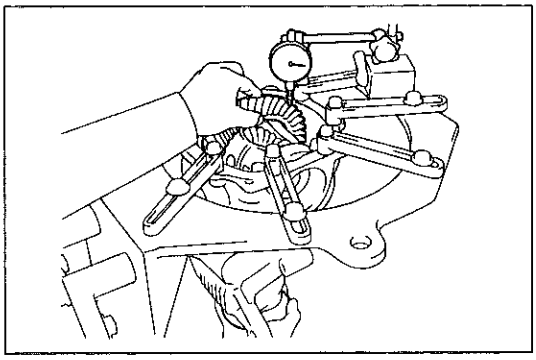
SST　09504-22011


X1082

(5) ベアリングキャップとディファレンシャルキャリヤの合わせマークを合わせて，ベアリングキャップを組み付ける。

(6) ベアリングキャップボルト4本を規定トルクで締め付ける。

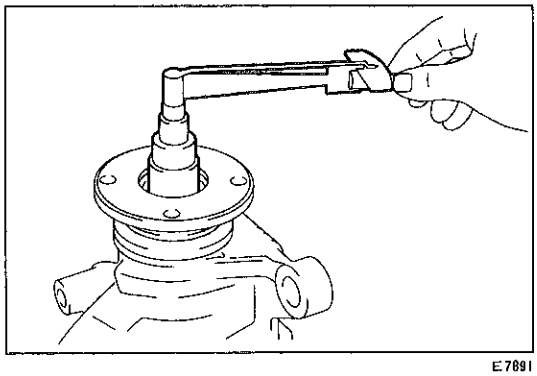
T＝800kg・cm


E7929

(7) ダイヤルゲージをリングギヤの歯面先端に直角に当て，コンパニオンフランジを固定し，リングギヤを動かしバックラッシュを点検する。

基準値　0.13～0.18㎜

(8) 基準値外の場合は，左右プレートワッシャーの厚さを同量ずつ増減させて基準値内にする。(P5-46参照)


E7691

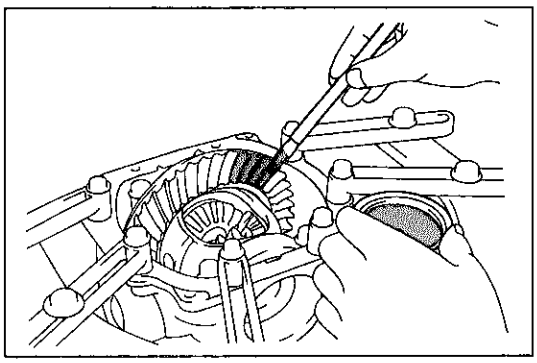
10 総合プレロード測定

(1) トルクレンチを使用して，総合プレロードを測定する。ドライブピニオンとリングギヤの歯面を当てた状態で起動トルクを測定する。

基準値　**総合プレロード＝ドライブピニオンプレロード＋3～5kg・cm**

(2) 基準値外の場合は，リングギヤ歯面側のプレートワッシャーで調整する。(P5-46参照)

無断複製禁止

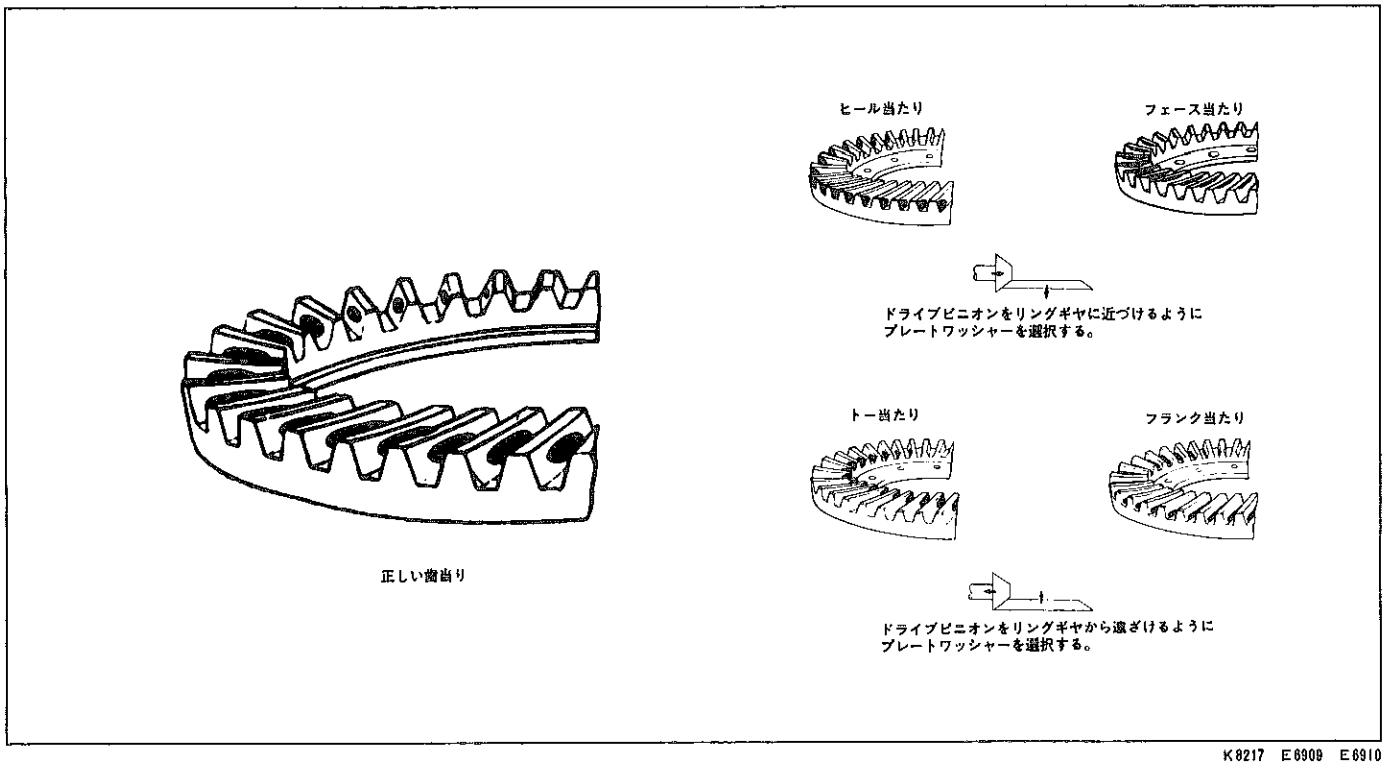


E7930

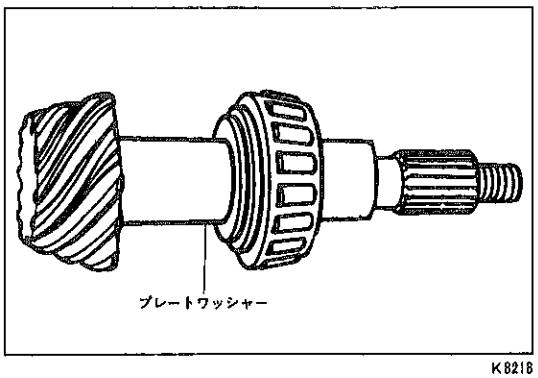
11　リングギヤとドライブピニオンの歯当たり点検

(1)　リングギヤの歯面両側に光明丹を均一に薄く塗布し，リングギヤを数回，回転させる。光明丹が示すパターンが歯当たり位置である。

注意　リングギヤ円周上4箇所で当たり状態をみる。



K8217　E6909　E6910



K8218

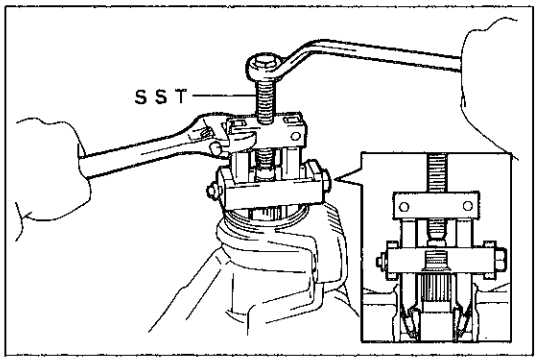
(2)　歯当たりが不良の場合は，ドライブピニオン突き出し量調整用プレートワッシャーを表より選択し再組み付けする。

注意　フェース当たり，フランク当たりの場合はバックラッシュ基準値内で調整可能な場合もある。

〈参考〉　プレートワッシャーの種類

品　番	厚　さ (mm)	品　番	厚　さ (mm)
90201-35396	2.35～2.37	90201-35402	2.53～2.55
90201-35397	2.38～2.40	90201-35403	2.56～2.58
90201-35398	2.41～2.43	90201-35404	2.59～2.61
90201-35399	2.44～2.46	90201-35438	2.62～2.64
90201-35400	2.47～2.49	90201-35439	2.65～2.67
90201-35401	2.50～2.52	90201-35440	2.68～2.70

無断複製禁止



E7899

12　ナット，プレートワッシャーおよびコンパニオンフランジ取りはずし

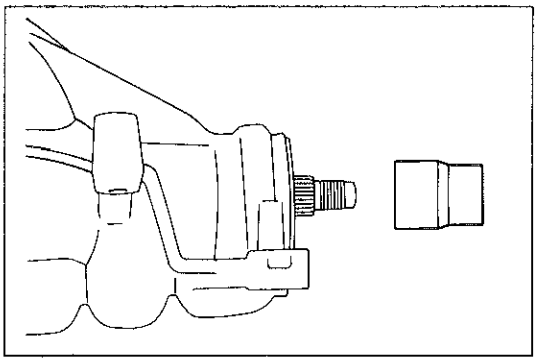
（P5-39参照）

13　ドライブピニオンオイルスリンガー取りはずし

14　テーパードローラーベアリングインナー（フロント用）取りはずし

(1)　SSTを使用して，テーパードローラーベアリングインナーを取りはずす。

SST　09556-22010

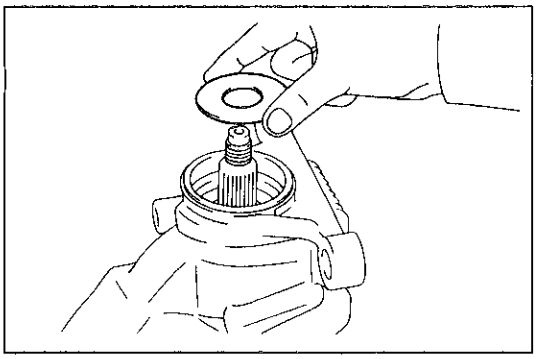

E7947

15　ドライブピニオンベアリングスペーサー組み付け

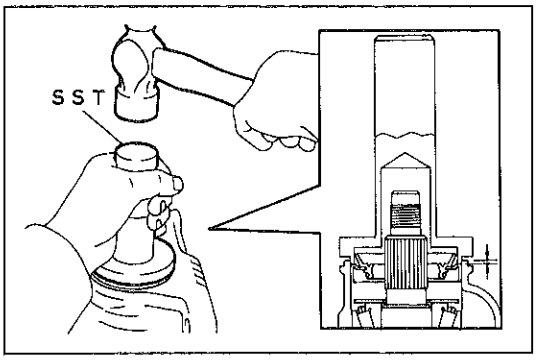
(1)　ドライブピニオンに新品のベアリングスペーサーを組み付ける。

注意　内径の大きい方をリヤ側へ向ける。

16　テーパードローラーベアリングインナー（フロント用）組み付け


E7931

17　ドライブピニオンオイルスリンガー組み付け



E7932

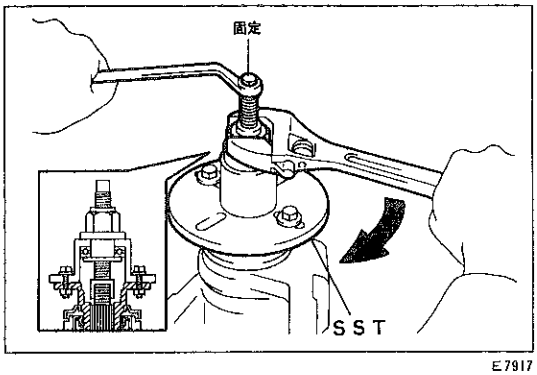
18　オイルシール組み付け

(1)　新品のオイルシールのリップ部にキヤッスル・MPグリースNo.2を塗布する。

(2)　SSTを使用して，オイルシールを打ち込む。

SST　09554-22010

基準値　オイルシール打ち込み量（キャリヤ端面より）2.0mm



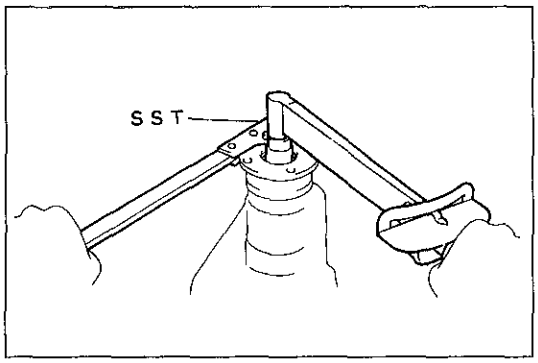
E7917

19　コンパニオンフランジ組み付け

(1)　SSTを使用して，コンパニオンフランジを取り付ける。

SST　09557-22022

無断複製禁止



D9352

(2) プレートワッシャーを組み付ける。

(3) 新品のナットのねじ部にギヤオイルを塗布し，SSTを使用してフランジを固定し，規定トルクで締め付ける。

SST　09330-00021

T＝1100kg･cm

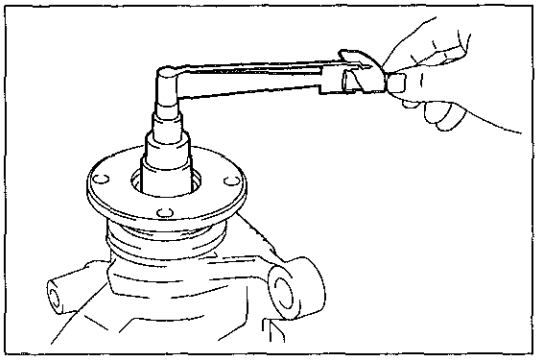
20 ドライブピニオンプレロード調整

(1) トルクレンチを使用して，ドライブピニオンとリングギヤのバックラッシュの範囲内で起動トルクを測定する。

基準値　ベアリング新品　10～16kg･cm

ベアリング再使用品　5～8kg･cm

注意　ベアリングをなじませるためフランジの正転，逆転を数回行った後に測定する。


E7891

(2) プレロードが過大の場合は，ベアリングスペーサーを交換する。

(3) プレロードが不足の場合は，ナットを5～10°ずつ増し締めしプレロードを測定し，基準値になるように繰り返し調整する。

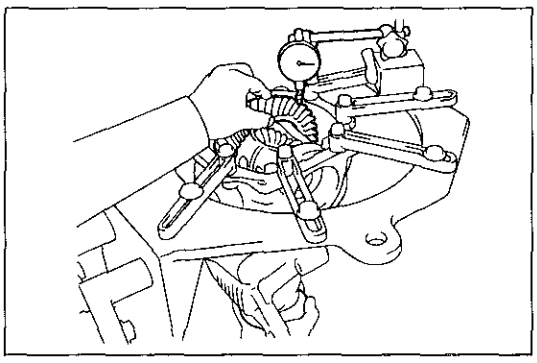
(4) ナットの締め付けトルクが2400kg･cmを超えても不足の場合はナットを一度ゆるめて，ナットおよびドライブピニオンのねじ山がつぶれていないか点検する。

異常がないならば，スペーサーを交換し，ねじ部にギヤオイルを塗布したのち前記作業を繰り返す。

21 総合プレロード点検

(1) トルクレンチを使用して，ドライブピニオンとリングギヤ歯面を当てた状態で起動トルクを測定する。

基準値　総合プレロード＝ドライブピニオンプレロード＋3～5kg･cm


E7929

22 ドライブピニオンとリングギヤのバックラッシュ点検

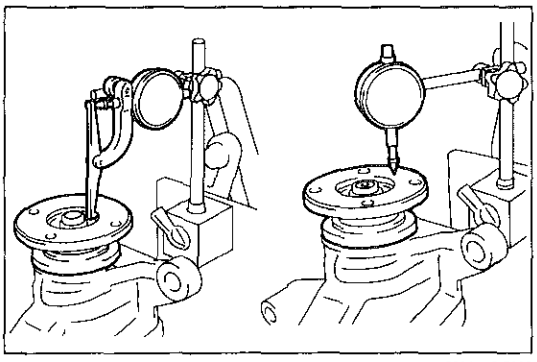
(1) ダイヤルゲージをリングギヤの歯面先端に直角に当て，ドライブピニオンのコンパニオンフランジを固定し，リングギヤを動かして測定する。

基準値　0.13～0.18mm

注意　リングギヤ円周上の3箇所以上で測定する。

23 リングギヤとドライブピニオンの歯当たり点検

（P5-49参照）


E7884　E7885

24 コンパニオンフランジの振れ点検

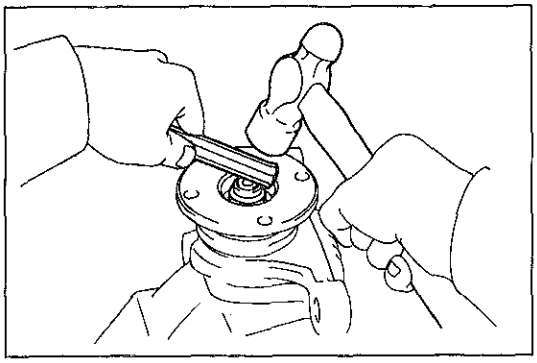
(1) ダイヤルゲージをコンパニオンフランジの内周面に直角に当て，コンパニオンフランジの縦振れを測定する。

限　度　0.10mm

(2) ダイヤルゲージをコンパニオンフランジ面に直角に，またボルト取り付け穴の外側に当て，コンパニオンフランジの横振れを測定する。

限　度　0.10mm

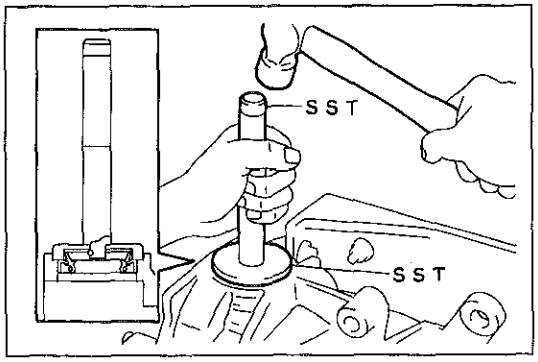
無断複製禁止



E7933

25 ドライブピニオンナットかしめ

(1) タガネを使用して，ナットをかしめる。



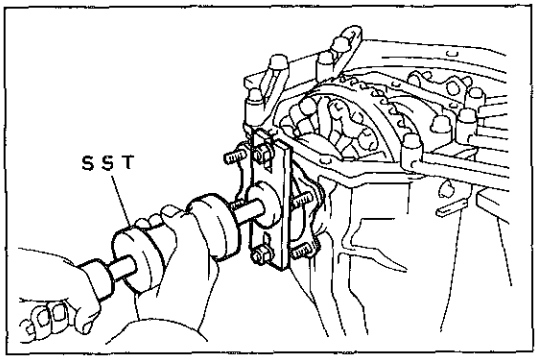
E7963

26 サイドギヤシャフトオイルシール組み付け

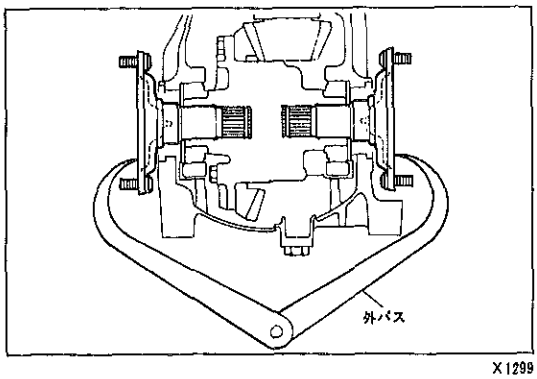
(1) SSTを使用して，新品のオイルシール2個をディファレンシャルキャリヤ端面と面一になるまで打ち込む。

SST 09550-00020 09550-00031

(2) オイルシールリップ部にキヤッスル・MPグリースNo.2を塗布する。



K6501



X1299

27 サイドギヤシャフト組み付け

(1) 新品のスナップリングをサイドギヤシャフトに組み付ける。

(2) スナップリングにキヤッスル・MPグリースNo.2を塗布する。

(3) SSTを使用して，サイドギヤシャフトをディファレンシャルに打ち込む。

SST 09520-24010

注意
- **スナップリングの切り口を下向きにして組み付ける。**
- **挿入時，斜めに打ち込まない。斜めに打ち込んだ場合は，スナップリングを新品に取り替え，再度打ち込む。**
- **オイルシールを傷つけない。**

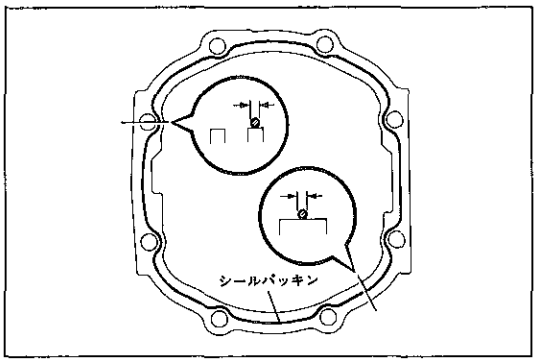
〈参考〉
- 打ち込み時，SSTのスライディングハンマーの反発力の変化あるいは音質の変化でピニオンシャフトに当たっていることを判断できるので目安にする。
- サイドギヤシャフトをディファレンシャルピニオンシャフトに当てた状態にし，サイドギヤシャフトフランジ面を外パスなどで測定する。

参考値 242.67mm以下

28 ディファレンシャルキャリヤASSY取りはずし

(1) ディファレンシャルキャリヤASSYをオーバーホールアタッチメントから取りはずす。

無断複製禁止



E7934

29　ディファレンシャルキャリヤカバー組み付け

(1) ディファレンシャルキャリヤおよびキャリヤカバーに付着しているシールパッキンを，スクレーパーおよびワイヤブラシを使用して清掃した後，洗浄液などで油分を落とす。

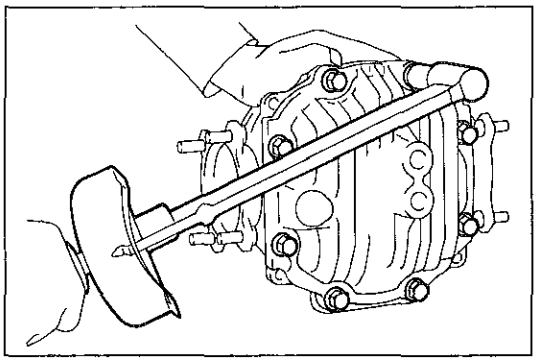
注意　取り付け面を傷つけない。

(2) 図に示す位置にシールパッキン1281を塗布し，ディファレンシャルキャリヤに取り付ける。

注意　• シールパッキンの塗布はφ1～φ2mmで塗布切れしない。
• シールパッキン塗布後，3分以内に組み付ける。

(3) ボルト8本でディファレンシャルキャリヤカバーを組み付ける。

T＝475kg•cm

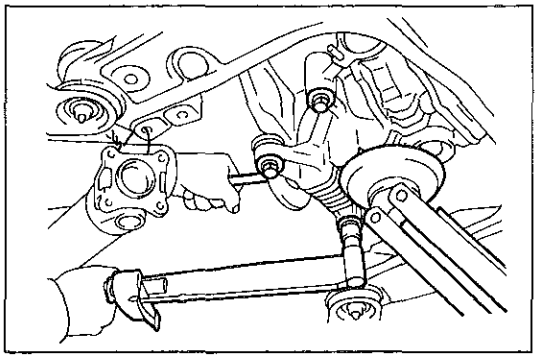

E7935

ディファレンシャルキャリヤASSY取り付け

1　ディファレンシャルキャリヤASSY取り付け

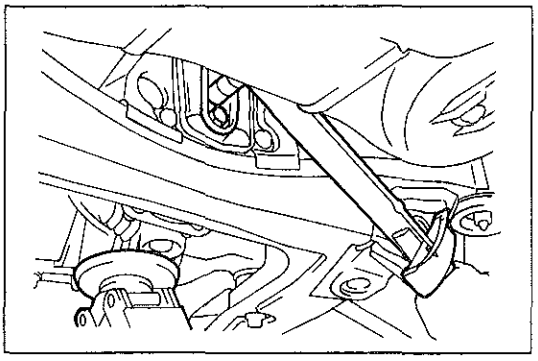
(1) ジャッキを使用して，ディファレンシャルキャリヤを支持し，ボルト4本およびナット4個で取り付ける。

T＝970kg•cm


E7936

(2) ボルト2本を締め付ける。

T＝1500kg•cm

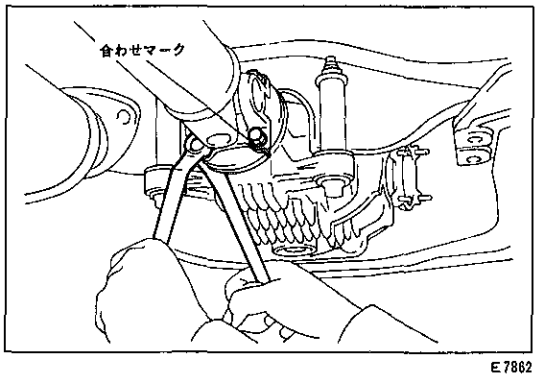

E7937

2　プロペラシャフト取り付け

(1) ディファレンシャルのコンパニオンフランジの合わせマークに合わせてプロペラシャフトを取り付ける。

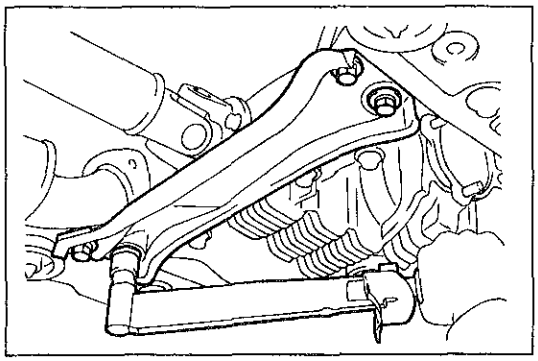
(2) ボルトにスプリングワッシャー4個を介して，ナット4個を取り付ける。

T＝750kg•cm

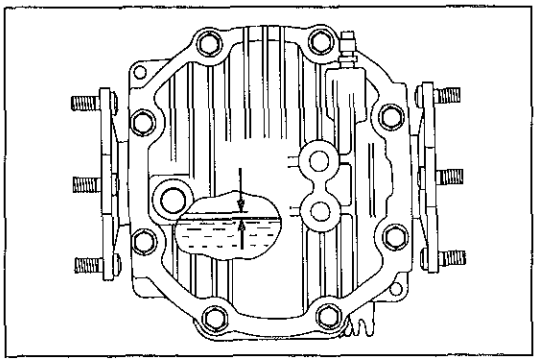


E7862

無断複製禁止



E7874



E7875

3　フレームリヤクロスメンバー取り付け

(1)　ボルト4本で，フレームリヤクロスメンバーを取り付ける。

T＝730kg・cm

4　ドライブシャフトASSY（RH，LH）取り付け

（P5-19参照）

5　オイル注入

(1)　新品のガスケットを介して，ドレーンプラグを取り付ける。

T＝500kg・cm

(2)　フィラープラグ穴からオイルを注入し，オイル量を点検する。

基準値　　フィラー穴下面＋0mm

－5mm

(3)　新品のガスケットを介して，フィラープラグを取り付ける。

T＝400kg・cm

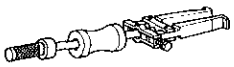
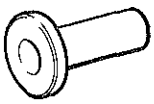
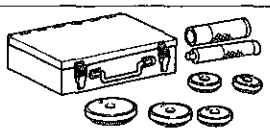
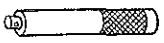
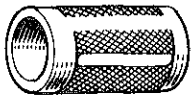
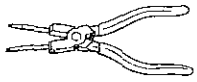
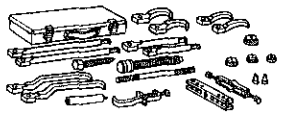
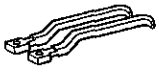
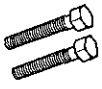
〈参考〉　使用オイルと油量

キヤッスル・ハイポイドギヤオイルSX

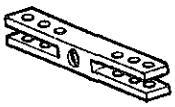
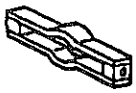
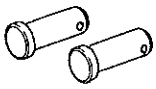
全油量　1.1ℓ

無断複製禁止

リヤサスペンション
準　備　品

SST		09308-00010	オイルシールプラー	オイルシールアウターおよびインナー取りはずし用
		09309-36010	トランスミッションリヤベアリングリプレーサー	ベアリング取り付け用
		09608-30012	フロントハブ　アンド　ドライブピニオンツール	
		09608-04020	ハンドル	オイルシールアウターおよびインナー取り付け用
		09608-04110	ドライブピニオンリヤベアリングリプレーサー	オイルシールインナー取り付け用
		09608-32010	ステアリングナックルオイルシールリプレーサー	オイルシールアウター取り付け用 ベアリング取り付け用
		09636-20010	アッパーボールジョイントダストカバーリプレーサー	ベアリング取りはずし用 アクスルシャフト取り付け用
		09905-00013	スナップリングプライヤー	ホールスナップリング脱着用
		09950-20017	ユニバーサルプラー	
		09952-20010	スクリュー	アクスルシャフト取りはずし用 ベアリングインナーレース（アウター側）取りはずし用
		09953-20010	Bクロウ	ベアリングインナーレース（アウター側）取りはずし用
		09953-20021	Cクロウ	アクスルシャフト取りはずし用
		09954-20011	アジャストスクリュー	アクスルシャフト取りはずし用 ベアリングインナーレース（アウター側）取りはずし用

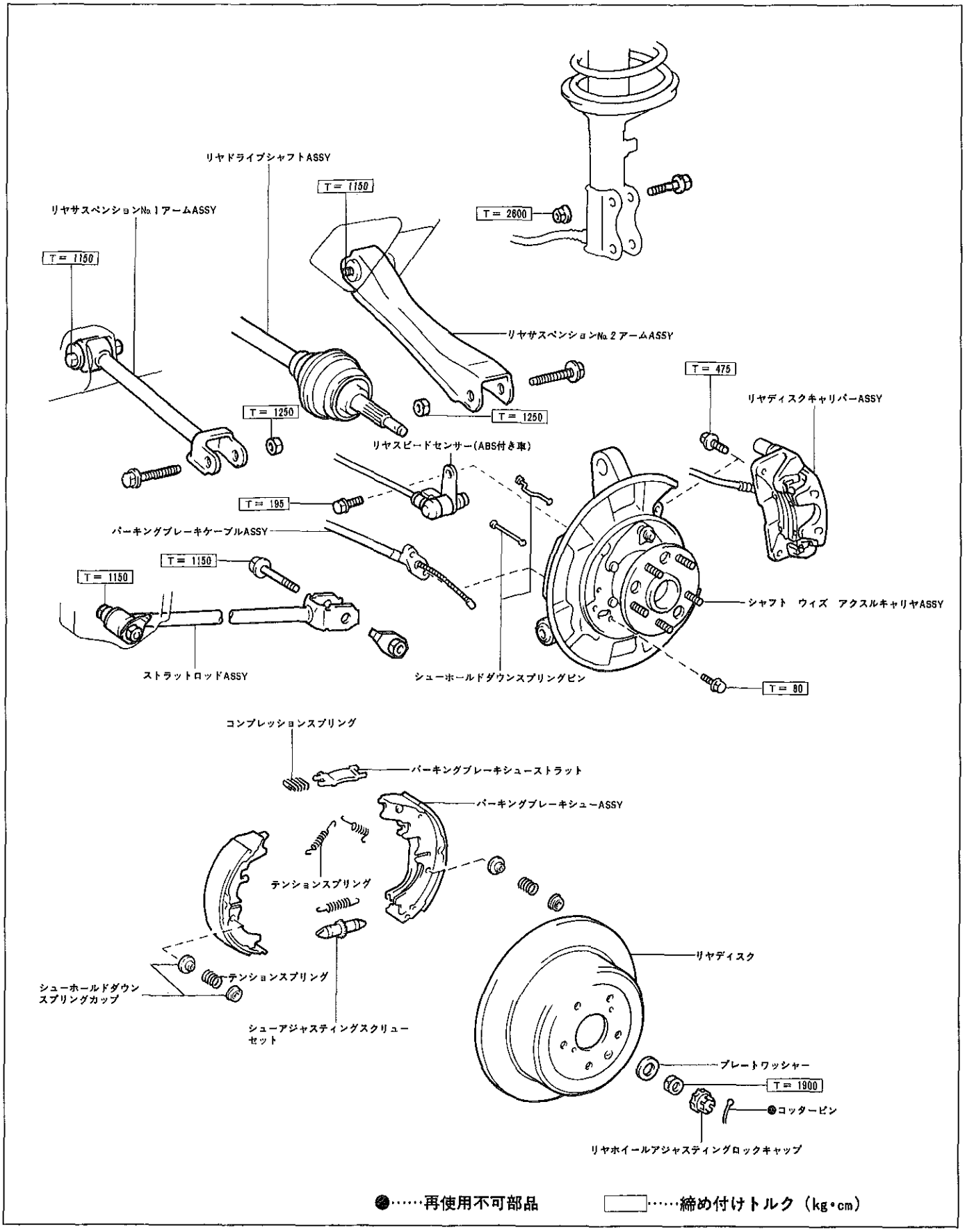
無断複製禁止

SST		09955-20012 プロパ	アクスルシャフト取りはずし用 ベアリングインナーレース（アウター側）取りはずし用
		09956-20011 タイティングピース	アクスルシャフト取りはずし用 ベアリングインナーレース（アウター側）取りはずし用
		09957-20010 ピン	アクスルシャフト取りはずし用 ベアリングインナーレース（アウター側）取りはずし用
		09958-20010 アタッチングディスクE	アクスルシャフト取りはずし用 ベアリングインナーレース（アウター側）取りはずし用
		09959-20010 ハンドル	アクスルシャフト取りはずし用 ベアリングインナーレース（アウター側）取りはずし用
		09964-35010 アダプター	ベアリングインナーレース（アウター側）取りはずし用
工具		09704-10010 ブレーキアジャスティングツール	パーキングブレーキ調整用
		㈱バンザイ扱い 3X-75-5 ヘキサゴンレンチ5	スタビライザーバーおよびリンク脱着用
	ソケットレンチ（30mm）		ナット脱着用
計器	トルクレンチ（0～30kg・cm）		スタビライザーリンク点検用
	トルクレンチ（500～2800kg・cm）		各部締め付け用
	ダイヤルゲージ		ベアリング点検用 アクスルシャフト振れ点検用
油脂その他	キヤッスル・MPグリースNo.2		オイルシールのリップ部塗布用

無断複製禁止

アクスルシャフト　&　アクスルキャリヤ

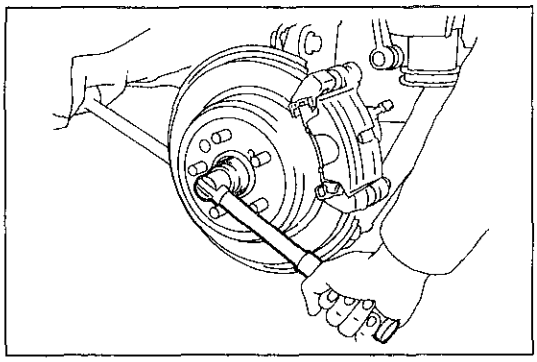
脱着構成図



●……再使用不可部品　　□……締め付けトルク（kg・cm）

X1093

無断複製禁止


E7957

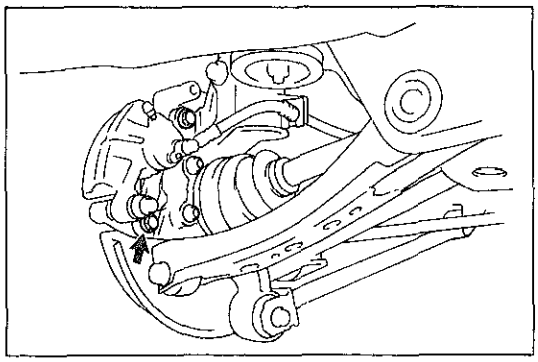
アクスルシャフト前点検

1　リヤホイール取りはずし

2　ナット取りはずし

(1) コッターピンをはずし，リヤホイールアジャスティングロックキャップを取りはずす。

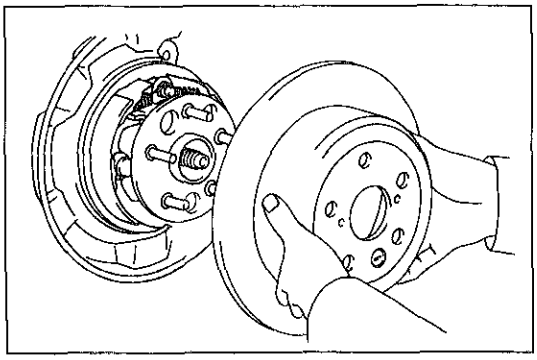
(2) パーキングブレーキレバーを引き，30mmのソケットレンチを使用して，ナットをゆるめる。


K4079

3　ディスクブレーキキャリパーASSY取りはずし

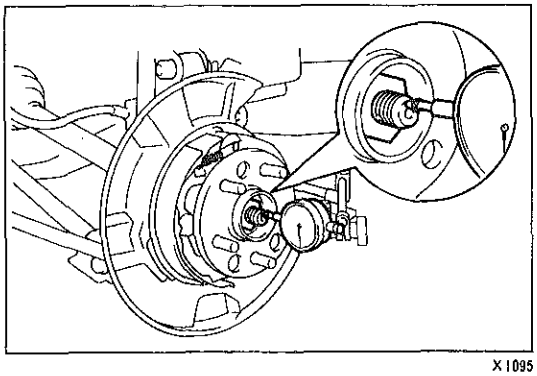
(1) ボルト2本をはずし，ディスクブレーキキャリパーASSYを取りはずす。

(2) フレキシブルホースを引っ張らないよう針金などで，キャリパーASSYを吊す。


X1094

4　ディスク取りはずし

(1) パーキングブレーキレバーを戻し，リヤアクスルシャフトからディスクを取りはずす。

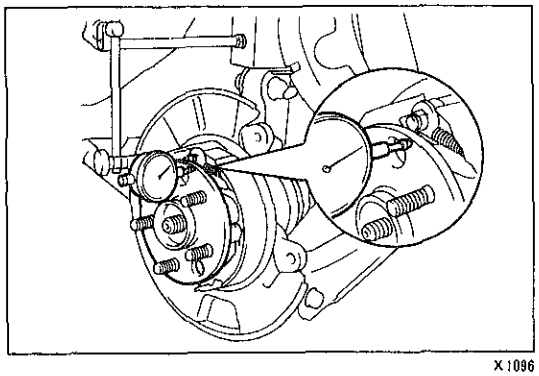

X1095

5　ベアリング点検

(1) ナットをドライブシャフトとアクスルシャフトが固定できるまで仮締めする。

(2) ベアリング軸方向のガタを点検する。

限　度　0.05mm

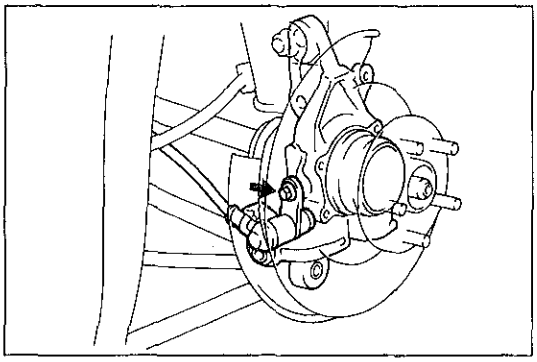

X1096

6　アクスルシャフト振れ点検

(1) アクスルシャフトの外周付近で振れを点検する。

限　度　0.07mm

無断複製禁止

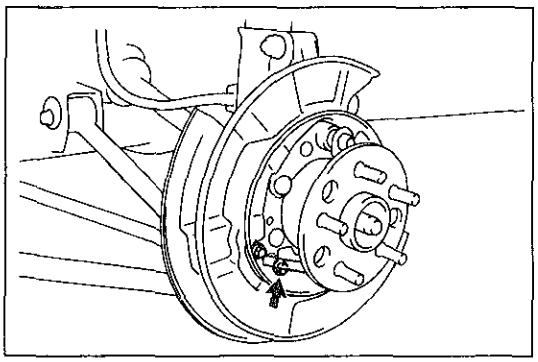

X1097

アクスルキャリヤASSY取りはずし

1　パーキングブレーキシュー取りはずし

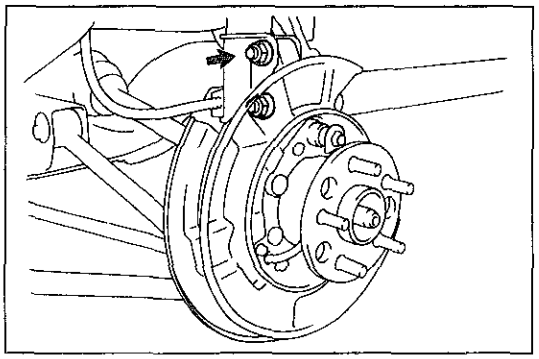
2　リヤスピードセンサー取りはずし（ABS付き車）

(1)　ボルトをはずし，スピードセンサーを取りはずす。

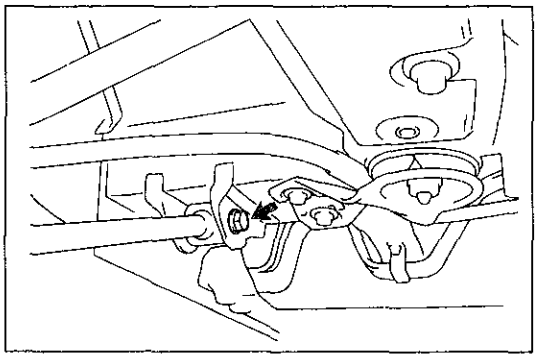

X1098

3　パーキングブレーキケーブル切り離し

(1)　ボルト２本をはずし，プレートからケーブルを切り離す。

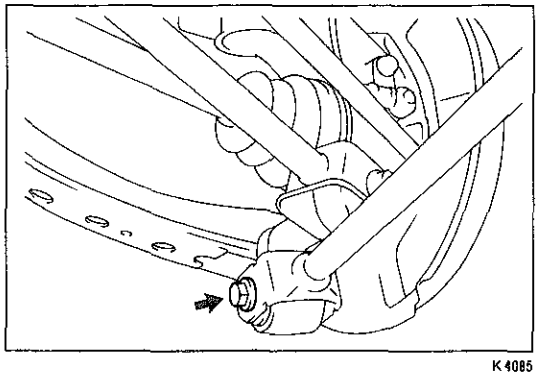

X1099

(2)　アクスルキャリヤ取り付けナット２個を手で回る程度までゆるめる。


K4084

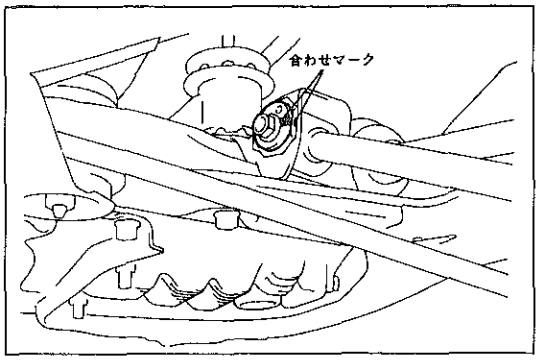
4　ストラットロッド取りはずし

(1)　ボデー側のボルトおよびナットをゆるめる。


K4085

(2)　アクスルキャリヤ側のボルトおよびナットをはずし，ストラットロッドを切り離す。

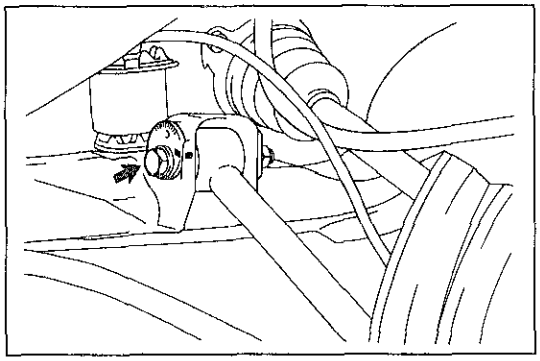
無断複製禁止



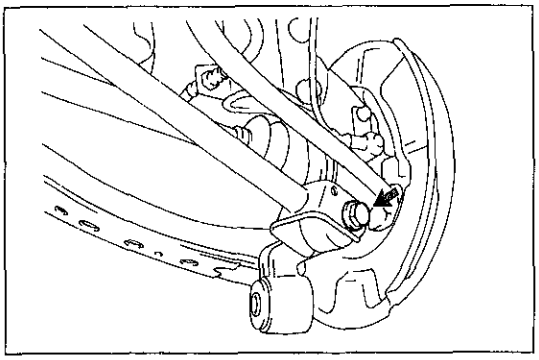
K4086

5 サスペンションNo.1アーム切り離し

(1) トーアジャストカムとサスペンションコントロールアームリテーナーに合わせマークを付ける。

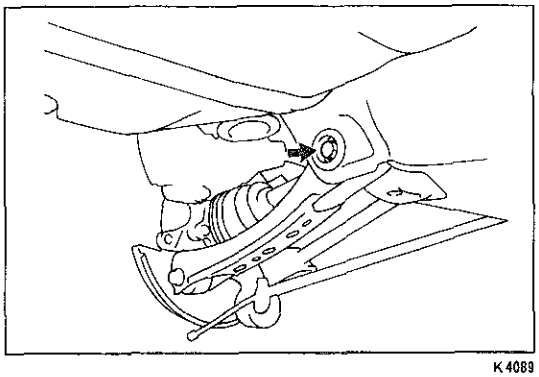

K4087

(2) リヤサスペンションメンバー側のボルトをゆるめる。

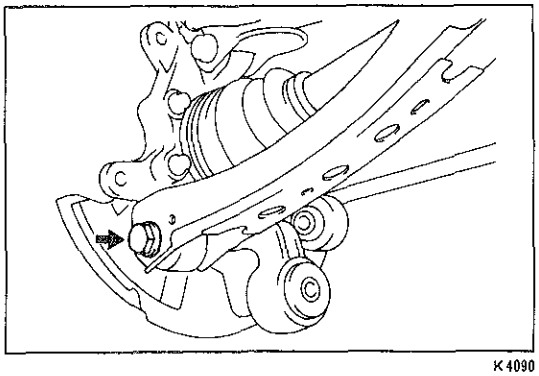

K4088

(3) アクスルキャリヤ側のボルトおよびナットをはずし，サスペンションNo.1アームを切り離す。

6 サスペンションNo.2アーム切り離し

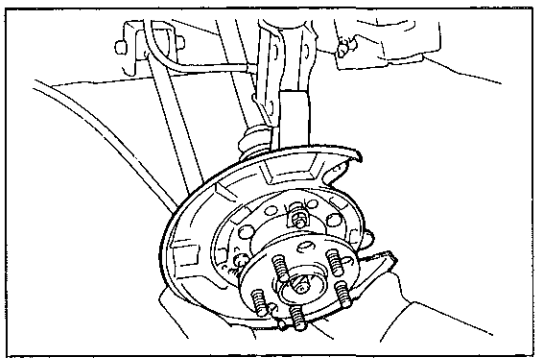

K4089

(1) リヤサスペンションメンバー側のボルトをゆるめる。


K4090

(2) アクスルキャリヤ側のボルトおよびナットをはずし，サスペンションNo.2アームを切り離す。

無断複製禁止


K4470

7　アクスルキャリヤASSY取りはずし

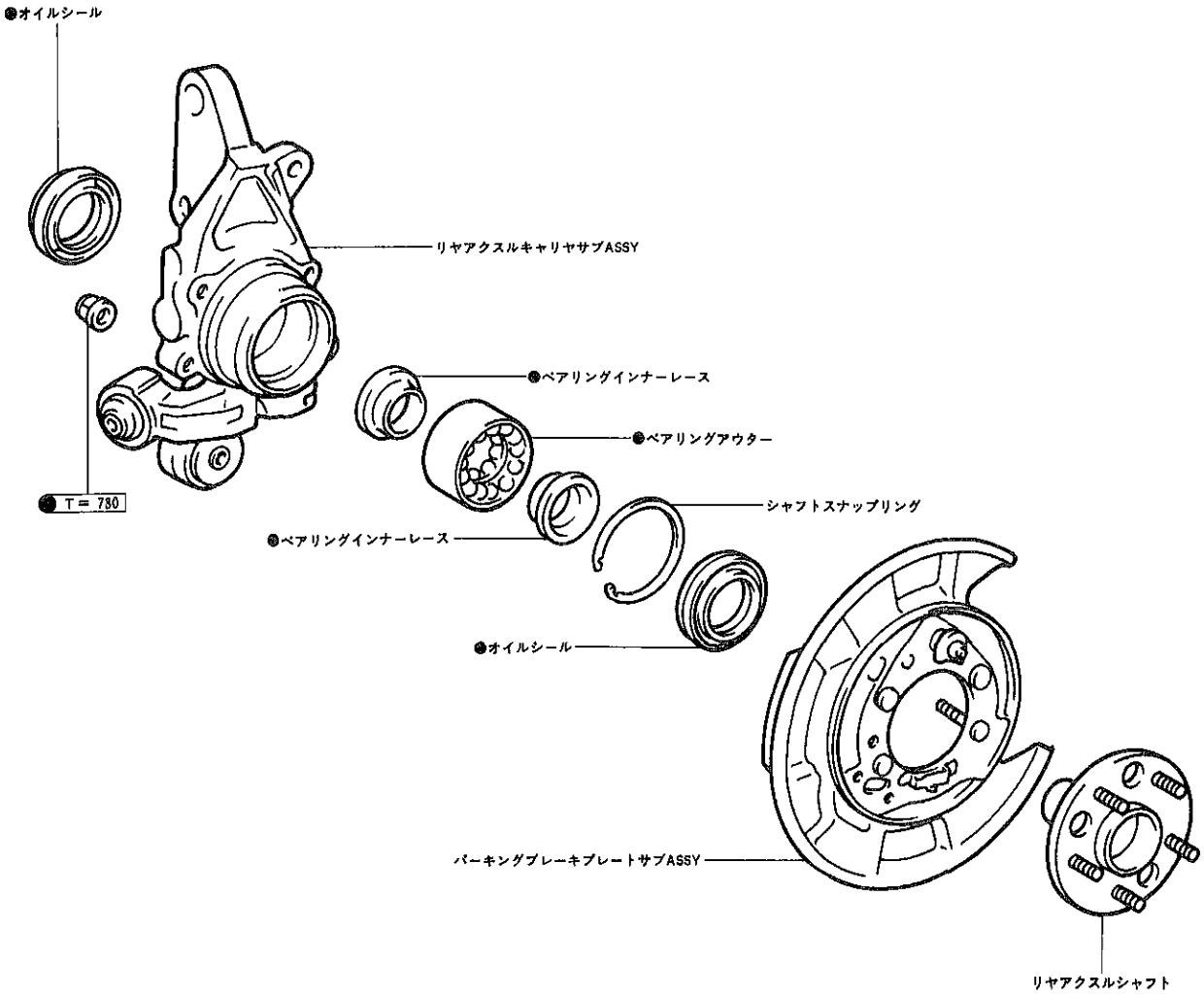
(1)　ドライブシャフト取り付けナットおよびプレートワッシャーを取りはずす。

(2)　アクスルキャリヤのオイルシール傷つき防止のため，ドライブシャフトのねじ部にビニールテープなどを巻く。

(3)　アクスルキャリヤ取り付けナット2個およびボルト2個をはずし，アクスルキャリヤASSYを取りはずす。

アクスルキャリヤASSY

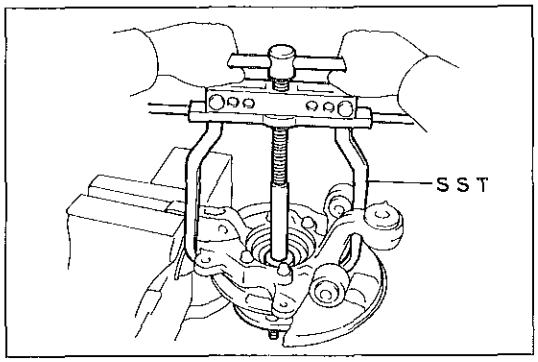
分解構成図



●……再使用不可部品　　□……締め付けトルク（kg•cm）

X1100

無断複製禁止



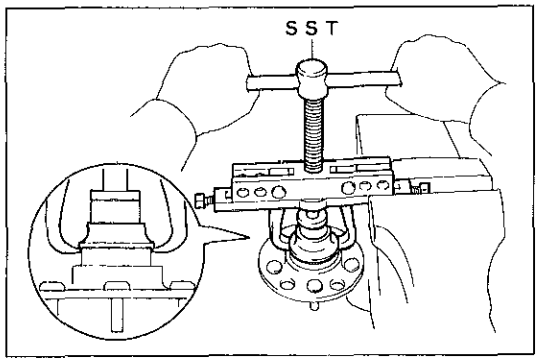
E7787

アクスルキャリヤASSY分解

1　アクスルシャフト取りはずし

(1)　SSTを使用して，アクスルキャリヤからアクスルシャフトを取りはずす。

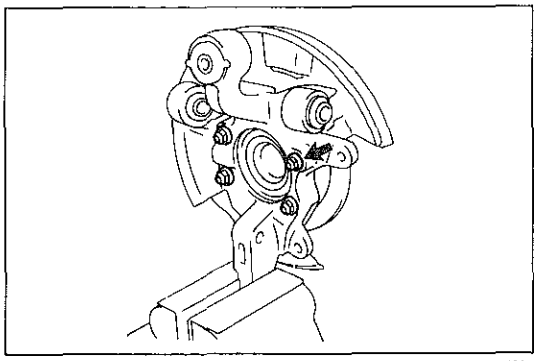
SST	09952-20010	09953-20021	09954-20011
	09955-20012	09956-20011	09957-20010
	09958-20010	09959-20010	09964-35010



E7788

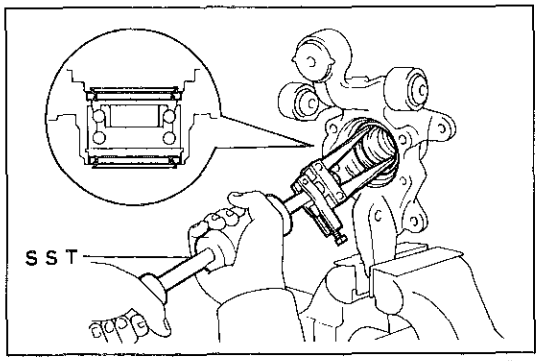
(2)　SSTを使用して，ベアリングインナーレース（アウター側）をアクスルシャフトから取りはずす。

SST	09952-20010	09953-20010	09954-20011
	09955-20012	09956-20011	09957-20010
	09958-20010	09959-20010	


K4091

2　パーキングブレーキプレート取りはずし

(1)　ナット4個をはずし，パーキングブレーキプレートを取りはずす。

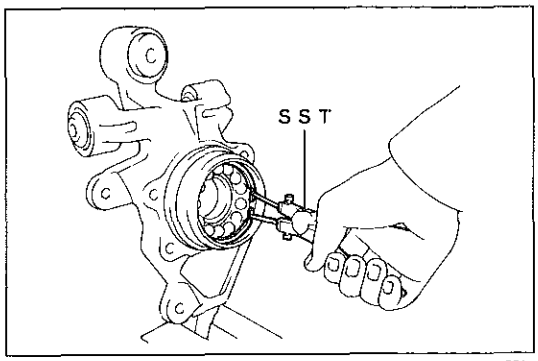


E7791

3　オイルシール取りはずし

(1)　SSTを使用して，オイルシールアウター側およびインナー側を取りはずす。

SST　09308-00010



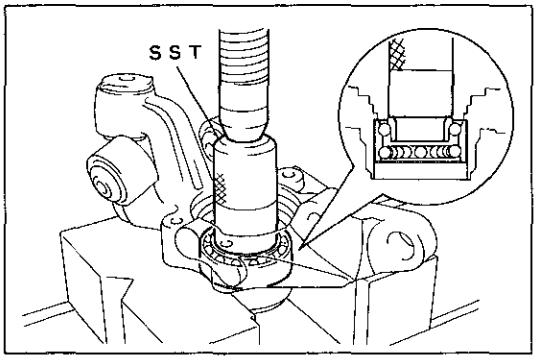
E7792

4　シャフトスナップリング取りはずし

(1)　SSTを使用して，シャフトスナップリングを取りはずす。

SST　09905-00013

無断複製禁止



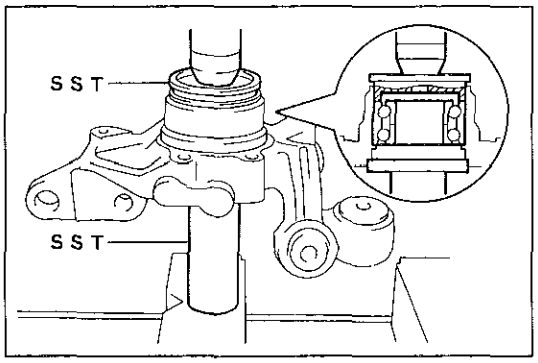
E7793

5　ベアリング取りはずし

(1) SSTとプレスを使用して，アクスルキャリヤからベアリングを取りはずす。

SST　09636-20010

アクスルキャリヤASSY組み付け



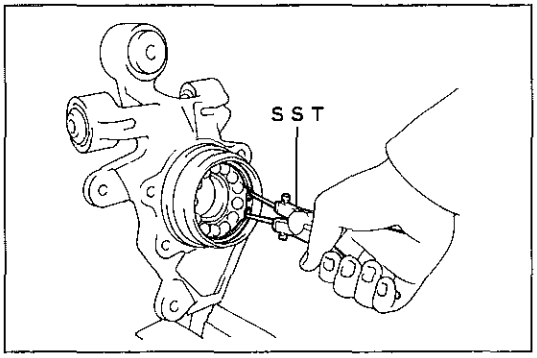
E7794

1　ベアリング組み付け

(1) SSTとプレスを使用して，新品のベアリングをアクスルキャリヤに圧入する。

SST　09309-36010　09608-32010

注意　インナーレースの組み替えは行わない。

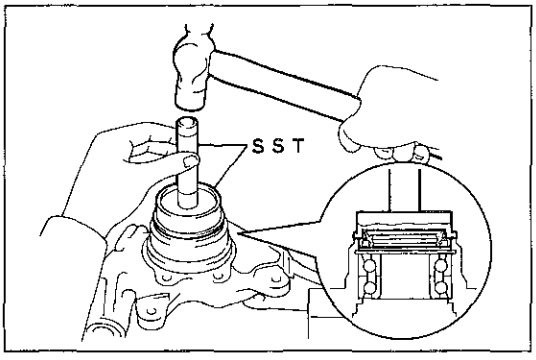


E7792

2　シャフトスナップリング組み付け

(1) SSTを使用して，シャフトスナップリングをアクスルキャリヤの溝に組み付ける。

SST　09905-00013



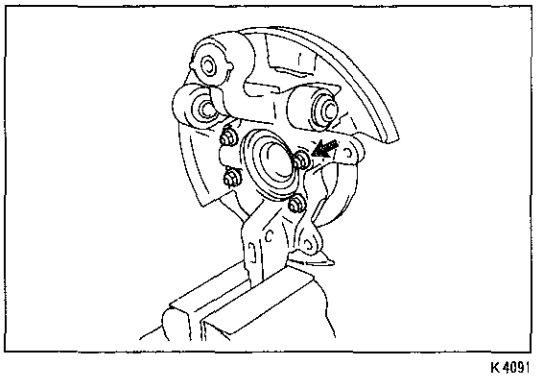
E7954

3　オイルシールアウター組み付け

(1) SSTを使用して，新品のオイルシールをアクスルキャリヤ端面と面一になるまで打ち込む。

SST　09608-04020　09608-32010

(2) オイルシールのリップ部にキヤッスル・MPグリースNo.2を塗布する。

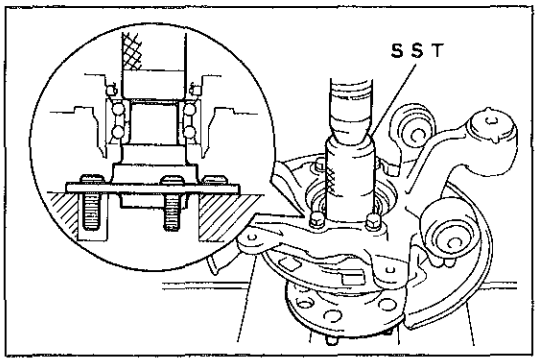

K4091

4　パーキングブレーキプレート組み付け

(1) 新品のナット4個で，パーキングブレーキプレートをアクスルキャリヤに組み付ける。

T＝730kg・cm

無断複製禁止

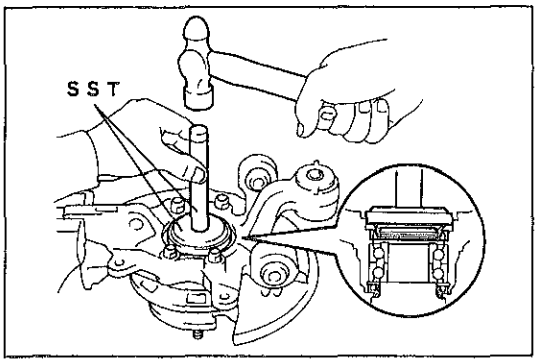


E7796

5　アクスルシャフト組み付け

(1) SSTとプレスを使用して，アクスルシャフトをアクスルキャリヤに圧入する。

SST　09636-20010



E8389

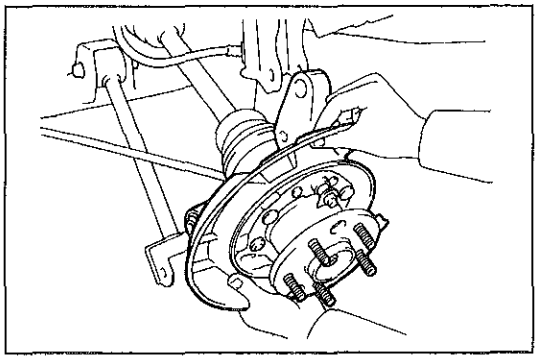
6　オイルシールインナー組み付け

(1) SSTを使用して，新品のオイルシールをアクスルキャリヤ端面と面一になるまで打ち込む。

SST　09608-04020　09608-04110

(2) オイルシールのリップ部にキヤッスル・MPグリースNo.2を塗布する。

アクスルキャリヤASSY取り付け

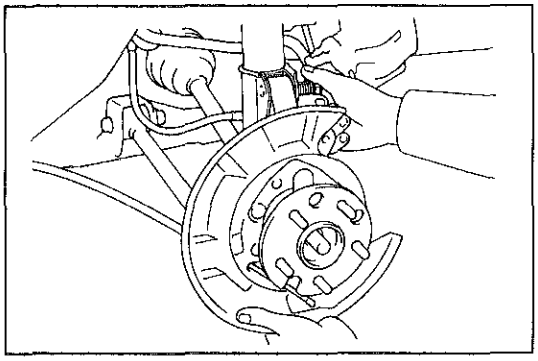

K4471

1　アクスルキャリヤASSY取り付け

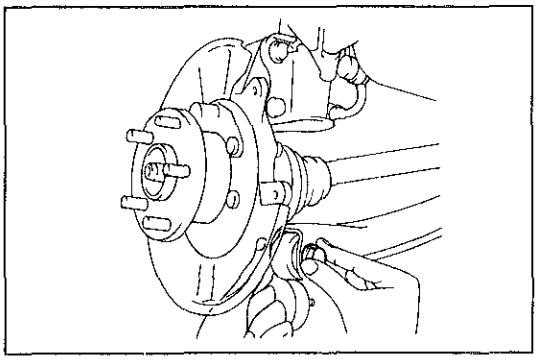
(1) アクスルキャリヤASSYをドライブシャフトに取り付ける。

注意　オイルシールを傷つけない。

(2) サスペンションNo.2アームをアクスルキャリヤに取り付ける。


K4472

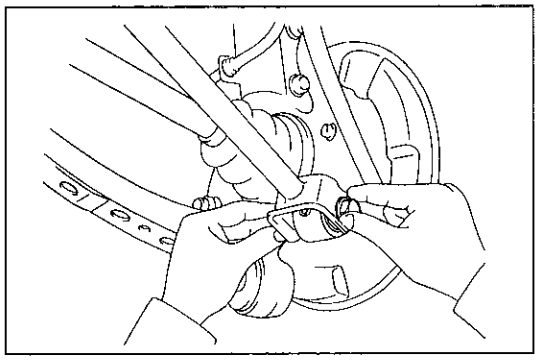
(3) アクスルキャリヤASSYをショックアブソーバーにボルト2本およびナット2個で仮締めする。


K4519

2　サスペンションNo.2アーム取り付け

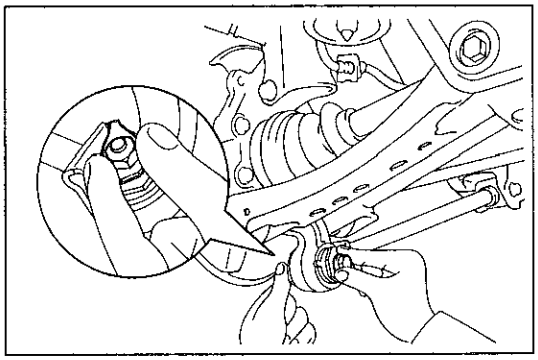
(1) アクスルキャリヤ側のボルトを仮締めする。

無断複製禁止


K4518

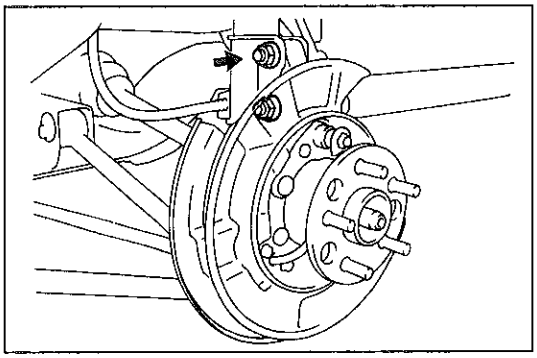
3　サスペンションNo.1アーム取り付け

(1)　サスペンションNo.1アームをアクスルキャリヤに取り付け，ボルトを仮締めする。


E7801

4　ストラットロッド取り付け

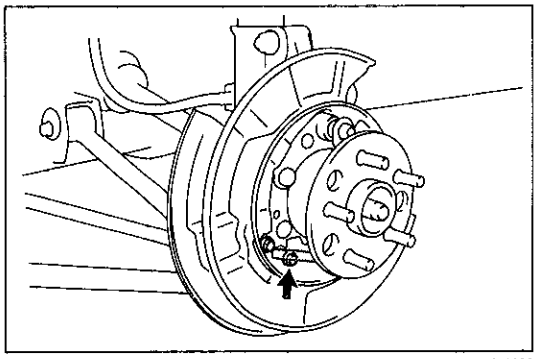
(1)　ストラットロッドをアクスルキャリヤに取り付け，ボルトを仮締めする。


X1099

5　アクスルキャリヤナット本締め

(1)　ナット2個を規定トルクで締め付ける。

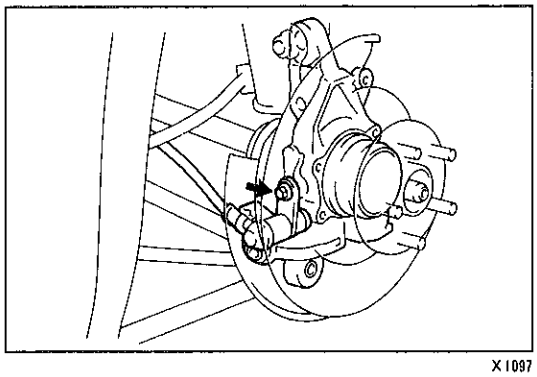
T＝2600kg・cm


X1098

6　パーキングブレーキケーブル取り付け

(1)　ボルト2本で，パーキングブレーキケーブルをパーキングブレーキプレートに取り付ける。

T＝80kg・cm


X1097

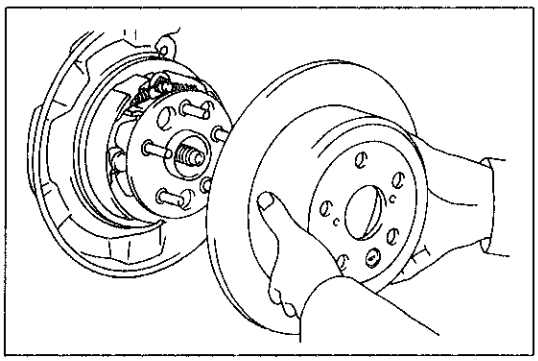
7　リヤスピードセンサー取り付け（ABS付き車）

(1)　リヤスピードセンサーをボルトで取り付ける。

T＝195kg・cm

8　パーキングブレーキシュー取り付け

無断複製禁止

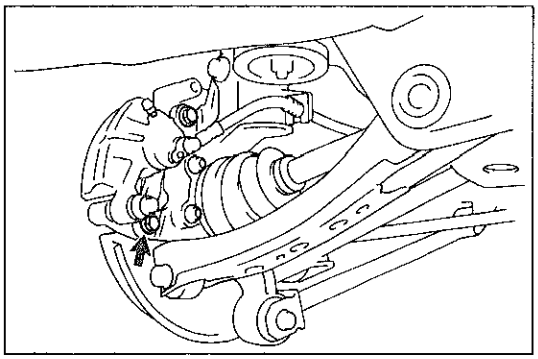

X1094

9　ディスク取り付け

(1)　アクスルシャフトの大きな穴にディスクのプラグホール穴を合わせて取り付ける。

10　パーキングブレーキシューとリヤディスクのすき間調整

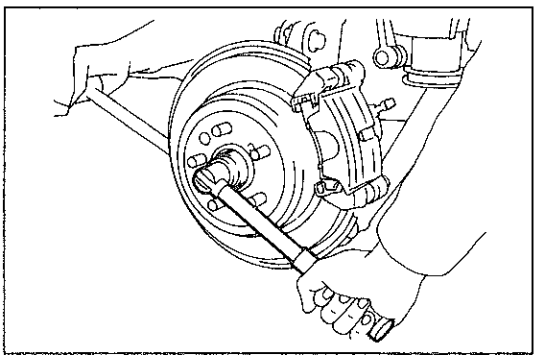
11　パーキングブレーキレバー引きしろ点検


K4079

12　ディスクブレーキキャリパーASSY取り付け

(1)　ディスクブレーキキャリパーASSYをボルト2本で取り付ける。

T＝475kg・cm


E7957

13　ナット取り付け

(1)　パーキングブレーキレバーを引く。

(2)　プレートワッシャーを介して，30mmのソケットレンチを使用し，ナットを取り付ける。

T＝1900kg・cm

14　リヤホイール仮付け

15　車両落ち着かせ

(1)　空車状態で車両をジャッキダウンして，数回上下にゆすり，リヤサスペンションを落ち着かせる。

16　リヤホイール取りはずし

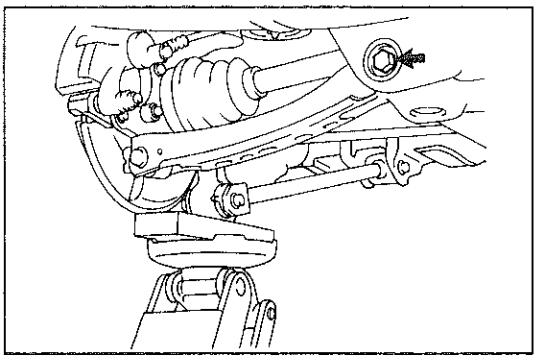
17　サスペンションジャッキアップ

(1)　木片を介して，アクスルキャリヤをジャッキアップし，サスペンションに荷重をかける。

18　サスペンションNo.2アームボルト本締め

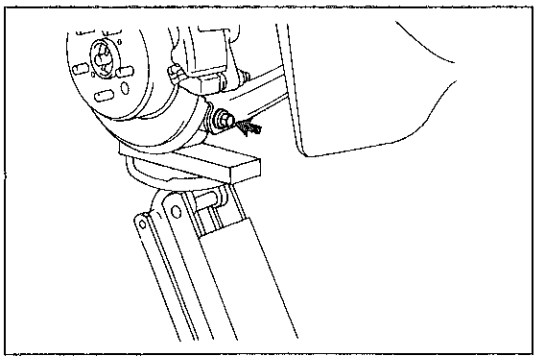
(1)　サスペンションメンバー側のボルトを本締めする。

T＝1150kg・cm

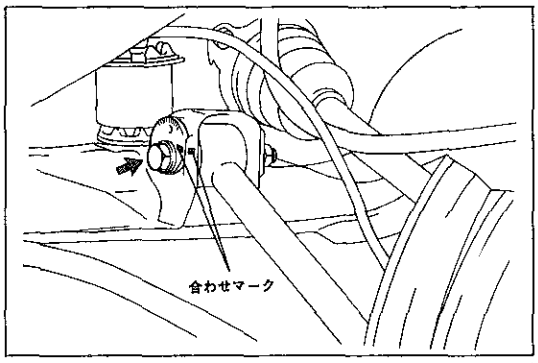

K4092

(2)　アクスルキャリヤ側のボルトを本締めする。

T＝1250kg・cm


K4093

無断複製禁止

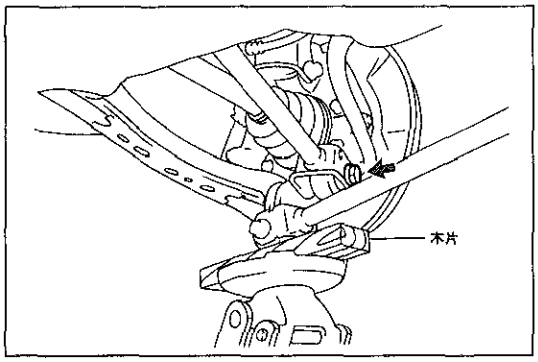


K4087

19　サスペンションNo.1アームボルト本締め

(1)　合わせマークを合わせ，サスペンションメンバー側のボルトを本締めする。

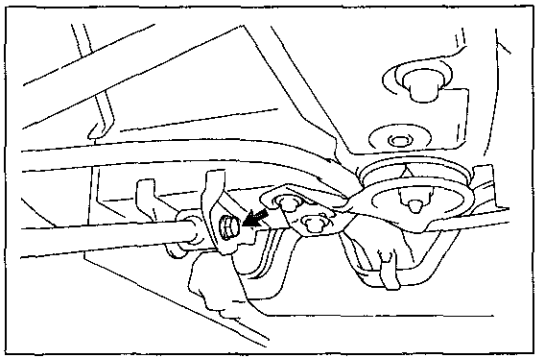
T＝1150kg・cm



K4094

(2)　アクスルキャリヤ側のボルトを本締めする。

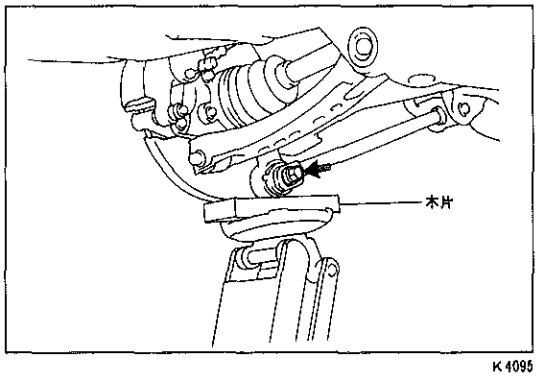
T＝1250kg・cm


K4084

20　ストラットロッドボルト本締め

(1)　ボデー側のボルトを本締めする。

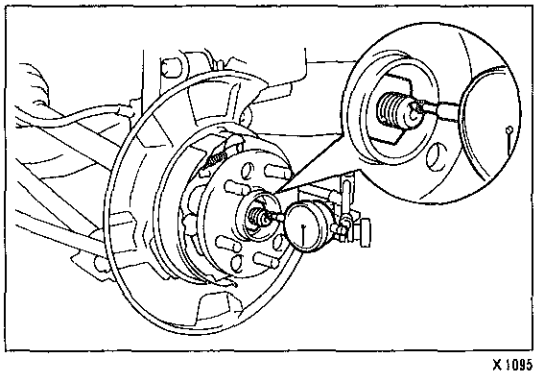
T＝1150kg・cm



K4095

(2)　アクスルキャリヤ側のボルトを本締めする。

T＝1150kg・cm


X1095

21　ディスクブレーキキャリパーASSY取りはずし

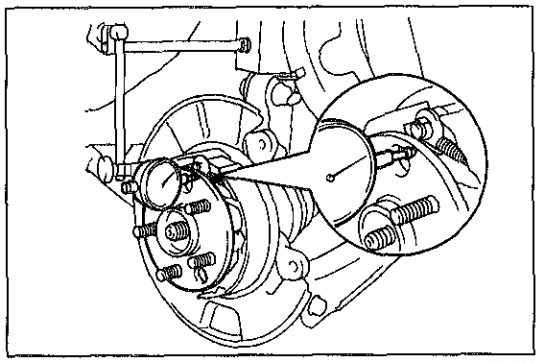
22　ディスク取りはずし

23　ベアリング点検

(1)　ベアリング軸方向の動き量を点検する。

限　度　0.05mm

無断複製禁止


X1096

24 アクスルシャフト振れ点検

(1) アクスルシャフトの外周付近で振れを点検する。

限 度 0.05mm

25 リヤホイールアジャスティングロックキャップ取り付け

(1) ナットにロックキャップおよび新品のコッターピンを取り付ける。

26 ディスク取り付け

27 ディスクブレーキキャリパーASSY取り付け

T＝475kg・cm

28 リヤホイール取り付け

T＝1050kg・cm

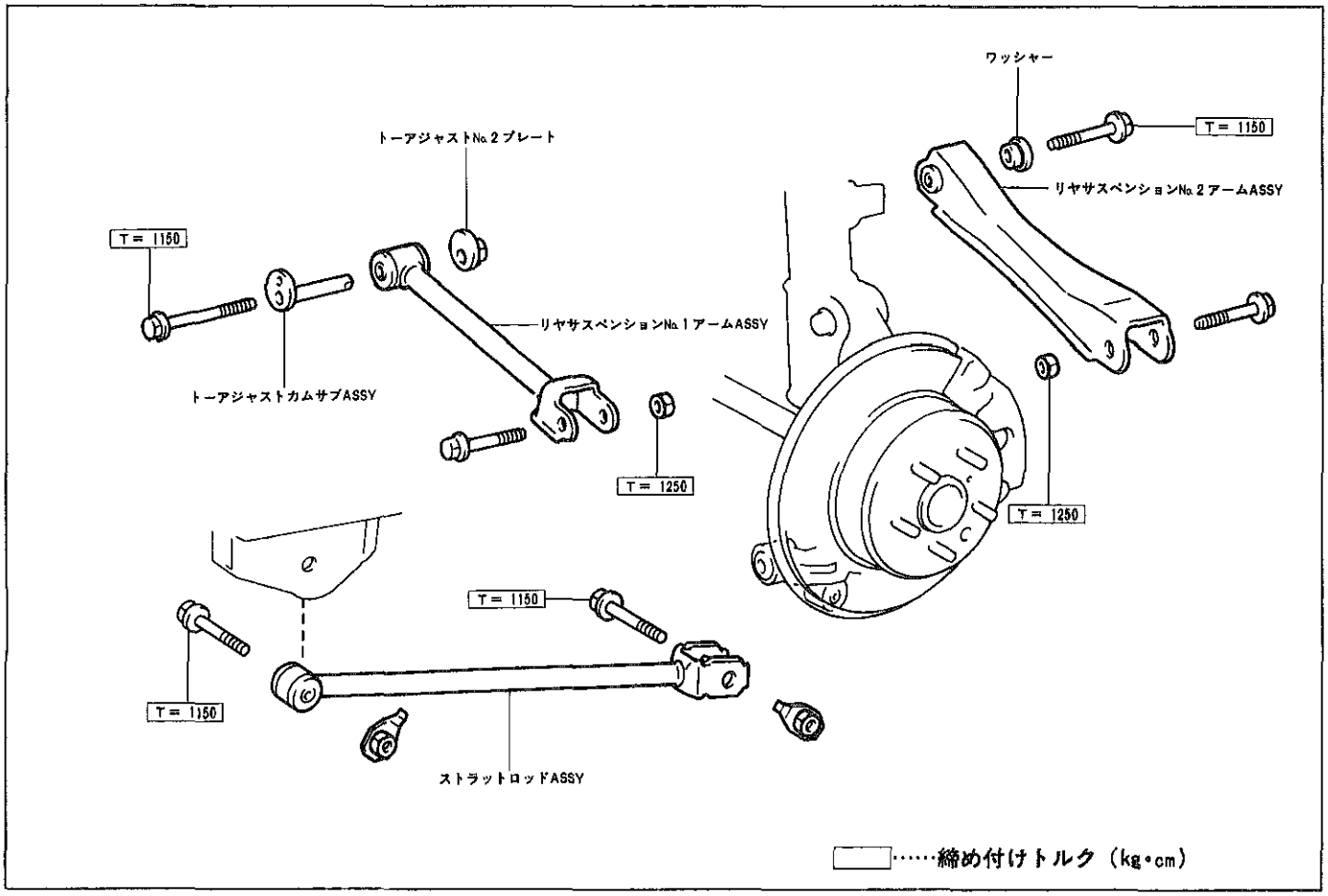
29 リヤホイールアライメント点検および調整

(P5-2参照)

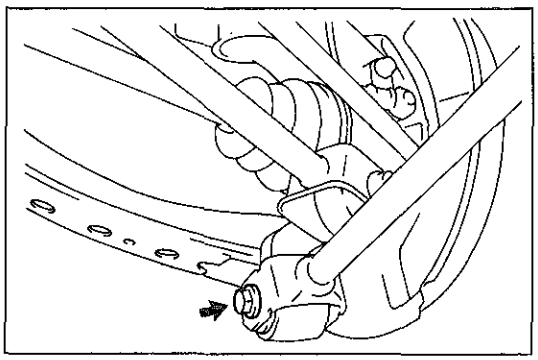
無断複製禁止

ストラットロッド　&
サスペンションアーム

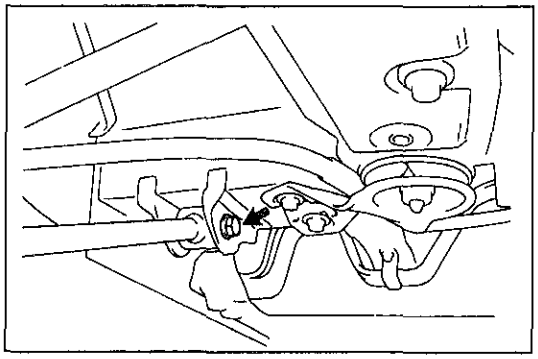
脱着構成図



X1101



K4085



K4084

ストラットロッド　&
サスペンションアーム取りはずし

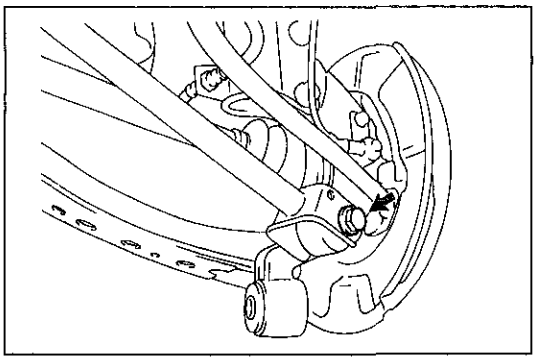
1　リヤホイール取りはずし

2　ストラットロッド取りはずし

(1)　アクスルキャリヤ側のボルトおよびナットを取りはずす。

(2)　ボデー側のボルトおよびナットをはずし，ストラットロッドを取りはずす。

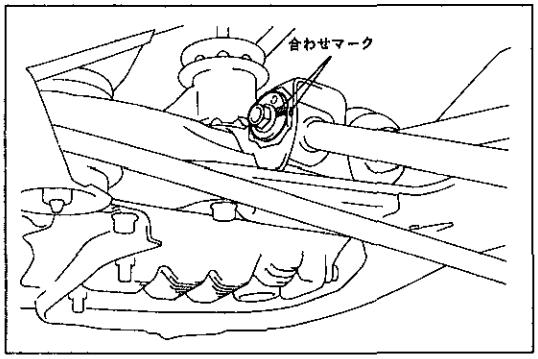
無断複製禁止



K4088

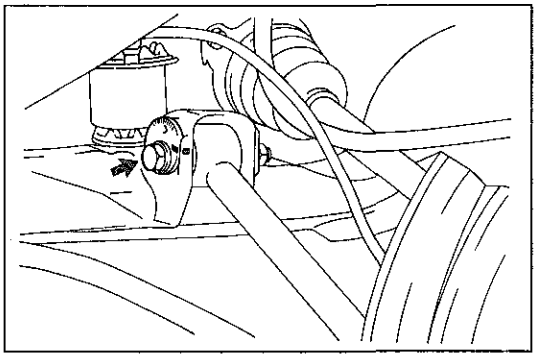
3 サスペンションNo.1アーム取りはずし

(1) アクスルキャリヤ側のボルトおよびナットを取りはずす。



K4086

(2) トーアジャストカムとサスペンションコントロールアームリテーナーに合わせマークを付ける。



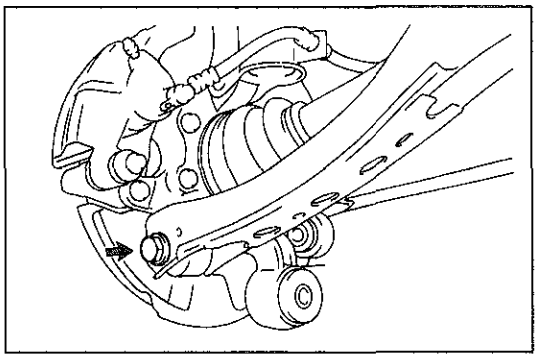
K4087

(3) ボルトをはずし，トーアジャストカムおよびトーアジャストプレートNo.2を取りはずす。

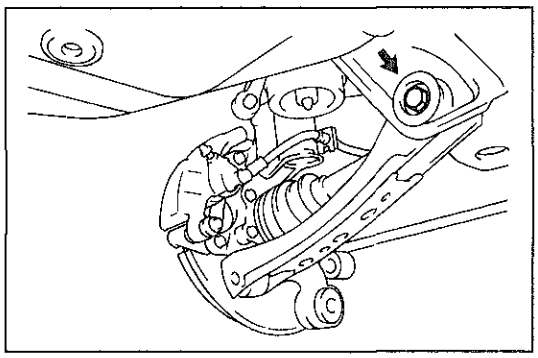
(4) サスペンションNo.1アームを取りはずす。

4 サスペンションNo.2アーム取りはずし

(1) アクスルキャリヤ側のボルトおよびナットを取りはずす。



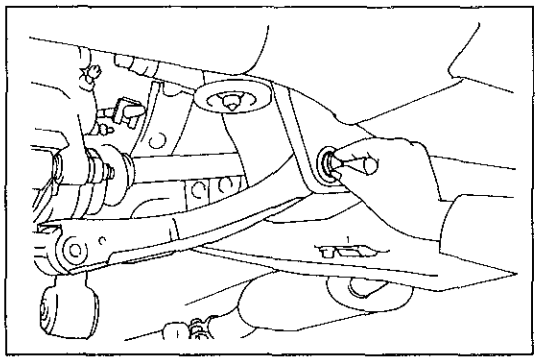
K4097



K4098

(2) ボルトおよびワッシャーをはずし，サスペンションNo.2アームを取りはずす。

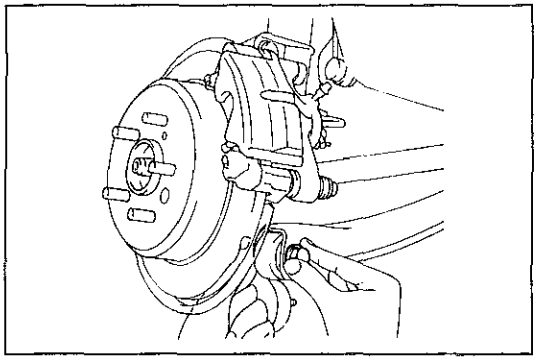
無断複製禁止


E7816

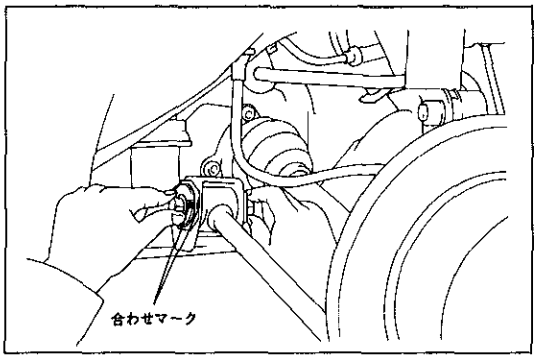
ストラットロッド　&　サスペンションアーム取り付け

1　サスペンションNo.2アーム取り付け

(1) ワッシャーを介して，ボルトでサスペンションNo.2アームをリヤサスペンションメンバーに仮付けする。


K4521

(2) サスペンションNo.2アームをアクスルキャリヤに取り付け，ボルトを仮締めする。

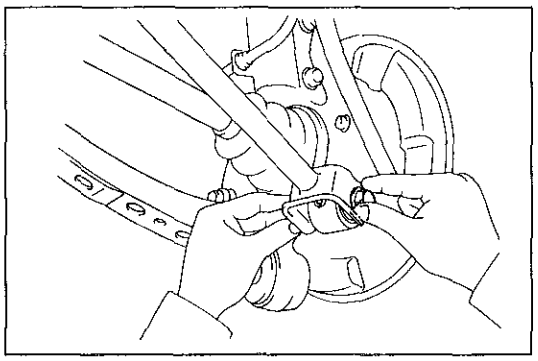


E7818

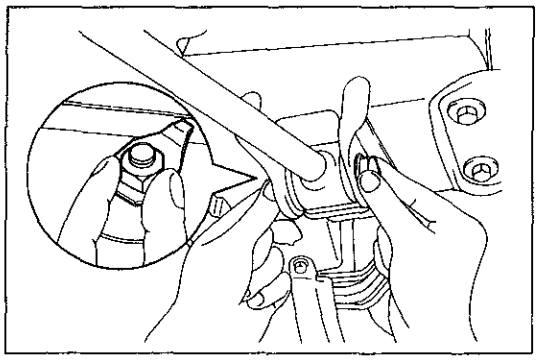
2　サスペンションNo.1アーム取り付け

(1) サスペンションNo.1アームをリヤサスペンションメンバーに仮付けする。

(2) トーアジャストカムとサスペンションコントロールアームリテーナーの合わせマークを合わせて，トーアジャストプレートNo.2を取り付け，ボルトを仮締めする。


K4518

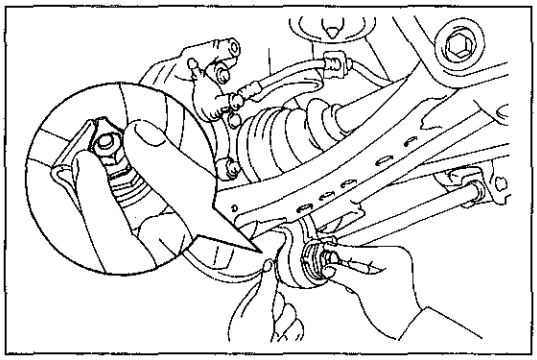
(3) サスペンションNo.1アームをアクスルキャリヤに取り付け，ボルトを仮締めする。


X1102

3　ストラットロッド取り付け

(1) ストラットロッドをボデーに取り付け，ボルトを仮締めする。

無断複製禁止


E7820

(2) ストラットロッドをアクスルキャリヤに取り付け，ボルトを仮締めする。

4 リヤホイール仮付け

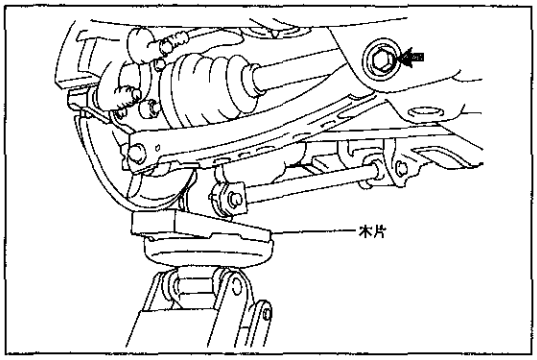
5 車両落ち着かせ

(1) 空車状態で車両をジャッキダウンして，数回上下にゆすり，リヤサスペンションを落ち着かせる。

6 リヤホイール取りはずし

7 サスペンションジャッキアップ

(1) 木片を介して，アクスルキャリヤをジャッキアップし，サスペンションに荷重をかける。

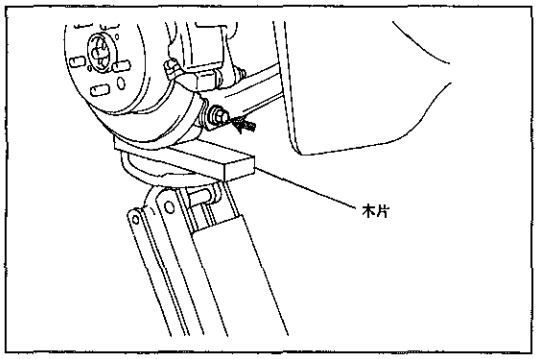


K4092

8 サスペンションNo.2アームボルト本締め

(1) サスペンションメンバー側のボルトを本締めする。

T＝1150kg・cm

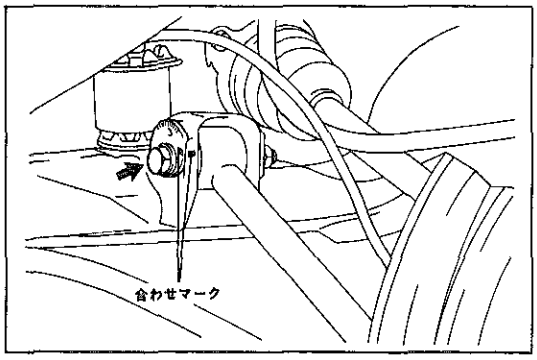


K4093

(2) アクスルキャリヤ側のボルトを本締めする。

T＝1250kg・cm

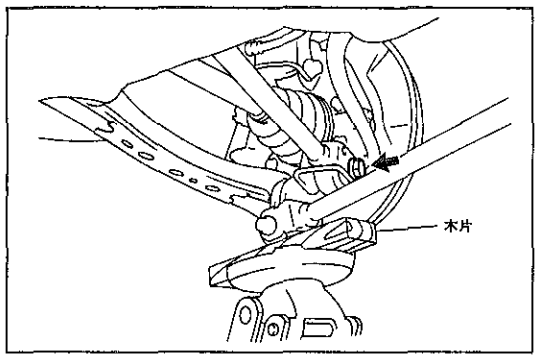
9 サスペンションNo.1アームボルト本締め



K4087

(1) 合わせマークが合っていることを確認し，サスペンションメンバー側のボルトを本締めする。

T＝1150kg・cm

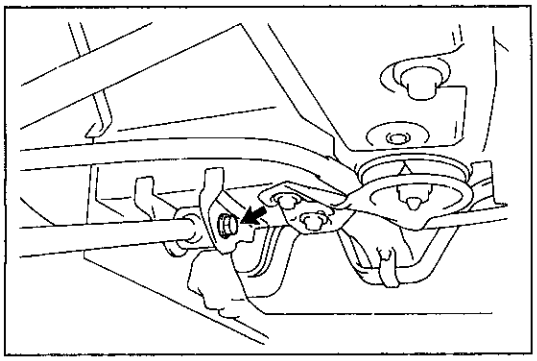


K4094

(2) アクスルキャリヤ側のボルトを本締めする。

T＝1250kg・cm

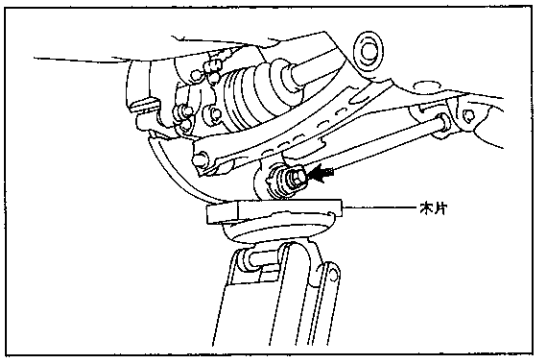
無断複製禁止


K 4084

10　ストラットロッド本締め

(1)　ボデー側のボルトを本締めする。

T＝1150kg・cm



K 4095

(2)　アクスルキャリヤ側のボルトを本締めする。

T＝1150kg・cm

11　リヤホイール取り付け

T＝1050kg・cm

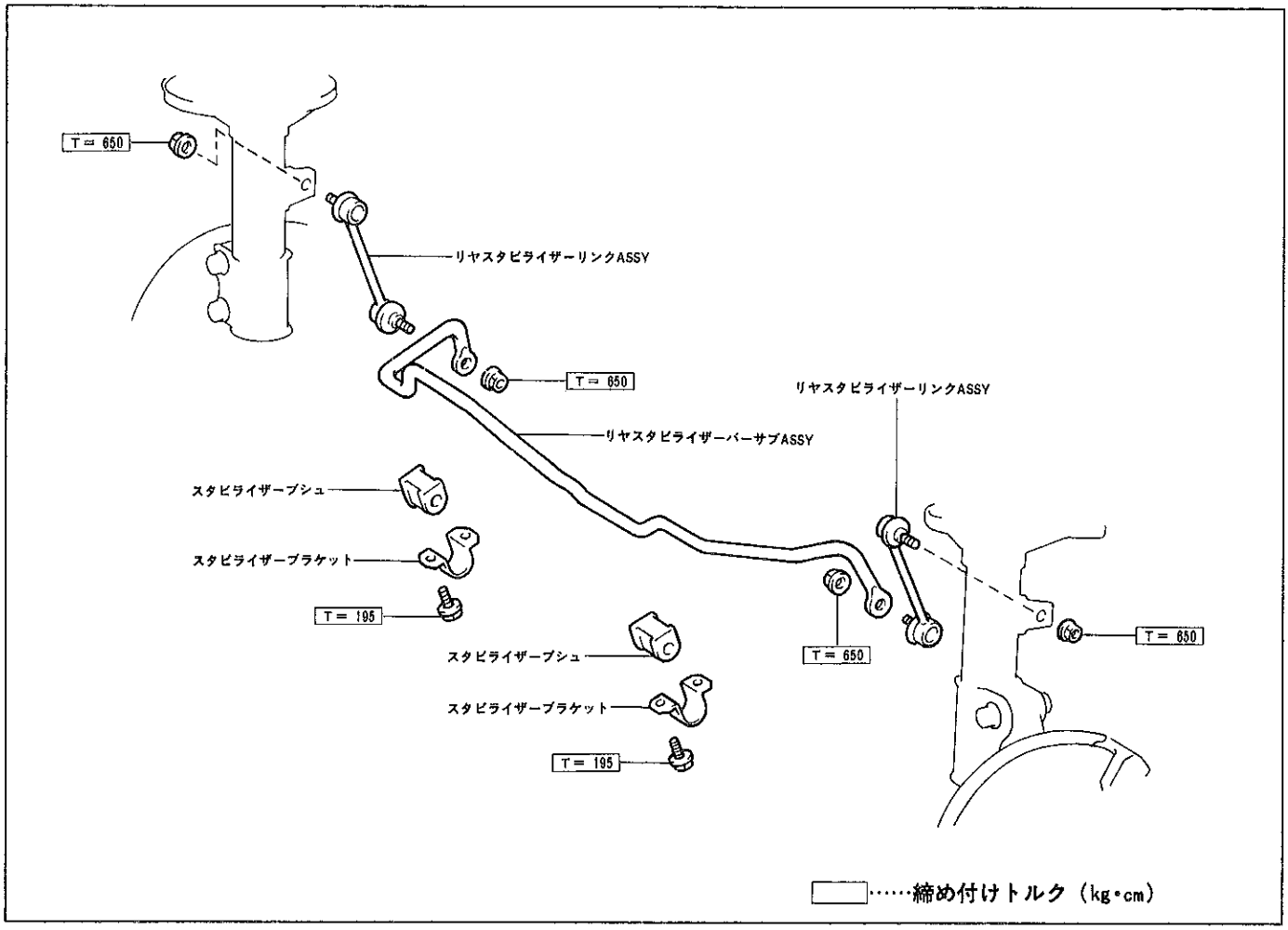
12　リヤホイールアライメント点検および調整

（P5-2参照）

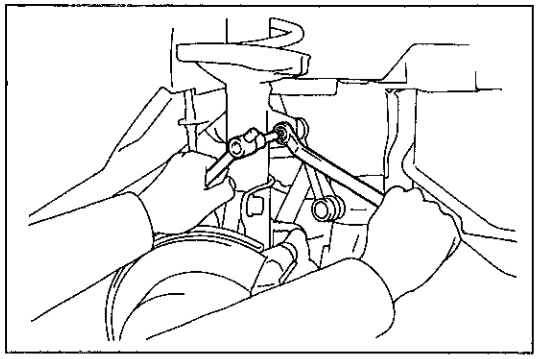
無断複製禁止

スタビライザー

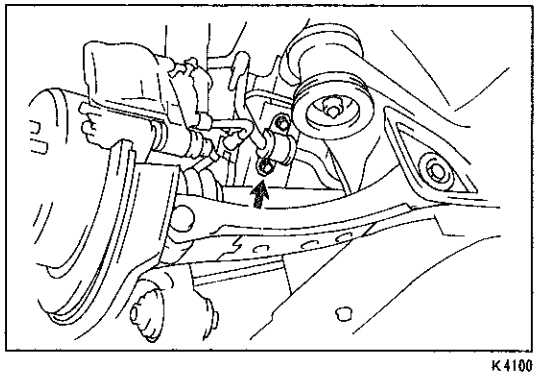
脱着構成図



E7823



K4099



K4100

スタビライザー取りはずし

1　リヤホイール取りはずし

2　スタビライザーリンク取りはずし

(1)　ヘキサゴンレンチ5を使用して，ナット2個をはずし，スタビライザーリンクを取りはずす。

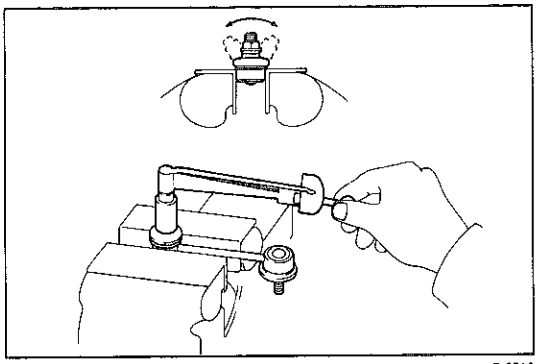
3　スタビライザーブラケットおよびブシュ取りはずし

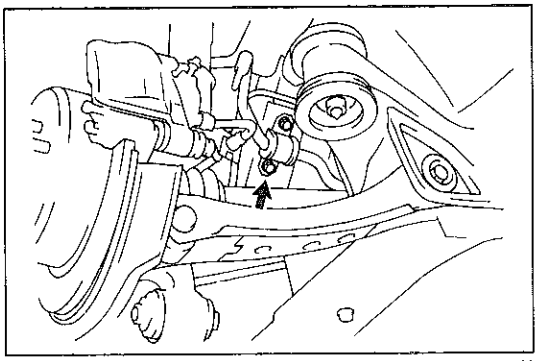
(1)　ボルト4本をはずし，スタビライザーブラケット2個およびブシュ2個を取りはずす。

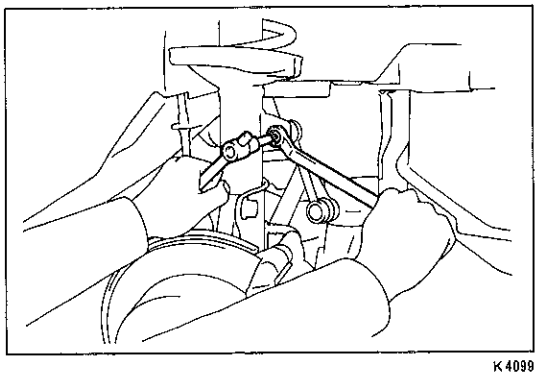
4　スタビライザーバー取りはずし

(1)　スタビライザーバーをディスクブレーキシリンダー後方から取りはずす。

無断複製禁止


D6516


K4100


K4099

スタビライザーリンク点検

1　ボールジョイント回転具合点検

(1)　スタビライザーリンク取り付けナットをスタッドに取り付ける。

(2)　スタッドを摺動方向に5往復させた後，2～4回転/秒の速度で連続して回転させ，5回目に測定する。

基準値　0.5～10kg・cm

2　ブーツ点検

(1)　ブーツに亀裂がないことを点検する。

スタビライザー取り付け

1　スタビライザーバー取り付け

(1)　スタビライザーバーをディスクブレーキシリンダー後方から取り付ける。

2　スタビライザーブラケットおよびブシュ取り付け

(1)　ボルト4本で，スタビライザーブラケット2個およびブシュ2個を取り付ける。

T＝195kg・cm

3　スタビライザーリンク取り付け

(1)　ヘキサゴンレンチ5を使用して，ナット2個でスタビライザーリンクを取り付ける。

T＝650kg・cm

4　リヤホイール取り付け

T＝1050kg・cm

無断複製禁止

MEMO

無断複製禁止